

JAPIC Guide 2008

財団法人日本医薬情報センター

Japan Pharmaceutical Information Center

サービス編

JAPIC とは…
会員制度のご案内
情報提供のご案内

資料編

JAPIC 附属図書館主要蔵書リスト
国内雑誌、外国雑誌
世界の医薬品集等…

序

(財)日本医薬情報センター（JAPIC）は、1972年の創立以来36年を迎えます。ここ数年、事業活動も多岐にわたりJAPIC単独での出版物の発行やiyakuSearchをはじめとするデータベースの公開など積極的に事業展開を行っております。定期刊行物のほかにも、新刊書の刊行やCD-ROM、添付文書に関わる新規データベースの開発など毎年新しい製品を開発しております。

本誌はこのようなJAPICの事業活動を一覧でき、内容を簡単に把握できることを目的に作成しました。全体構成として第一部をJAPICサービス編として事業内容を4部に分け、それぞれの特徴、利用方法、料金などを掲載しました。JAPICのサービスをご利用いただく際の参考資料としてご利用ください。

また、第二部では資料編としてJAPIC附属図書館が所蔵する資料についてご紹介し、特に世界各国の医薬品集類や薬局方などの貴重書について、簡単な解説を付けてご紹介しました。

新しくJAPICにご入会いただいた方、医薬情報担当者として配属された方、図書館業務に就かれた方をはじめ、大学、病院、行政、企業等の医薬品業務に関わる方々にJAPICの事業をご理解いただき、広くご利用いただけるよう願っております。

本誌についての積極的なご意見、ご助言を賜り次版に反映させたいと願っております。よろしくお願ひ申し上げます。

平成20年4月

財団法人 日本医薬情報センター（JAPIC）
理事長 首藤 紘一

目次

序

| | |
|---------|---|
| JAPICとは | 6 |
| 会員制度 | 6 |
| 会員の種類 | 6 |

サービス編

| | |
|---|----|
| ① 医薬品の安全性情報・感染症情報提供サービス | 10 |
| 1. JAPIC-Q (医薬文献・学会情報速報サービス) | 10 |
| 2. JAPIC-QX (JAPIC-Qエクストラサービス) | 11 |
| 3. JAPIC-Q Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス) | 12 |
| 4. JAPIC-Q遡及検索 (Qサービス登録検索式による遡及検索) | 13 |
| 5. スポットQ (Qサービス登録検索式以外の検索) | 13 |
| 6. JAPIC Daily Mail (JDM) (外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性措置情報) | 14 |
| 7. JAPIC Daily Mail Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス) | 15 |
| 8. PubMed代行検索 (生物由来製品の感染症情報に関する代行検索) | 15 |
| 9. Regulations View Web版 (海外規制情報米国編) | 16 |
| 10. JAPIC Weekly News (医療機関向け海外規制措置情報) | 17 |
| ② 電子データ (添付文書／文献情報) | 18 |
| 1. 医療用医薬品添付文書情報データ | 18 |
| 2. 一般用医薬品添付文書情報データ | 19 |
| 3. 添付文書記載病名データ | 20 |
| 4. 医薬品名称データ | 21 |
| 5. 剤形写真データ | 21 |
| 6. JAPIC PIA (院内採用医薬品集作成システム) | 22 |
| 7. JAPIC 辞書データ | 23 |
| 8. 「JAPICDOC」CD-ROMデータ (医薬文献情報データベース) | 23 |
| 9. 医療用医薬品添付文書SGMLデータ「医薬品医療機器総合機構」 | 23 |



| | |
|--|----|
| ③ JAPIC作成の医薬品情報データベース | 24 |
| ① iyakuSearch (医薬品情報データベース) | 24 |
| 1. 医薬文献情報 | 25 |
| 2. 学会演題情報 | 25 |
| 3. 医療用医薬品添付文書情報・一般用医薬品添付文書情報 | 26 |
| 4. 臨床試験情報 (JapicCTI) | 26 |
| 5. 日本の新薬－新薬承認審査報告書DB－ | 27 |
| 6. 学会開催情報 | 27 |
| 7. 医薬品類似名称検索 | 28 |
| ② iyakuSearch Plus | 29 |
| 1. 医薬文献情報プラス | 29 |
| 2. 学会演題情報プラス | 30 |
| 3. JAPIC Daily Mail DB | 30 |
| 4. Regulations View DB | 30 |
| ③ 外部機関から提供しているJAPICデータベース (JIP/JST) | 31 |
| 1. e-InfoStream | 31 |
| 2. JDream II | 33 |
| ④ JAPIC出版物・CD-ROM等 | 34 |
| 1. JAPIC 医療用医薬品集 2008 (検索用CD-ROM付) | 35 |
| 2. JAPIC 医療用医薬品集 普及新版 2008 | 35 |
| 3. JAPIC 一般用医薬品集 2008 | 36 |
| 4. JAPIC「医療用医薬品集 2008」更新情報メールサービス | 36 |
| 5. 添付文書記載病名集 Ver.2.0 (2008年2月版) | 37 |
| 6. 医薬品製造(輸入)承認品目一覧 | 37 |
| 7. 日本の医薬品 構造式集(検索用CD-ROM付) 2008 | 38 |
| 8. 日本の新薬－新薬承認審査報告書集－全25巻 | 39 |
| 9. 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集 | 39 |
| 10. JAPIC 日本医薬品名事典 Drug Index in Japan (医療薬・一般薬) | 40 |

| | |
|---|----|
| 11. 医薬関連情報 | 40 |
| 12. JAPIC J (ジャピックジャーナル) | 41 |
| 13. JAPIC NEWS | 41 |
| 14. JAPIC Guide | 41 |
| 15. JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版 (CD・DVD-ROM) | 42 |
| ⑤ 講演会、研究会、ユーザ会 | 43 |
| ⑥ 医薬品相談・各種調査 | 43 |
| ⑦ 図書館利用案内・文献複写 | 44 |
| ⑧ サービス内容連絡先一覧 | 45 |
| 資料編 附属図書館主要蔵書リスト | |
| JAPIC-Q サービス・JAPICDOC 採択誌リスト | 49 |
| 凡例 | 53 |
| 国内雑誌 | 53 |
| 外国雑誌 | 65 |
| WHO 出版物 | 68 |
| FDA 関係資料 | 68 |
| 厚生労働省関係資料 | 70 |
| 薬事法関連資料 | 72 |
| 医薬品安全性関係情報資料 | 75 |
| 世界の医薬品集等 | 77 |
| 世界の公定書 (薬局方・薬局方外規格等) | 88 |
| 治験薬情報 | 93 |
| 医薬品等の一般的名称に関する資料 | 94 |
| 商品名・同義語集 | 94 |
| 医薬関連分類・コード | 95 |
| 2008年度JAPIC サービス料金一覧 | 97 |

JAPICとは

JAPIC（ジャピック）は日本医薬情報センター（Japan Pharmaceutical Information Center）の略称で、医薬品に関する医学・薬学の国内外における有用な情報を収集・処理・提供することによって、製薬と医療の間の架け橋となることを目標に1970年に設立されました。そして1972年には厚生省（現厚生労働省）の認可を受け財団法人となっています。

以来今日まで、JAPICは研究開発から市販後まで医薬品に関する科学技術情報を収集・処理して、製薬企業、医療機関、行政機関等に提供し、また一般にも公開することによって国民の保健医療の向上に寄与することを目的に活動しています。

会員制度

前述したJAPICの趣旨に賛同頂いた機関に会員になって頂き、その会費及び事業収益を財源として運営し、膨大な医薬品情報を常に最新に維持し提供する活動を行っています。会員には製薬企業等会員（医薬品卸を含む）、

医療機関等会員（薬科大学、都道府県薬剤師会、調剤薬局等含む）のほか、特定データ利用会員で構成され、ご利用いただく内容によって種別が設けられています。

事業内容

- 医薬品情報データベースの構築・維持提供
- 医薬品の安全性に関する情報の提供
（国内臨床副作用文献情報、海外安全性・規制措置情報、感染症情報）
- 添付文書および文献関連データの提供
（添付文書情報データ、JAPIC添付文書病名データ、医薬品辞書ほか）
- 医薬品類似名称検索システムの運用
- 出版物の編集・発行
- 講演会・研究会・ユーザ会の開催

会員の種類

- (1) **維持会員**：センターの趣旨に賛同し、所定の会費を納入してセンターの事業の円滑な遂行を図り、かつ、センターの行う事業を利用しようとする次に掲げる者であって、理事会の同意を受けた者
 - (ア) 医療機関
 - (イ) 医学又は薬学に関係のある試験研究機関、大学、学術団体、専門職能団体又は行政機関
 - (ウ) 医薬品の取り扱いを業としている企業
- (2) **賛助会員**：センターの趣旨に賛同し、所定の会費を納入してセンターの事業に特別の援助をしようとする者で、理事会の同意を受けた者

① 製薬企業等会員 (A・B・C会員)

1. 医薬品製造または輸入販売業者
2. 医薬品販売業者
3. 医薬品の試験等一部請負業者
(CRO関連業者)
4. 医薬部外品取扱業者
5. 主として医薬品(食品添加物を含む)の原料とされる物質の取扱い業者
6. 医薬品卸業者

② 医療機関等会員 (D・E・F会員)

1. 医療機関・薬局等
2. 医学または薬学に関連のある
 - ① 試験研究機関
 - ② 大学
 - ③ 学術団体
 - ④ 専門職能団体
 - ⑤ 行政機関

③ 診療所、薬局等小規模機関会員 (G会員)**④ 賛助会員****会 費**

A、B、C、賛助会員：別途お問い合わせください。

D：60万円/年、E：30万円/年、F：15万円/年、G：2万円/年

サービス内容**製薬企業・卸等 (A・B・C会員) 特典****(1) 出版物**

| 品 目 | A会員 | B会員 | C会員 |
|-----------------------|-----|-----|-----|
| JAPIC 医療用医薬品集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC 一般用医薬品集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 添付文書記載病名集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 医薬関連情報 | 5部 | 3部 | 2部 |
| 日本の医薬品 構造式集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 医薬品製造承認品目一覧 | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPICガイド | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC J (ジャピックジャーナル)* | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC NEWS* | 3部 | 2部 | 1部 |
| その他出版物 | 1部 | 1部 | 1部 |

◇*JAPIC J、JAPIC NEWSは多数ご希望の場合にご相談に応じます。

(2) データベース

| 品 目 | A会員 | B会員 | C会員 |
|--|-----|-----|-----|
| (1) iyakuSearch (医薬品情報データベース) *所属機関内のどなたでも無料でご利用いただけます。 | ○ | ○ | ○ |

| 品 目 | A会員 | B会員 | C会員 |
|---|------------------|------|------|
| (2) e-infostream (JIP経由のJAPICデータベース利用) | 会員価格 固定料金制の利用 | 会員価格 | 会員価格 |
| (3) JDream II (JST経由のJAPICDOCの利用) | 会員価格 | 会員価格 | 会員価格 |

医療機関等（D・E・F会員）特典

(1) 出版物

| 品目 | D会員 | E会員 | F会員 |
|-----------------------|-----|-----|-----|
| JAPIC 医療用医薬品集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC 一般用医薬品集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 添付文書記載病名集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 医薬関連情報 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 日本の医薬品 構造式集 | 3部 | 2部 | 1部 |
| 医薬品製造承認品目一覧 | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPICガイド | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC J (ジャピックジャーナル)* | 3部 | 2部 | 1部 |
| JAPIC NEWS* | 3部 | 2部 | 1部 |
| その他出版物 | 1部 | 1部 | 1部 |

◇*JAPIC J、JAPIC NEWSは多数ご希望の場合はご相談に応じます。

(2) データベース

| 品目 | D会員 | E会員 | F会員 |
|--|-----|-----|-----|
| (1) iyakuSearch (医薬品情報データベース) ※所属機関内のどなたでも無料でご利用いただけます。 | ○ | ○ | ○ |

| 品目 | D会員 | E会員 | F会員 |
|---|------------------|------|------|
| (2) e-infostream (JIP経由のJAPICデータベース利用) | 会員価格 固定料金制の利用 | 会員価格 | 会員価格 |
| (3) JDream II (JST経由のJAPICDOCの利用) | 会員価格 | 会員価格 | 会員価格 |

診療所、薬局等（G会員）特典

| 品目 | 部数 |
|---------------------------|----|
| iyakuSearch (医薬品情報データベース) | ○ |
| JAPIC 医療用医薬品集 | 1部 |
| JAPIC 一般用医薬品集 | 1部 |
| JAPICガイド | 1部 |
| JAPIC J (ジャピックジャーナル) | 1部 |
| JAPIC NEWS | 1部 |

賛助会員 特典

| 品目 | 部数 |
|----------------------|----|
| JAPIC 医療用医薬品集 | 1部 |
| JAPIC 一般用医薬品集 | 1部 |
| 添付文書記載病名集 | 1部 |
| 日本の医薬品 構造式集 | 1部 |
| JAPICガイド | 1部 |
| JAPIC J (ジャピックジャーナル) | 1部 |
| JAPIC NEWS | 1部 |
| その他出版物 | 1部 |

J
A
Japan

サービス編

JAPICの事業内容・提供サービス内容を
個別に解説しました。



P
Pharmaceutical

I
Information

C
Center

1

医薬品の安全性情報・ 感染症情報提供サービス

1. JAPIC-Q

医薬文献・学会情報速報サービス

医薬品の有効性・安全性評価のためのツールとして高い評価を得ているサービスです。

国内の医学・薬学関係の学会予稿集・報告を数多く収集し、また、医薬品記載率の高い学術雑誌からユーザに必要な情報を網羅的に

しかも速報的に毎週お届けしています。資料入手から約2週間でお手元に必要な情報を提供しますので、これを基にユーザが自社登録医薬品情報を効率的、迅速に評価することができます。

JAPIC-Q サービスとは

- (1) 医薬品市販後調査（PMS）業務を支援する目的で、平成5年4月1日より開始したサービスで、医薬品の適正使用（有効性・安全性・品質）についての情報を速報的に提供しています。
 - (2) GVP省令、GPS省令に対応し、「安
- 全管理情報の収集」を支援し、①情報の網羅性 ②情報の処理の迅速化 ③的確な情報の提供を目指したサービスです。
- (3) “医薬品に関する内容”を公正な立場で選択し、速報的に提供しています。

JAPIC-Q サービスのメリット

- (1) 国内で開催される学会情報・国内で発行される雑誌情報の中から、ご希望の医薬品について選択した情報を提供します。
- (2) 学会情報・雑誌情報など文献情報の収集労力と費用が節減できます。
- (3) 情報の網羅性、迅速性を活かして、自社製品と競合品等との評価、分析などの資料作成に役立ちます。
- (4) 入手した情報はMR等の支援資料としても役立ちます。

提供

予め医薬品についてご登録いただき、検索結果を週1回提供するSDI（Selective

Dissemination of Information；選択的情報提供）サービスです。

資料源

- (1) 医学・薬学関連学会の総会・年会、学術大会、地方会など年間約5,100学会の予稿集、プログラム。
- (2) 国内の医学・薬学関連雑誌約418誌
(資料編P47参照)

(※主に地方会の学会収集に力を入れています。)

情報提供量

- (1) 医学・薬学関連学会からの学会情報 年間約62,000報告(演題)
 (2) 医学・薬学関連雑誌からの論文の情報 年間約10,000論文

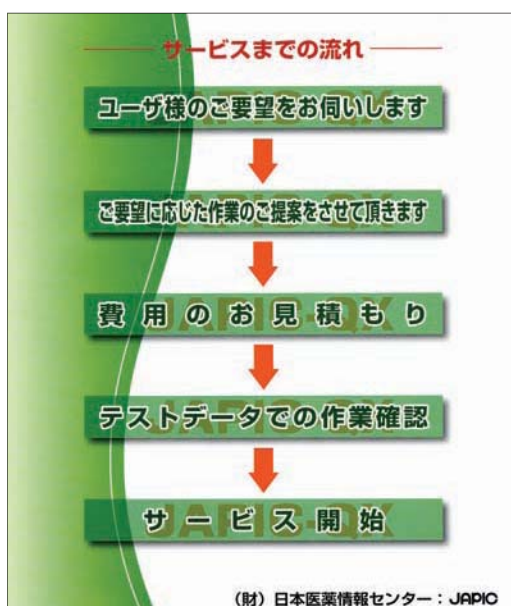
料金

(税込)

| 区分 | 会 員 | | | 非 会 員 |
|---------------------|---------------------|----------|-------------------------|---------------------|
| 基本料金 | 525,000円/年 | | | 1,050,000円/年 |
| 登録手数料 (1成分) | 10,500円/年 | | | 21,000円/年 |
| 検索料金 (1成分) | 525円/回 | | | 1,050円/回 |
| 提供方法 | 紙媒体 | CD-ROM | 書誌・キーワード テキスト CD-ROM | 紙媒体 |
| CD-ROM作成料金 | — | 4,200円/回 | 4,200円/回 | — |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 | 1,050円/件 | 2,100円/件 |
| 送料(毎回) (+配達時間指定) | 420円/回 (+300円/回) | | | 420円/回 (+300円/回) |

◇上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。提供件数が0件の場合であっても、検索料金をご請求させていただきます。登録手数料・検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、登録手数料・検索料金が変わります。配達時間指定は発送日翌朝の10時までまでに配達となります。

2. JAPIC-QX (JAPIC-Q エクストラサービス)



平成19年度より新たに開始したサービス!

JAPICでは1993年より製薬企業における医薬品の安全性情報収集を支援する目的でJAPIC-Qサービスを提供していますが、2007年に始めたJAPIC-QXはJAPIC-Qサービスの検索結果をさらにユーザ様のご要望に応じた形に加工・提供するサービスです。キーワードの追加付与、自社品の記載箇所のマーキング、自社品に関連のあるものとないものとに分けるなど可能な限りご要望に応じます。料金は受託内容により異なります(詳細はお問い合わせ下さい)。

3. JAPIC-Q Plus サービス

生物由来製品に関する感染症情報サービス

概要

国内で発行される医学薬学関連の雑誌及び国内で開催される医学薬学関連の学会から、生物由来製品の由来となる生物、原材料、原料または材料による感染症の情報を提供しま

す。当局から目安として提示された雑誌23誌と21の学会を収集対象とし、予めご登録いただいた動物種（ウシ、ブタ、ヒツジ等）ごとに検索した結果を提供するサービスです。

料金

※本サービスは「JAPIC-Q」サービス利用ユーザのみ、ご利用になれます。

(税込)

| 区分 | 会 員 | | | 非 会 員 |
|----------------------|---------------------|----------|-------------------------|---------------------|
| 基本料金 | 105,000円/年 | | | 210,000円/年 |
| 登録手数料 (1動物種または1式) | 10,500円/年 | | | 21,000円/年 |
| 検索料金 (1動物種または1式) | 2,100円/月 | | | 4,200円/月 |
| 提供方法 | 紙媒体 | CD-ROM | 書誌・キーワード テキスト CD-ROM | 紙媒体 |
| CD-ROM 作成料金 | — | 4,200円/回 | 4,200円/回 | — |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 | 1,050円/件 | 2,100円/件 |
| 送料(毎回) (+配達時間指定) | 420円/回 (+300円/回) | | | 420円/回 (+300円/回) |

◇上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。提供件数が0件の場合であっても、検索料金はご請求させていただきます。同一動物種でも条件により検索式が複数になる場合は、登録手数料・検索料金が変わります。配達時間指定は発送日翌朝の10時までに配達となります。

4. JAPIC-Q 遡及検索

Q サービスに登録している検索式での検索サービス

料金

① 書誌・キーワード及び原著

(税込)

| 区分 | 会 員 | 非 会 員 |
|------------|-------------|-------------|
| 基本料金* | — | — |
| 登録手数料* | — | — |
| 検索料金 (1成分) | 2,100円/1ヵ月分 | 4,200円/1ヵ月分 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| CD-ROM作成料金 | — | — |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 |
| 送料 (毎回) | 420円/回 | 420円/回 |

② 書誌・キーワード一覧のみ

(税込)

| 区分 | 会 員 | 非 会 員 |
|------------|----------|----------|
| 基本料金* | — | — |
| 登録手数料* | — | — |
| 検索料金 (1成分) | 2,100円/回 | 4,200円/回 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| CD-ROM作成料金 | 26円/件 | 26円/件 |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 |
| 送料 (毎回) | 420円/回 | 420円/回 |

◇*基本料金・登録手数料はQサービスで既に頂いておりますので、不要です。検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、検索料金が変わります。検索範囲はお申し込み時点から過去3年の範囲内に限らせていただきます。

5. スポットQ

Q サービスに登録している検索式以外での検索

料金

① 書誌・キーワード及び原著

(税込)

| 区分 | 会 員 | 非 会 員 |
|------------|-------------|-------------|
| 基本料金* | 31,500円/回 | 52,500円/回 |
| 登録手数料* | 10,500円 | 21,000円 |
| 検索料金 (1成分) | 2,100円/1ヵ月分 | 4,200円/1ヵ月分 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| CD-ROM作成料金 | — | — |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 |
| 送料 (毎回) | 420円/回 | 420円/回 |

◇手数料・検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、手数料・検索料金が変わります。検索範囲はお申し込み時点から過去3年の範囲内に限らせていただきます。

6. JAPIC Daily Mail (JDM)

医薬品・医療機器等の安全性に関する海外規制措置情報サービス

概要



海外の医薬品・医療機器等の安全性措置情報の迅速な入手及び関連医薬品の対応のために役立つサービスです。

海外及び国内における医薬品・医療機器等の安全性措置情報を日本語概要付きで毎日電子メールで提供します。米国FDA、EU/EMEA、英国MHRA等世界約80サイトのホームページを毎日チェックし、医薬品の表示改訂、警告、回収、販売中止等の情報について日本語概要を提供しますが、同時に該当原文情報にもリンクできます。



医薬品GPMSP (現GVP/GPSP) の一部改正 (平成13年10月施行) に伴う外国措置情報の収集等の業務支援を目的としています。

JDMに契約されている企業・機関に所属の方は「iyakuSearch Plus」で毎日更新される規制措置情報データベース「JAPIC Daily Mail DB」も無料で利用できます。

料金

(税込)

| 区分 | 会員 | 非会員 |
|------|------------|--------------|
| 基本料金 | 525,000円/年 | 1,050,000円/年 |
| 社内転送 | 30名まで | 630,000円/年 |
| | 30名~100名 | 1,050,000円/年 |

◇上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。上記基本料金で3アドレスまでご登録いただけます。3アドレスを超える場合の追加料金は、1アドレス追加につき年間/会員：105,000円、非会員：210,000円。JDMデータベースは無料でご利用になれます。

7. JAPIC Daily Mail Plus

生物由来製品に関する感染症情報サービス

概要

国内外の有用なWebサイトを調査し、生物由来製品の由来となる生物、原材料、原料又は材料から人に感染すると認められる疾病に関する情報(新規感染症、既知感染症の発生頻度の増加、新規感染経路、生物由来製品による感染症の発生等)を電子メール(Excelフ

イル)により週1回、月曜日に提供しています。

日本語の概要に該当原文へのリンク、キーワード(感染症、動物種)を付けて提供しています。調査対象はWHO、OIE、EU、各国機関(米、英、カナダ、独、豪、スウェーデン、日本など)約50サイトです。

| | A | B | C | D | E | F | G |
|---|---|-----|--|---|-----------------|--|---|
| 1 | 感染症情報「JAPIC Daily Mail Plus」No.94 (2005/6/4(土)~2005/6/10(金)更新分) | | | | | | |
| 2 | 記事番号 | 機関 | チェックサイト | チェックサイトURL | 感染症等 | 本文 | 原文リンク1 |
| | 94-1 | WHO | WHO/CSR/Disease Outbreak News Most recent news | http://www.who.int/csr/don/en/ | マールブルグウイルス病(ヒト) | 94-13の重複記事 94-89に同様の記事が掲載されています。 アンゴラにおけるマールブルグ出血熱(update21): 2005年5月26日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血 | http://www.who.int/csr/don/2005_06_07/en/index |

料金

※本サービスは「JAPIC Daily Mail」利用ユーザのみ、ご利用になれます。

(税込)

| 区分 | | 会 員 | 非 会 員 |
|------|-------|------------|------------|
| 基本料金 | | 105,000円/年 | 210,000円/年 |
| 社内転送 | 30名まで | 63,000円/年 | 126,000円/年 |
| | ~100名 | 105,000円/年 | 210,000円/年 |

◇上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。上記基本料金で3アドレスまでご登録いただけます。3アドレスを超える場合の追加料金は、1アドレス追加につき年間/会員: 21,000円、非会員: 42,000円。

8. PubMed 代行検索

生物由来製品に関する感染症情報サービス

概要

ヒトにおける重要な感染症および生物由来製品の原材料・原料または材料となる動物種における人獣共通感染症情報について、医学文献データベースPubMedで検索し、月2回(第1、第3水曜日)、動物種ごとに電子メー

ル(CSVまたはExcel形式)で提供するサービスです。検索結果はデータ用としてCSV形式、印刷用のTXT形式のファイル、および検索式とその結果(Search History画面、HTMLファイル)を添付します。

DEA（新たな規制物質の登録、分類変更）等の情報の概要を日本語でWeb配信により提供します。「Federal Register」の該当原文（英語）にリンクできる機能、検索機能を付けるとともに、発刊号全体を冊子形式で編集した全文PDFを掲載しています。毎月1回、最終金曜日にメール配信。

メール配信の特徴：

- 最新号の記事タイトル▶記事詳細（日本語）へリンク▶さらにFRの該当原文（英語）へリンク
- 全文PDFへリンク▶ダウンロード
- プリントアウトにより冊子として利用可能です。さらにRegulations Viewデータベースへ収載。

料金

※海外規制情報（米国編）Web配信（月1回提供）

（税込）

| 区分 | 会 員 | 非 会 員 |
|------|------------|------------|
| 基本料金 | 105,000円/年 | 126,000円/年 |

◇1機関3アドレスまで

10. JAPIC Weekly News

医療機関向け外国政府等の医薬品・医療機器等安全性に関する措置情報

概要



「JAPIC WEEKLY NEWS」は、製薬企業向けに有料で提供している外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する措置情報サービス「JAPIC Daily Mail」からの記事を抜粋し、主として医療機関向けに再録し、定期的にまとめて提供するサービスです。平成17年4月より、JAPIC会員の医療機関・大学を対象に無料で提供しております。毎週木曜に電子メールにて提供しています（PDFファイル添付）。

2 電子データ（添付文書／文献情報）

1. 医療用医薬品添付文書情報データ

最新の医療用医薬品添付文書XMLデータ、カンマ区切りテキストデータ、病名データ、添付文書PDFを提供します。

- 最新の医療用医薬品添付文書に基づいて作成した添付文書XMLデータ、カンマ区切りテキストデータ、病名データ、添付文書PDFを提供しています。収載件数は約12,000件（約18,000品目）です。
- 当センターでは添付文書を日々入手しており、添付文書の改訂に迅速に対応したXMLデータ及びカンマ区切りテキストデータを作成しています。
- 病名データは添付文書に記載された効能・効果と国際疾病分類第10版（ICD10）に基づく標準病名を関連付けた、添付文書記載病名データです。
- ご利用機関の種類、規模、施設数などに応じた料金を設定しております。詳細は直接お問合せください。

```
<other.adverseevent en="その他の副作用" class="国内" label="その他の副作用">
<ae.set en="副作用セット">
<ae.set.front en="副作用セットの前文">
<lst.t dsp="off">
<srl.t><dtl.t>次のような副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には、減量又は休業し、あらかじめ少量より投与を開始するなど適切な処置を行うこと。<br/>（頻度不明は※）</dtl.t></srl.t></lst.t></ae.set.front>
<ae.set.frequency en="頻度区分">
<frequency en="発現頻度">5%以上又は頻度不明</frequency>
<frequency en="発現頻度">0.1～5%未満</frequency>
<frequency en="発現頻度">0.1%未満</frequency></ae.set.frequency>
```

添付文書XMLデータ

```
body,使用上注意/副作用/重大副作用国内/,12.錯乱,抑うつ等の精神症状
body,使用上注意/副作用/重大副作用国内/,13.無顆粒球症,汎血球減少
body,使用上注意/副作用/重大副作用国内/,14.重症筋無力症の悪化
body,使用上注意/副作用/重大副作用国内/,15.血管炎
body,使用上注意/副作用/重大副作用国内/,上記7～15)の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
body,使用上注意/副作用/他副作用国内,他副作用国内(他副作用国内)
body,使用上注意/副作用/他副作用国内/,以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。
```

カンマ区切りテキストデータ

```
"00000004","001","イホスファミド投与又はシクロホスファミド(造血幹細胞移植の前治療)投与に伴う泌尿器系障害(出血性膀胱炎,排尿障害等)の発現抑制","7881002","排尿障害","排尿障害","R391"
"00000004","001","イホスファミド投与又はシクロホスファミド(造血幹細胞移植の前治療)投与に伴う泌尿器系障害(出血性膀胱炎,排尿障害等)の発現抑制","8842024","出血性膀胱炎","出血性膀胱炎","N309"
"00000004","001","イホスファミド投与又はシクロホスファミド(造血幹細胞移植の前治療)投与に伴う泌尿器系障害(出血性膀胱炎,排尿障害等)の発現抑制","J111111","",
"00000004","001","イホスファミド投与又はシクロホスファミド(造血幹細胞移植の前治療)投与に伴う泌尿器系障害(出血性膀胱炎,排尿障害等)の
```

病名データ

2. 一般用医薬品添付文書情報データ

最新の一般用医薬品添付文書テキストデータ、添付文書PDFを提供します。

- 最新の一般用医薬品添付文書に基づいて作成した添付文書テキストデータ、添付文書PDFを提供しています。件数はテキストデータ約12,000件、PDF約8,500件です。
- 当センターでは添付文書を日々入手しているのに加え、年1回の一般用医薬品調査を行い、製品の変動の多い一般用医薬品に対応したテキストデータ及び添付文書PDFを作成しています。
- ご利用機関の種類、規模、施設数などに応じた料金を設定しております。詳細は直接お問合せください。



添付文書PDF

ラミシールAT液〔液〕 新一般用医薬品【指新】
 ▼みずむし・たむし用薬／〔外用薬〕▼【製造販売・製造】第一三共ヘルスケア（株）、日本チバガイギー（株）▼ 【特徴】 ▼●有効成分である塩酸テルビナフィンの優れた殺真菌作用と角質層への浸透力は、1日1回の塗布で薬剤が患部に留まり、かゆみや痛み等を引き起こす水虫・たむしに持続的に効果を発揮し、症状を治していきます。▼●乾きやすく、サラッとした使用感の液剤で、乾燥（カサカサ）タイプの患部にお勧めします。▼【成分・分量】色等：無～微黄澄明▼1g中▼塩酸テルビナフィン10mg▼【添加物】▼ポリオキシエチレンセトステアリルエーテル、プロピレングリコール、アルコール▼【効能・効果】▼水虫、いんきんたむし、ぜいたむし▼【用法・用量】▼1日1回塗布▼【包装・価格】▼10g〔(A) 2,205(税込)〕▼【備考】▼新一般用医薬品（平成14年12月17日承認）▼

添付文書テキストデータ

3. 添付文書記載病名データ

医療用医薬品の添付文書に記載されている効能効果と国際疾病分類第10版（ICD10）に基づく標準病名を関連付けた、電子カルテ・オンラインレセプト時代に有用なデータです。

- 医療用医薬品添付文書に記載されている全ての「効能・効果」を標準病名及びICD-10コード、レセプト電算処理コードと対応させたデータです。医療機関においてカルテ記載時に医薬品の効能効果と標準病名が正しくマッチングすれば、その情報はレセプト請求時にもそのまま活用できます。
- 標準病名2万と医薬品1万4千品目の「効能・効果」が対応しています。
- ご利用機関の種類、規模、施設数などに応じた料金を設定しております。詳細は直接お問合せください。

開発の経緯—添付文書効能効果と病名

2005年に添付文書に記載されている効能効果と標準病名マスターを関連付けた添付文書記載病名集データをリリースしました。レセプト電算処理で用いる傷病名は「ICD10対応電子カルテ用標準病名マスター（以下、「標準病名マスター」）*」として、よく整備

されていますが、臨床現場で使用されている添付文書中の効能効果の表現と異なるため、共通のコードとして使用することができません。そこで当センターで表記データベースを開発いたしました。

◇*厚生労働省の委託を受け、財団法人医療情報システム開発センターが診療情報の「用語・コード」の標準化として作成している標準マスターのひとつ。

病名データベースの内容

添付文書に記載されている効能効果とそれに対応する標準病名、レセプト電算処理コード、ICD-10コードで構成され、対応標準病名には評価ランクが付与され、関連する病名同義語が併記されています。

また、医薬品を処方するにあたり、添付文書上の制限や条件が必要となる場合がありますが、そのために本データベースでは制限や条件を分類・コード化して収録しています。

病名データベースの利用

本データベースを導入することにより、適切な医薬品の選択、標準病名の選択、保険請求事務の効率化などに有効な手段になると考

えられます。また、添付文書情報データベースとあわせてご利用いただくよう、お奨めいたします。

| 商品名 | 効能・効果 適応症名 | 標準病名 | ICD10 コード | 条件 | レセプト 電算処理コード | 評価 | 同義語 |
|---------------|---------------------------|--------------------|--------------|----|-----------------|----|--|
| ガスター錠 10mg | ZOLLINGER- ELLISON 症候群 | ゾリンジャー・ エリソン症候群 | E164 | | 2515003 | ◎ | ZOLLINGER ELLISON 症候群, ZOLLINGER- ELLISON 症候群 |
| | | 高ガストリン血症 | E164 | | 8833380 | ○ | ガストリン分泌異常 |
| | ZOLLINGER- ELLISON 症候群 | 胃潰瘍 | K259 | | 5319009 | ◎ | 多発性消化性潰瘍、 多発胃潰瘍、 幽門潰瘍… |
| | | 急性胃潰瘍 | K253 | | 5313001 | ○ | 急性ストレス潰瘍、 ストレス潰瘍 |
| | | 胃穿孔 | K255 | | 8830483 | ○ | |
| | | 急性胃潰瘍穿孔 | K251 | | 8832277 | ○ | 急性胃十二指腸 潰瘍穿孔 |
| | | 残胃潰瘍 | K259 | | 8834146 | ○ | |
| | | NSAID 胃潰瘍 | K259 | | 8842157 | ○ | |
| | | 胃びらん | K259 | | 5310001 | △ | |
| | 急性胃炎の 胃粘膜病変 | 急性胃炎 | K291 | J | 5350004 | ◎ | 潰瘍性びらん性胃 炎、胃カタル… |
| | | 胃出血 | K922 | J | 5789001 | ◎ | |
| | | 胃びらん | K259 | J | 5310001 | ◎ | 胃粘膜びらん |

◇この表はデータベースの内容をご理解いただくために作成したもので、実データとは異なります。

※注)「効能・効果」と標準病名の関連付けの妥当性については臨床医師・臨床薬剤師等複数の専門家の評価を受け、評価結果に従い四段階(◎、○、△、×)にランク付けして表示しました。

- ◎ 添付文書「効能・効果」と一致する標準病名
- 添付文書「効能・効果」から妥当と判断した標準病名
- △ 添付文書「効能・効果」から妥当性に判断を要する標準病名
- × 添付文書「効能・効果」と関連はあるが妥当性を欠く標準病名

4. 医薬品名称データ

国内に流通する医療用、一般用医薬品の名称のみのデータを提供しています。

5. 剤形写真データ

添付文書情報、病名データご利用の方でご希望のある場合、剤形写真データを薬事日報社との提携により提供しています。

6. JAPIC PIA (院内採用医薬品集作成システム)

JAPIC PIAは、院内医薬品集を病院内で、低コストで、WORDで簡単に作成できるシステムです。

添付文書の多頻度改訂などで、院内医薬品集はあるものの、改訂に間に合わない、また、印刷業者への高額な支払いは難しい等のお悩みの医療機関の皆様にも最適です。

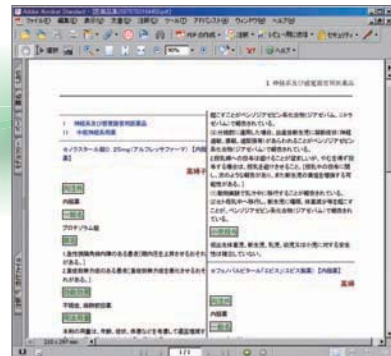
添付文書情報データは、当センター添付文

書情報iyakuSeach (毎月更新) と直リンクしております。最新の添付文書イメージPDFを閲覧することができ、添付文書改訂情報や、新規採用薬の全文データを簡単にダウンロードすることが可能です。

JAPIC PIAの大きな特徴

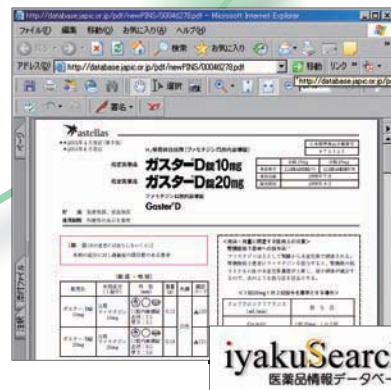
1. 医薬品集、採用薬一覧をWordで作成
2. 目次 (薬効別)、索引 (商品名順・一般名順) の自動作成 (適応症などのキーワード指定による逆引き索引)
3. 最新の添付文書をダウンロード (iyakuSearchと直リンク)
4. 院内LAN上での採用薬添付文書情報の閲覧
5. Excel、CSVデータへの出力可能
6. 同一成分薬の院外薬一覧の作成
7. 医薬品集配布後に改訂分、追加分の冊子作成
8. Y Jコード、J A Nコードから採用薬データの作成が可能
9. 添付文書情報以外の独自情報も追加編集可能
10. 後発品 (ジェネリック医薬品) の管理可能

医薬品集出力イメージ



| 院内薬 | 商品名 | 剤形 | 規格 | 単位 | 一般名 | 注記 |
|------|--------------|----|---------------|----|-------|-----|
| 2381 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2382 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2383 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2384 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2385 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2386 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2387 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2388 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2389 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2390 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2391 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2392 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2393 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2394 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2395 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2396 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2397 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2398 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2399 | カサドール 30mg錠 | 錠 | 30mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |
| 2400 | カサドール 100mg錠 | 錠 | 100mg×100mg/箱 | 箱 | カサドール | 後発品 |

採用薬編集画面 (後発品は赤字表示)



料金

(税込)

| | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 初年度利用料金 | 210,000円 | |
| 2年目以降利用料金 | サーバ利用料金 | JAPICデータ利用料金 |
| | 10,500円/年 | 21,000円/年 |

7. JAPIC 辞書データ

JAPIC辞書とはJAPICデータベースの対象論文及び学会発表からJAPICがキーワードとして採択した医薬品名、副作用名、疾病名を統制語と慣用語（論文に出てきた用語）に関連付け整理したものです。それぞれ医薬品

名辞書、副作用用語辞書、疾病名辞書に分かれています。これらの辞書を使うことによりきめ細かな幅広い検索が可能となり、もれない検索が行えます。

料金

(税込)

| 区 分 | 初年度料金 | メンテナンス料金 |
|---------|------------|--------------|
| 医薬品名辞書 | 2,100,000円 | 420,000円（年間） |
| 副作用用語辞書 | 1,050,000円 | 420,000円（年間） |
| 疾病名辞書 | 1,050,000円 | 420,000円（年間） |

8. 医療用医薬品添付文書SGMLデータ「医薬品医療機器総合機構」

料金

(税込)

| 区 分 | 会 員 | | 非 会 員 | |
|---------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 基本料金 | メンテナンス料金(年) | 基本料金 | メンテナンス料金(年) |
| テキストデータ | 5,250円 | 63,000円 | 10,500円 | 126,000円 |
| | 26,250円 | 315,000円 | 52,500円 | 472,500円 |
| PDFデータ | 5,250円 | 63,000円 | 10,500円 | 126,000円 |
| | 26,250円 | 315,000円 | 52,500円 | 472,500円 |

◇CD-ROMでご提供します。上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。

9. 「JAPICDOC」CD-ROMデータ

医薬文献情報データベース

料金

3,150,000円/年（税込）

③ JAPIC作成の医薬品情報データベース

① iyakuSearch (医薬品情報データベース)

iyakuSearchはJAPICが作成・提供する医薬品情報データベースです。
どなたでも無料で検索できます。

提供コンテンツ：Free ファイル

1. 医薬文献情報
2. 学会演題情報
3. 添付文書情報 (医療用・一般用添付文書)
4. 臨床試験情報
5. 日本の新薬
6. 学会開催情報
7. 医薬品類似名称検索



<http://database.japic.or.jp>

1. 医薬文献情報

医学・薬学関連文献から医薬品の有効性、安全性に関する情報を蓄積したデータベースです（1983年から蓄積し、現在37.5万件）。採択雑誌数は国内約410誌、海外14誌で、年間約17,000件、月約1,400件（原著約900、総説約500件）のデータを新規に追加しています。データは文献ごとに、書誌的事項、キーワード、抄録の3大要素で構成されています。書誌的事項としては標題、著者名、所属機関、雑誌名が、キーワードとしては医薬品名（一般名、会社名、剤形、投与経路、薬効分類）、内容に関連したキーワード、疾病名、副作用症状名が収録されています。抄録は、現在原著文献には800文字程度の項目立て抄録を、総説文献には副題を収録しています。検索は、書誌的事項、キーワード、抄録からの全文検索となります。データ更新は月1回です。



2. 学会演題情報

国内で開催される医薬関連学会（地方会を含む）で発表された抄録・演題の中から医薬品の有効性、安全性に関する情報を蓄積したデータベース（1993年から蓄積）。採択対象はJAPICで入手した学会予稿集・プログラムおよび医薬文献情報採択雑誌に掲載された学会報告です。年間延べ約5,100学会、約62,000件のデータを新規に追加しています。データは演題ごとに、書誌的事項、キーワードで構成されています。書誌的事項は演題、演者・研究者名、所属機関、学会名、開催年月日などが、キーワードは医薬品名（一般名、会社名、薬効分類）、副作用症状名、内容に関連したキーワードが登録されています。検索は、書誌的事項、キーワードからの全文検索となります。データ更新は月1回です。



能（ユーザ登録など不要）です。臨床試験概要、臨床試験結果情報の登録のみユーザ登録（無料）が必要となります。

5. 日本の新薬—新薬承認審査報告書DB—

新薬の承認申請に関わる資料のうち、「審査報告書」と「審査結果報告書」を収録したデータベースです。総合機構、日本薬剤師研修センター、国立医薬品食品研究所から公表された平成10年1月以降の報告書を検索用に全文テキスト化したもので、新成分、効能追加、新用量、新剤形など全ての申請内容を含みます。医薬品名、承認年月、会社名、申請区分、薬効分類名、効能・効果、使用上の注意のほか、全文からの検索も可能です。審査報告書は全文のHTML表示のほか、PDF表示

も可能です。

2008年4月現在約430件のデータが蓄積されており、更新は随時行っています。



6. 学会開催情報

日本国内で開催される医学・薬学関係の学会、研究会、シンポジウム、国際会議等について1996年以降の開催情報をご覧いただけます。更新は月2回。

会議名・主催学会名等、会長名、事務局名（事務局の機関名）、会場名、開催地（都道府県名）、開催年月日から検索可能。

※検索結果一覧から各学会作成のホームページにリンクを張っています。

JAPIC附属図書館が所蔵する雑誌、新聞、Webサイト、DM等から開催情報を把握しています。

検索結果一覧

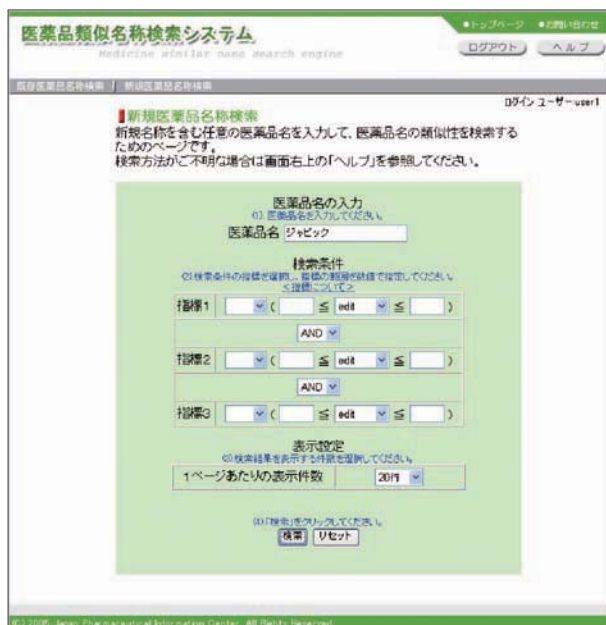
条件: 臨床眼科
開催地:
開催年月日: 2007/02/06~
検索件数: 4

| No. | 学会名/会議名 | 開催年 | 開催日 | 会場名 |
|-----|-----------------|------|---------------|--------------|
| 1 | 新潟臨床眼科研究会 | 2007 | 03/19 - 03/19 | 新潟大学医学部有任記念館 |
| 2 | 日本臨床眼科学会 第10回総会 | 2007 | 10/11 - 10/14 | 国立京都国際会館 |
| 3 | 日本臨床眼科学会 第10回総会 | 2008 | 10/23 - 10/26 | 東京国際フォーラム |
| 4 | 日本臨床眼科学会 第10回総会 | 2008 | 10/09 - 10/12 | 福岡市 |

検索結果一覧

7. 医薬品類似名称検索

医薬品名称の類似性を客観的にチェック！



新規医薬品名称検索画面



新規医薬品名称検索結果画面

医薬品名称の類似性について各種の指標を示し、類似性を客観的に判断するための検索システムを Web で提供いたします。

【提供サービス】

● 既存医薬品名称検索（Web：インターネット上で無料で検索できます）

一般利用者向け機能で、無料で一般公開しています。

承認された医薬品名相互の類似性を検索し、確認する無料のサービスです。

選択した一つの既存医薬品名称とそれ以外の医薬品名称の類似性を検索する画面と、二つの既存医薬品名称相互の類似性を検索する画面があります。

● 新規医薬品名称検索（Web：有料）

専門家向け機能で、ログインのためのユーザ名とパスワードが必要になります。

新規名称を含む任意の医薬品名称と既存の医薬品名称との類似性を検索し、確認するサービスです。Web 利用申込画面に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

お申し込みいただきますと、JAPIC にて利用者登録を行い、5 日間の有効期間指定のパスワードを交付いたします。利用期間内は何回でも自由にご利用いただけます。

※注)なお、当面従来の代行検索も行っております。直接お問合せください。

新規医薬品名称検索料金

(税込)

| 区分 | 会 員 | 非 会 員 |
|-----------|---------------|----------------|
| 料金（5日間有効） | 52,500円/パスワード | 105,000円/パスワード |

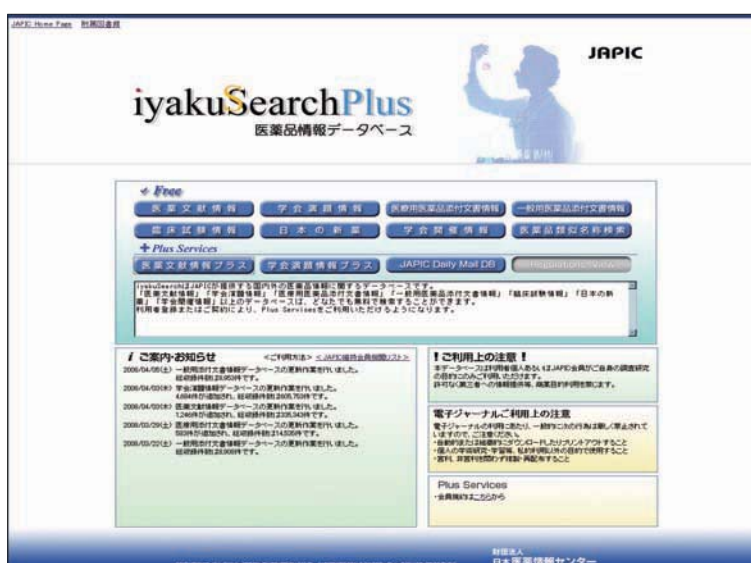
※本サービスのご利用は国内法人をもつ組織を対象としております。

② iyakuSearch Plus

iyakuSearch Plusは利用者登録またはご契約に応じて、下記のPlus Serviceをご利用いただけるデータベースポータルです。会員ユーザは無料でご利用いただけます。

【提供コンテンツ】 Plus Services

1. 医薬文献情報プラス
2. 学会演題情報プラス
3. Japic Daily Mail DB
4. Regulations View DB



料金

(税込)

| 区分 | 会員 | 非会員 |
|----------|----|-----------|
| 詳細（抄録）表示 | 無料 | 10,000円/年 |

1. 医薬文献情報プラス

「医薬文献情報」の抄録および付加情報（医薬品名・副作用症状名・疾病名等のキーワード）まで、ご覧いただけます。利用者登録が必要です。

2008年4月より、JST（科学技術振興機構）提供のJ-STAGEにリンクされ、電子ジャーナルが参照できます。

▶「医薬文献情報」の詳細はP26参照。



③ JAPIC作成の医薬品情報データベース

2. 学会演題情報プラス

「学会演題情報」の付加情報（医薬品名・副作用症状名などのキーワード）まで、ご覧いただけます。利用者登録が必要です。

▶「学会演題情報」の詳細はP27参照。



3. JAPIC Daily Mail DB



規制措置情報データベースには、2004年1月からのJDMの内容が全て蓄積されており、全文検索のほか、発信国や情報種別（医薬品、医療機器、その他）による絞り込み検索を行うことができます。また、該当文書の保存を行っておりますので、JDMでお知らせした時点での文書がご覧いただけます。

このデータベースは、JDMサービスをご利用の団体・機関に所属される方であれば、無料で検索・閲覧していただくことが可能です（※利用登録によるIDおよびパスワードの入手が必要となります）。



4. Regulations View DB

▶「Regulations View」の詳細はP16参照。

③ 外部機関から提供しているJAPICデータベース (JIP/JST)

1. e-InfoStream

<https://e-infostream.com/>

日本電子計算株式会社 (JIP) からのJAPICデータベースの提供

e-InfoStream は日本電子計算株式会社が提供する、医学・医薬品情報の会員制データベースサービスです。JAPIC では次の7つのデータベースを作成し提供しています。利用ご希望の場合は直接上記サイトにお申ください。

1. JAPICDOC
2. JAPICDOC 速報版
3. SOCIE
4. ADVISE
5. MMPLAN
6. NewPINS
7. SHOUNIN



◆ JAPICDOC

国内・海外の医学・薬学関連文献から医薬品に関する情報を蓄積したデータベースです。

国内文献は1979年から収録。内容は医薬品の基礎から臨床までの情報で、特に医薬品の有効性や安全性を中心に収録しています。海外文献は1996年から安全性に関する情報を収録しています。

◆ JAPICDOC速報版

JAPICDOC (国内・海外の医学・薬学関連文献から医薬品に関する情報を蓄積したデータベース)の速報版です。JAPICDOCに収録されるまでの間、1ヶ月前に項目を限定して提供しています(海外文献情報は含まれておりません)。

◆ SOCIE

国内で開催される医薬関連学会(地方会を含む)で発表される演題の中から、医薬品の有効性や安全性に関する情報を蓄積したデータベースです。1993年4月からの情報を収録しています。

③ JAPIC作成の医薬品情報データベース

◆ ADVISE

臨床で生じた医薬品による副作用の文献情報を蓄積したデータベースです。医学・歯学・薬学ならびに関連領域の雑誌から、医薬品（治験薬を含む）による副作用の記述のあった文献を採択しています。副作用症状と原因薬がリンクされています。1995年からの情報を収録しています。

◆ MMPLAN

国内で開催される医療関係の学会・研究会・シンポジウム・国際会議等の開催予定情報をデータベース化したもので、学会等の開催日、会場、連絡先、抄録などの入手状況等の情報を公開するものです。2005年4月からの情報を提供しています。

◆ NewPINS

国内で使用されている医療用医薬品添付文書情報のデータベースです。

添付文書単位でレコードが作成されており、添付文書に記載されているすべての項目が登録されており、添付文書の全文を検索対象にすることができます。ただし、グラフ・化学構造式など図形の入力は省略しています。

◆ SHOUNIN

「医薬品承認品目データベース」の通称で、医薬品の承認年月日を調査するためのデータベースです。1989年1月以降に厚生労働省が承認した医療用医薬品・一般用医薬品の承認年月日に関するデータを収録しています。

◇データベースに関するお問合せは、それぞれのデータベース提供機関にお願いいたします。

医薬品文献情報 **JAPICDOC**

検索ページ ヘルプ Q&A 文献複写サービス データベース・トップ

● 2007年9月10日更新 (追加 1,664件、200708043 ~ 200709587, 200750849 ~ 200750989)

検索実行 入力クリア 検索式選択 検索式保存 初期画面

[1] フリーキーワード 2

参照

[2] 医薬品名 2

前方一致 後方一致 キーワード候補

[3] 副作用 2

前方一致 後方一致 キーワード候補

[4] 器官別副作用 2

参照

[5] 疾病 2

前方一致 後方一致 キーワード候補

[6] 著者名 2

[7] 所属機関 2

[8] 雑誌名 2

● 各検索項目のヘルプをクリックするとその項目のヘルプを表示します。
● 異なる項目間の検索条件は「AND」です。同一項目内で複数条件を入力する場合には、「+」（OR条件）、「x」（AND条件）、「#」（AND条件）を併せてください。
● 医薬品名には、英名（半角）を入力してください。尚、キーワード候補は、和名（全角）も検索できます。

【JAPICDOC】 検索画面：日本電子計算株式会社提供

2. JDream II

<http://pr.jst.go.jp/jdream2/index.html>

JDream IIとは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が作成した科学技術や医学・薬学関係の文献情報を手軽に検索できるようにしたデータベースサービスです。

JAPIC では JAPICDOC を提供しています。

◆ JAPICDOC

国内・海外の医学・薬学関連文献から医薬品に関する情報を蓄積したデータベースです。

国内文献は1983年から医薬品の基礎から臨床までの情報で、特に医薬品の有効性や安全性を中心に収録しています。

海外文献は1996年から安全性に関する情報を収録しています（収録範囲を除き、e-InfoStreamで提供しているJAPICDOCと同じデータです）。

2008年4月よりJ-STAGEで提供されている電子ジャーナルへリンクするサービスを開始しました。また、頻度分析表を参照しながらの絞り込み検索が可能です。

◇データベースに関するお問合せは、それぞれのデータベース提供機関にお願いいたします。

【JAPICDOC】 検索画面：独立行政法人科学技術振興機構提供

4 JAPIC 出版物・CD-ROM 等

料金

(税・送料込)

| 出 版 物 名 | 価 格 |
|--|---------------------------------------|
| JAPIC 医療用医薬品集 2008 (検索用CD-ROM付) | 13,650円/冊 |
| JAPIC 医療用医薬品集 更新情報シール | 3,600円/10回 |
| JAPIC 医療用医薬品集 普及新版 2008 | 7,875円/冊 |
| JAPIC 一般用医薬品集 2008 | 9,450円/冊 |
| JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版 (CD・DVD-ROM) (1、4、7、10月) 年4回発行 | 15,000円/単品 25,000円/年4回セット |
| 添付文書記載病名集 Ver.2.0 (2008年2月版) | 7,800円/冊 |
| 日本の新薬—新薬承認審査報告書集—全25巻 | 288,750円/セット 23,100円/冊 (会員割引価格) |
| 医薬品製造(輸入)承認品目一覧 | 10,500円/冊 |
| 日本の医薬品 構造式集 (検索用CD-ROM付) 2008 | 2,940円/冊 |
| 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集 | 1,680円/冊 |
| JAPIC 日本医薬品名事典—Drug Index in Japan (医療薬・一般薬) | 3,990円/冊 薬事日報社扱い |
| 医薬関連情報 (月刊) (速報FAXサービスも実施/会員限定) | 105,000円/年 (会員有償分) |
| JAPICJ (ジャピックジャーナル) | 無料 |
| JAPIC NEWS | 無料 |
| JAPIC Guide | 無料 |

◇「JAPIC 医療用医薬品集」と「CD-ROMインストール版」とのセット割引があります。「JAPIC 医療用医薬品集普及新版」と「インストール版」のセット割引もあります。詳細はお問合せください。

1. JAPIC 医療用医薬品集 2008 (検索用 CD-ROM 付)

国内の全医療用医薬品添付文書記載事項を網羅した医療用医薬品集の定本

国内流通の全医療用医薬品を約2,100成分に集約。正確さと網羅性を追求した書籍です。

本文・索引を30年の編集実績に基づいた、重要事項を見付けやすい紙面構成といたしました。

医療用医薬品DIの資料に病院・薬局・薬店必携の一冊。

- 成分ごとに、添付文書記載の適応・用法・警告・禁忌・使用上の注意・薬物動態・臨床成績・薬効薬理等を製品・剤形による違いも含めて記載すると共に、再審査期間及び保険適用関連通知も収録しております。また、後発品とそれ以外の区別も可能となっております。
- 過去一年間の“新医薬品一覧”、“類似薬選定のための薬効別薬剤分類表”等の各種参考情報を収録。
- 医療用・一般用添付文書情報、医療用薬識別コード情報等を収録したCD-ROM（非インストール版）を添付しております。

- 識別コードから本誌掲載ページがわかる薬剤識別コード一覧（冊子、無償）、常に最新情報にアップデート可能な更新情報シール（有料）も提供しております。

(株)丸善 販売 B5判・年刊（9月発刊）



2. JAPIC 医療用医薬品集 普及新版 2008

医療用医薬品集の収録製品数はそのまま記載内容を絞り込んだコンパクト版

JAPIC 医療用医薬品集の記載内容を承認事項・使用上の注意に絞り込み、取扱い易いように再構成した薬剤師・医療関係者必携の一冊です。

- 成分ごとに、添付文書記載の適応・用法・警告・禁忌・使用上の注意等を製品・剤形による違いも含めて記載しております。また、後発品とそれ以外の区別も可能となっております。
- JAPIC 医療用医薬品から価格・ページ数を大幅に削減し、購入しやすく取扱い易くしました。追補としてもご利用下さい。

(株)丸善 販売



3. JAPIC 一般用医薬品集 2008

国内の一般用医薬品を網羅した一般用医薬品集の定本

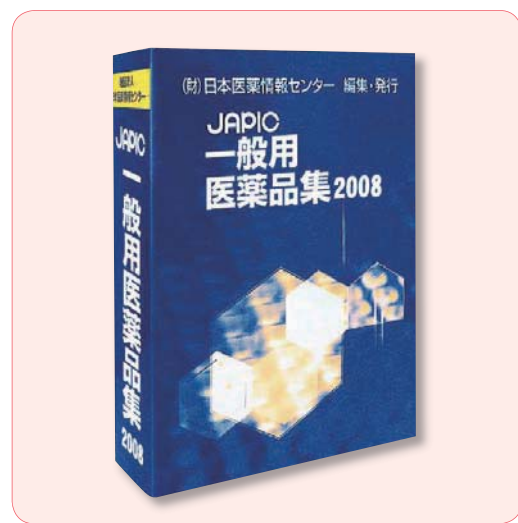
国内の一般用医薬品、約11,000製品を収録した一般用医薬品集。製品・項目の探しやすさ・見やすさに配慮した2色構成でまとめました。

また、セルフメディケーション推進のために刷新著しい一般用医薬品周辺状況に対応するため、隔年発刊から年刊に変更いたしました。

- 一般用医薬品データは年1回の大規模調査結果を中心に最新情報を収録。
- 一般用医薬品添付文書記載情報から、全製品の組成・効能・用法データを記載し、新一般用医薬品を中心とした一部製品の添付文書全文を収録。
- 付録には、配置薬として承認されている医薬品にはどのような成分・効能があるのか分かる“配置販売品目指定基準”、一般用医薬品販売に今後必須の情報となる“一般用医薬品

成分のリスク分類一覧”、“パブロンエース”・「パブロンゴールド」などのブランド名別に成分の相違がよく分かる“ブランド名別成分比較表”等参考情報を収録。

(株)丸善 販売 B5判・年刊



4. JAPIC 「医療用医薬品集 2008」 更新情報メールサービス

お手元の医薬品集を常に最新情報にアップデート！

JAPIC 医療用医薬品集専用の更新情報シールをwebにて翌月無料配信しています。

提供内容は添付文書の【効能効果】、【用法用量】、【警告】、【禁忌】、【原則禁忌】、【併用禁忌】、【原則併用禁忌】、【重大な副作用】の改訂情報を医薬品集用に編集したデータです。

お申し込みは専用フォームから受け付けております。また、バックナンバーも参照可能ですので、年度途中からのお申し込みでも発行済の更新情報の全てを参照、アップデートすることが可能です。

貼付用シール付きのタイプも有償で提供させていただきます。詳しくは“JAPIC 医療用医薬品集 2008”添付ハガキをご参照下さい。

更新履歴

| |
|----------|
| 2008年10月 |
| 2007年12月 |
| 2007年11月 |
| 2007年10月 |
| 2007年9月 |
| 2006年12月 |

最新情報「JAPIC医療用医薬品集」2008 更新情報2008年1月版
(シール番号 08-01-1-01 ~ 08-01-1-42:42枚)

2007年12月1日までに(財)日本医薬情報センターが入手した添付文書のうち、【効能効果】、【用法用量】、【警告】、【禁忌】、【原則禁忌】、【併用禁忌】、【原則併用禁忌】、【重大な副作用】の改訂を監査後に改訂し、更新情報として提供させていただきます。また、薬価改訂など承認事項に關連した情報についても可能な限り追加しています。
*JAPIC医療用医薬品集2008の該当ページに貼付してご利用下さい。

※今回提供の更新情報は、2007年12月14日、21日薬価改訂の新薬、報告品、後発品も含まれております。
(《新しく追加された製品》もご参照下さい。)

【新しく追加された製品】

| 番号 | 項目名称 | PDF | 該当頁 | 改訂・変更箇所 | コメント(厚生労働省「使用上の注意」の改訂指示等) |
|------------|----------|-----|-----|---------|---------------------------|
| 08-01-1-01 | イトラコナゾール | 色 | 304 | 【禁忌】 | ④の「(注釈のみ)」を削除 |

5. 添付文書記載病名集 Ver.2.0 (2008年2月版)

医療用医薬品添付文書の「効能効果」に対応する標準病名を商品名ごとに一覧としてまとめた実践対応書です。

「医薬品の効能効果」（適応症）をICD-10の標準病名に対応させ、さらに临床上使用される詳細な病名に対応しています。

医薬品適正使用の観点から用法用量、警告、禁忌などの添付文書記載情報の重要事項の一部を掲載しました。

◆「対応する標準病名を大幅に見直し、医療用医薬品14,000品目（漢方製剤を除く）の効能効果に対応する約6,700標準病名を掲載しています。

◆ Ver.2.0ではJAPICがこれまでに蓄積した文献情報や学会発表で使用された病名を加え、また、ICD10の同一分類の中から選んだ病名を臨床医師・薬剤師に評価していただき、対応する標準病名を大幅に拡張しランク付けをしました。

◆ 内用薬、注射薬、外用薬（歯科用薬を含む）の商品名を掲載しました。

◆ それぞれの商品がもつ効能効果と標準病名を記載し、該当する添付文書の用法用量の他、重要事項（警告・禁忌・原則禁忌・併用禁忌・原則併用禁忌）の一部を掲載しました。

◆ 掲載した商品名はJAPIC「医療用医薬品集」

記載の基本添付文書を参考とし、その他の商品は効能効果や規格単位が同等な商品を後段に列挙しました。

◆ 2007年6月までにJAPICで入手した添付文書および2007年7月薬価収載分の添付文書を基に作成しています。

◆ 付録として、2007年8月から12月に薬価収載された医療用医薬品の新薬で新規成分の情報を掲載しています。

(株)丸善 販売 B5判・年刊



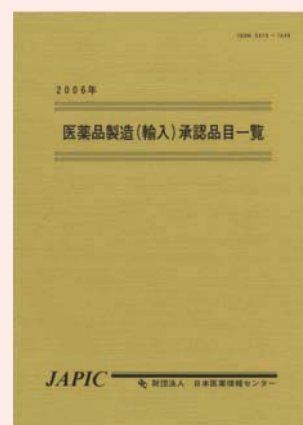
6. 医薬品製造（輸入）承認品目一覧 2007年承認分

一年間の承認情報が一覧出来ます。

JAPICでは厚生労働省から日本製薬団体連合会を通じて医薬品の製造（輸入）承認資料を入手し、JAPIC医薬品承認日情報データベース「SHOUNIN」で提供しています。

この内容を一年分まとめて冊子体にしたものが本一覧です。ご利用しやすいように医療用、一般用別にそれぞれ商品名の五十音順に配列してあります。

A4判・年刊



7. JAPIC 日本の医薬品 構造式集 (検索用CD-ROM付) 2008

日本で汎用される医薬品の構造式をまとめた類書無き一冊

JAPIC 医療用医薬品集に収録されている医薬品の構造式の他、各種関連情報を収録しています。

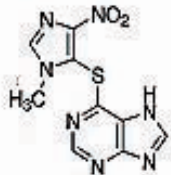
- 国内で販売されている医療用医薬品のうち、一部の高分子製剤、低分子製剤などを除く約 1,300 成分の構造式を収録。各成分には構造式のほか、一般名・化学名・薬効分類・適応・CAS Registry number・分子量・分子式を記載。
- 五十音 (和名) とアルファベット (欧文名) の 2 種類の索引を収録。
- より詳細な情報を収録した検索 CD-ROM を付録として添付。薬効・適応・分子式・商品名・会社名等の本誌記載全テキスト情報をはじめ、分子量からも検索することができます [AND、OR 検索による絞り込み検索機能も搭載]。また、複数の薬剤の構造式を同時

に表示することができ、同一薬効群や類似作用をもつ医薬品などの構造式の違いを比較検証することができます。

(株)丸善 販売 B5 判・年刊



記載例

| | |
|---|--|
| <p>アザチオプリン azathioprine (JP, INN)</p> <p>免疫抑制剤 399</p> <p>【適応】腎移植、肝移植、心移植、肺移植における拒絶反応の抑制</p>  <p>$C_9H_7N_7O_2S$: 277.26 6-(1-methyl-4-nitro-1H-imidazol-5-ylthio)purine CAS-446-86-6</p> | <p>← 医薬品一般名 一般名の欧文名にはその典拠を次の略号で付記した。なお優先順位は①JP (局方名), ②JAN (日本医薬品一般名称), ③INN (国際一般名) ④別名等</p> <p>← 薬効及び日本標準商品分類番号 (分類番号表は巻末参照)</p> <p>← 適応症 (長いものはまとめた形で掲載した)</p> <p>← 構造式</p> <p>← 分子式及び分子量</p> <p>← 化学名 (抗生剤、及び長いものは省略した)</p> <p>← CAS Registry number</p> |
|---|--|

8. 日本の新薬—新薬承認審査報告書集—全25巻

平成10年1月～平成18年10月公開分までの審査報告書の全文を収録！

新薬承認審査報告書集「日本の新薬」は旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターおよび独立行政法人医薬品医療機器総合機構で行われた新医薬品の承認審査の報告書（以下審査報告書）の、平成10年1月承認分～平成18年10月公表分をすべて収録したものです。平成10年1月承認分～平成18年1月公表分（1～20巻）は薬効別に編集してありますので、各薬効ごとに審査報告書の内容を確認することができます。

また、その後承認・公表されました審査報告書（平成18年1月～平成18年10月承認・公表分54成分）は承認月順に収録し、平成19年5月に発刊いたしました（21～25巻）。

各巻とも訂正のある報告書については本文中に修正前と修正後がわかるように編集して

ありますので訂正表とその都度見比べる必要もありません。

全25巻 B5 2006年刊



9. 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集

厚生労働省の重篤副作用疾患総合対策事業として、平成17年度から4年間の計画で作成される「重篤副作用疾患別対応マニュアル」の第1集です。厚生労働省、医薬品医療機器総合機構のホームページに2006年11月公開の9マニュアル、2007年6月公開の10マニュアルをまとめて見やすい書籍版として発刊。今後もマニュアルが好評される度に発刊予定。本マニュアルは厚生労働省課長通知（保医発第0305001号別添3・調剤）の22ページ（服薬指導情報提供加算）に紹介されています。本冊子は直版のため書店では販売していません。

B5判 378ページ

【第1集の内容】

スティーブンス・ジョンソン症候群／中毒性表皮壊死症／薬剤性過敏症症候群／横紋筋融解症／白質脳症／薬剤性パーキンソニズム／偽アルドステロン症／非ステロイド性抗炎症

薬による喘息発作／間質性肺炎／急性肺損傷・急性呼吸窮迫症候群／再生不良性貧血／出血傾向／薬剤性貧血／無顆粒球症／血小板減少症／血栓症／播種性血管内凝固／間質性腎炎／急性腎不全



10. JAPIC 日本医薬品名事典 Drug Index in Japan (医療薬・一般薬)

本書は、わが国の医療現場で使用されている医療用医薬品及び薬局・薬店等で一般に販売されている一般用医薬品のほぼすべて(約 29,100 商品)を網羅した医薬品名の索引的事典です。

医薬品の製品名と製造販売会社名、一般名、薬価・収載日、薬効分類が一見して分かるのが特徴となっています。JAPIC が保有する膨大な添付文書情報データからこれらの事項のみを抽出・列挙して極めて簡便に利用できるようにしました。

A5 判 約 1,200 ページ

販売：薬事日報社 TEL03-3862-2141

※薬事日報社ホームページからもお申し込みいただけます。

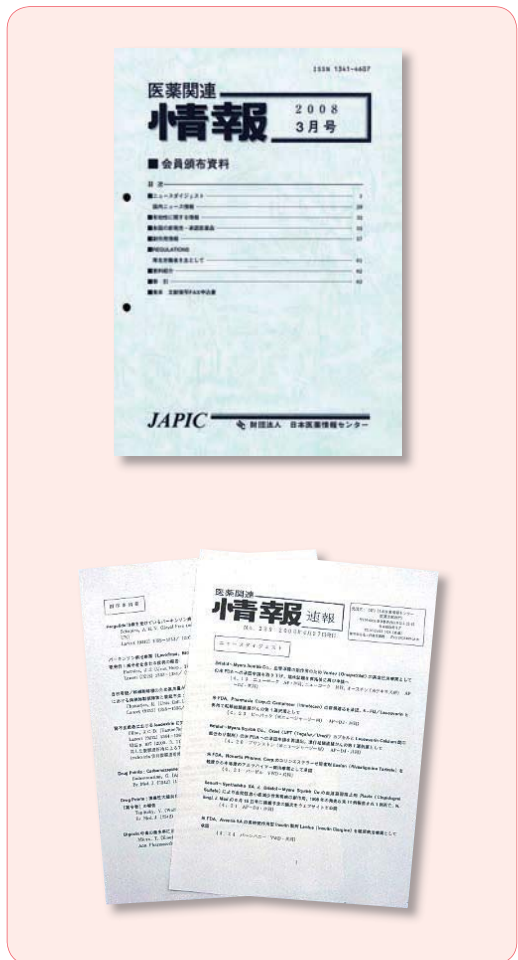


11. 医薬関連情報

会員限定誌。内容は共同通信社から入手する DJ 電等の海外ニュース情報(承認、臨床試験、安全性情報、感染症情報等)、海外の主要医学雑誌、各種ニュース誌等から、医薬品等に関連した情報を規制、副作用、有効性、新薬に関する情報に分け、日本語概要として収載。他に各国副作用関連情報誌(ADRAC 等)の紹介や厚生労働省関係の通知等を収載。

◆ 医薬関連情報速報サービス

「医薬関連情報」(月刊)に付随した会員限定の双方サービスで、希望により週 1 回ファクシミリで送信。また、JAPIC Daily Mail でも発行翌日に配信。Web サイトのサービスの紹介「定期更新情報」からもインターネット版が閲覧可能。内容は速報性を要する海外ニュース、副作用情報について簡単に紹介。A4 判週刊、毎週木曜日発行。



12. JAPIC J (ジャピックジャーナル)

公益法人としてのJAPICの活動を、会員（製薬企業、医療機関、薬剤師会、医薬品卸企業、大学等）をはじめとして広く医薬関係者に発信。

JAPIC主催の講演会、医薬情報講座、薬事研究会等で発表された内容を中心に、医薬品に関連した有用な情報をタイムリーに掲載。呼称；ジャピック・ジェイ。

(非売品)

B5判 年2回



13. JAPIC NEWS

JAPICの会員向けに発行しJAPICの活動状況、会員機関の代表者等による巻頭言、気軽に読めるコラム、シリーズ、会員の声などを掲載し読者とのコミュニケーションの場となることを目的に発行している月刊の機関誌。ホームページでも公開している。

(<http://www.japic.or.jp>)

(非売品)



14. JAPIC Guide

JAPICの組織、事業内容を一覧できるようにまとめたもの。附属図書館所蔵の資料も掲載してある。

(非売品) 年刊



15. JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版 (CD・DVD-ROM)

国内の全医療用・全一般用医薬品を収録した医薬品データベース

正確さと網羅性を誇る JAPIC 医療用医薬品集及び JAPIC 一般用医薬品集の両データに薬価データを追加収録した医薬品情報データベース。

年4回の更新で常に最新情報を収録しております。院内採用医薬品集作成をサポートする採用品登録・編集機能を搭載しており、採用品関連データの出力が可能ですので、データの共有、引き継ぎが簡単にできます。

JAPIC 医療用医薬品集とのセット販売や、年間セット、複数台使用許諾といったユーザの利用状況に合わせた様々な購入組合せを設定しております。

● JAPIC 医療用医薬品集及び JAPIC 一般用医薬品集本文データを検索対象とした、文中語検索、規制や剤形等からの検索（成分名・会社名では、医療用薬・一般用薬相互検索も可

能）、識別コードからの検索（医療用薬のみ）が可能です。

● 医療用薬追加データ・機能として、薬価データ、医療用医薬品添加物データ、iyakuSearch 掲載医療用薬添付文書 PDF とのリンク・表示機能を搭載しております。

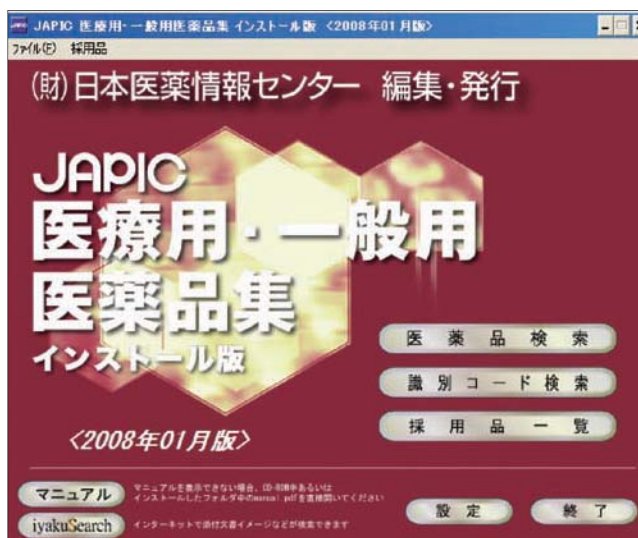
● 院内採用医薬品集編集機能では一括再読込機能などの編集補助機能を搭載。編集済データはテキストデータとして出力できますので、Word 等のソフトウェアで更に編集・印刷ができます。

● YJ コードのリスト（テキストデータ）から、該当製品を採用品として一括登録するツール（Windows 専用）も収録しております。

年4回発行（1・4・7・10月）

定価 15,000 円（税・送料込）

その他の購入組合せもあります。



⑤ 講演会、研究会、ユーザ会

医薬品およびその関連内容についての研究会または講演会を行っています。

1. 薬事研究会

年2～3回開催 対象は主として製薬企業の薬事担当者

2. 医薬情報講座

毎年3月開催、対象は主として製薬企業、医療機関などの情報担当者

3. 学術講演会

毎年秋開催、対象はJAPIC会員、一般市民

4. ユーザ会

毎年6月東京と大阪で開催。対象はJAPICの会員。

⑥ 医薬品相談・各種調査

- ・医薬品の効能効果、副作用、用法用量、および新薬、治験薬、各国の商品名、一般名など電話でお答えできる範囲の医薬品に関する質問は無料で受け付けております。
- ・医薬品に関する文献調査（有料）
添付文書情報の調査サービスは「NewPINS」を利用します。（会員限定）

料金

1) 各種データベースおよび各国医薬品集等の調査

(税込)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 会 員 | 基本料 (31,500円/件) 実 費 郵送料 |
| 非 会 員 | 基本料 (52,500円/件) 実 費 郵送料 |

◇添付文書情報の調査サービスは「NewPINS」を利用します。（会員限定）

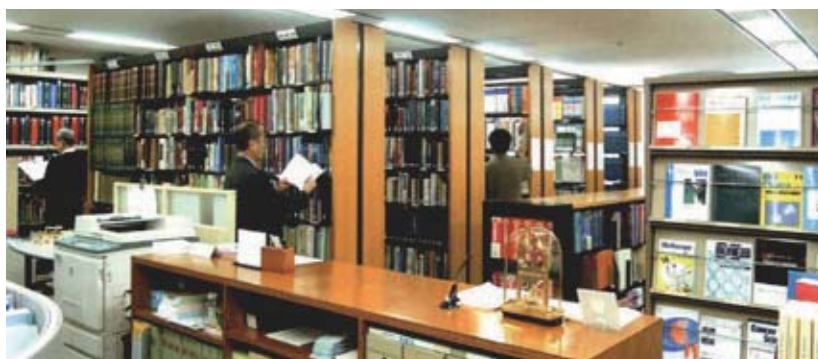
医薬品の承認年月日、再審査年月日および再評価年月日の調査は1回につき各10品目まで。（会員限定）

実費とはオンラインおよびインターネット使用料金、複写料金を示しています。

2) マニュアル調査（会員限定）

料金は、別途お見積させていただきます。

7 図書館利用案内・文献複写



(財)日本医薬情報センター附属図書館は著作権法31条の「図書館資料の複製が認められる施設」として、昭和48年政令に基づき国の指定を受けております。

| | |
|------------|--|
| 開館日／時間 | 月一金／9：00－17：30 (複写受付 9:30－17:30 ※即日処理は9:30－16:30) |
| 休館日 | 土・日・祝祭日、年末年始（12月29日－1月4日） 創立記念日（12月1日） |
| 入館・閲覧 | 誰でも自由に利用できます。入館の際はカウンター上の閲覧名簿に氏名、所属機関をご記入下さい。貸し出しはいたしません。パソコン等の機器類の使用はご遠慮いただいております。 |
| レファレンスサービス | 所蔵資料について、電話、FAXによるお問い合わせに応じています。 |
| 資料受け入れ案内 | 附属図書館の蔵書検 (http://www.japic.or.jp/iyaku/index.html) から「図書新着案内」、「雑誌新着案内」をご利用ください。 |

◇毎月末発行の『JAPIC NEWS』の「図書館だより」でも単行本等の新着情報をお知らせしています。

文献複写サービス

著作権法第31条に基づき、所蔵資料の複写サービスを行っています。複写は調査・研究用として一人一部に限り提供しています。なお、資料によっては複写をお断りすることもあります。また、JAPICで所蔵していない資料については他機関からの取り寄せも可能です。

複写物は手渡し、または郵送や宅配にて、配送いたします。

複写料金

1) 複写申込書による方法 (申込書はJAPICホームページのMS Wordファイルをご利用ください。) (税込)

| 区分 | 複写料金 | | 備考 |
|----------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| JAPIC所蔵資料 | 会員 基本料* 複写料 | 630円／論文 52円／ページ | (宅配便 ご希望の場合) |
| | 非会員 基本料 複写料 | 1,260円／論文 84円／ページ | |
| 他機関からの 取り寄せ | 会員 基本料 複写料 | 1,575円／論文 実費 | 1 郵送分につき 525円加算 |
| | 非会員 基本料 複写料 | 3,150円／論文 実費 | |
| 謝絶料金** | 会員 基本料 非会員 複写料 | 367円／論文 525円／論文 | — |

◇*基本料は手数料と送料を含みます。書誌事項等に不備があり調査を要する場合には、料金を加算させていただきます。 **謝絶料金とは、他機関へ問い合わせをしてもコピーを入手できなかった場合の手数料です。

2) データベース (iyakuSearch) を経由する場合 (JAPIC 会員のみ)

(税込)

| 基本料金 | 複写料金 |
|---------|---------|
| 367円/論文 | 630円/論文 |

⑧ サービス内容連絡先一覧

(平成20年5月1日現在)

| 内容 | 担当部署名 | 電話 | FAX |
|--|-------------|--------------|--------------|
| JAPIC-Q サービス JAPIC-QX サービス JAPIC-Q Plus | 医薬文献情報 (国内) | 03-5466-1821 | 03-5466-1836 |
| JAPIC Daily Mail JAPIC Daily Mail Plus PubMed 代行検索 Regulations View Web 配信 JAPIC Weekly News | 医薬文献情報 (海外) | 03-5466-1824 | 03-5466-1816 |
| 電子データ JAPIC 添付文書関連データ 添付文書記載病名データ JAPIC PIA | 業務・渉外 | 03-5466-1812 | 03-5466-1816 |
| 医薬品類似名称検索システム | 添付文書情報 | 03-5466-1826 | 03-5466-1826 |
| JAPIC データベース iyakuSearch / JAPICDOC | 業務・渉外 | 03-5466-1812 | 03-5466-1814 |
| 出版物・CD-ROM等 | 業務・渉外 | 03-5466-1812 | 03-5466-1814 |
| 複写サービス | 図書館 | 03-5466-1827 | 03-5466-1818 |
| 各種調査・医薬品相談 | 調査研究 | 03-5466-1824 | 03-5466-1824 |
| 講演会・ユーザ会・研究会 | 業務・渉外 | 03-5466-1812 | 03-5466-1814 |

| 事務局部門 | 電話 | FAX |
|---------|--------------|--------------|
| 総務担当 | 03-5466-1811 | 03-5466-1814 |
| 業務・渉外担当 | 03-5466-1812 | 03-5466-1814 |
| 経理担当 | 03-5466-1813 | 03-5466-1814 |

JAPIC 複写申込書

(太枠の中をもれなくご記入ください)

| | | |
|-----|--------|-------|
| 申込日 | 申込 No. | 受付日 |
| | | 受付No. |
| | | 発送日 |

| | | | |
|------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|-----------|
| ※返送方法、利用目的、手配範囲は必ず一つ選択して下さい。 | | | |
| 返送方法 | 1. 普通郵便 | 2. 宅配便 (1 郵送分につき 525 円加算) | |
| 利用目的 | 1. 調査・研究 | 2. その他 () | |
| 手配範囲 | 1. JAPIC のみ | 2. 国内機関まで | 3. 海外機関まで |
| 誌名・書名 | | | |
| 発行年 | 巻 | 号 | 頁 ~ |
| 著者 | | | |
| 論題 | | | |
| 出典 | | (注) 著作権の問題については申込者の責任となります。 | |
| 〒 住所 | 会社名 部課名 申込者 TEL / FAX | | |

※ (財) 日本医薬情報センター附属図書館は著作権法第 31 条の「図書館資料の複製が認められる施設」として、昭和 48 年政令に基づき国の指定を受けています。

複写は調査・研究用として一人一部に限り提供しています。複写物は手渡し、または郵送や宅配便にて、配送いたします。

著作権法第 31 条に該当しない複写は著作権処理が必要な場合があります。複写物のご利用についてはくれぐれもご注意ください。お申し込みの際には、かならず申込者名をご記入ください。

カラーコピーをご希望の場合はお申込時にご連絡ください。1 頁につき 105 円を加算させていただきます。

謝絶理由

基本料金 円

円 頁 円

合計 円

複写料金

JAPIC 所蔵資料

維持会員：基本料 (630 円/論文) + 複写料 (52 円/頁)

一般：基本料 (1,260 円/論文) + 複写料 (84 円/頁)

他機関からの取り寄せ

維持会員：基本料 (1,575 円/論文) + 実費

一般：基本料 (3,150 円/論文) + 実費

JAPIC DB からお申込

(維持会員のみ) 基本料 (367 円/論文) + 複写料 (52 円/頁)

謝絶料金 (他機関からコピーを入手できなかった場合の手数料)

維持会員：367 円/論文 一般：525 円/論文

料金のご請求は毎月末、翌月の初めに請求書をお送りいたします。

(財) 日本医薬情報センター附属図書館

開館時間 9:00 ~ 17:30

〒 150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 3 階

TEL 03-5466-1827 FAX 03-5466-1818

J
A

Japan

P
I

Pharmaceutical

Information

Center

資料編

附属図書館主要蔵書リスト

| | |
|--------------------------------------|----|
| JAPIC-Qサービス・JAPICDOC採択誌リスト …… | 49 |
| 凡例 …… | 53 |
| 国内雑誌 …… | 53 |
| 外国雑誌 …… | 65 |
| WHO出版物 …… | 68 |
| FDA関係資料 …… | 68 |
| 厚生労働省関係資料 …… | 70 |
| 薬事法関係資料 …… | 72 |
| 医薬品安全性関連情報資料 …… | 75 |
| 世界の医薬品集等 …… | 77 |
| 世界の公定書(薬局方・薬局方外規格等) …… | 88 |
| 治験薬情報 …… | 93 |
| 医薬品等の一般的名称に関する資料 …… | 94 |
| 商品名・同義語集 …… | 94 |
| 医薬関連分類・コード …… | 95 |
| 2008年度JAPICサービス料金一覧 …… | 97 |

JAPICQサービス・JAPICDOC採択誌リスト

国内雑誌

- Allergology International
アレルギー
アレルギー・免疫
アレルギーの臨床
Annals of Nuclear Medicine
Annals of Vascular Diseases
安全医学
あたらしい眼科
Auris Nasus Larynx-International Journal of ORL & HNS
BCG・BRM 療法研究会誌
Biological & Pharmaceutical Bulletin Biotherapy
防衛医科大学校雑誌
Brain & Development
BRAIN and NERVE
Breast Cancer
分娩と麻酔
Cancer Science
Chemical & Pharmaceutical Bulletin
千葉医学雑誌
治療
治療学
中部日本整形外科災害外科学会雑誌
中部リウマチ
中毒研究
Circulation Journal
Clinical and Experimental Nephrology
Clinical Parasitology (臨床寄生虫研究会誌)
Clinical Pediatric Endocrinology
カレントセラピー
Dementia Japan
Digestive Surgery
Drug Delivery System
Drug Metabolism and Pharmacokinetics
EBM ジャーナル
Endocrine Journal
エンドメトリオージス研究会誌
Equilibrium Research
Forensic Toxicology
福岡大学医学紀要
福岡医学雑誌
外来小児科
がん分子標的治療
眼科
眼科臨床紀要
癌の臨床
癌と化学療法
眼薬理
Gastric Cancer
外科
外科治療
外科と代謝・栄養
月刊薬事
- 現代産婦人科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery
ジェネリック研究
Geriatric Medicine
Geriatrics and Gerontology International
肺 癌
Heart and Vessels
Helicobacter Research
Hepatology Research
皮膚病診療
皮膚科の臨床
皮膚の科学
肥満研究
泌尿器外科
泌尿器科紀要
弘前医学
広島大学医学雑誌
広島医学
北海道医学雑誌
北海道産科婦人科学会誌
北陸神経精神医学雑誌
ホルモンと臨床
Hypertension Research
ICU と CCU
医学のあゆみ
医学と生物学
医学と薬学
Inflammation and Regeneration (旧：炎症・再生)
International Heart Journal
(旧 :Japanese Heart Journal)
International Journal of Clinical Oncology
International Journal of Hematology
International Journal of Urology
医 療
医療薬学
移 植
胃と腸
医薬品研究
医薬品相互作用研究
医薬ジャーナル
The Japanese Journal of Antibiotics
Japanese Journal of Clinical Oncology
Japanese Journal of Infectious Disease
Japanese Journal of Interventional Cardiology
Japanese Journal of Ophthalmology
耳鼻咽喉科免疫アレルギー
耳鼻咽喉科臨床
耳鼻咽喉科展望
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻と臨床
人工血液
腎と骨代謝
腎と透析

腎 臓
静脈学
静脈経腸栄養
Journal of Anesthesia
The Journal of Antibiotics
Journal of Arrhythmia
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis
Journal of Bone and Mineral Metabolism
Journal of Cardiology
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology
Journal of Controlled Release
Journal of Dermatological Science
Journal of Dermatological Science Supplement
The Journal of Dermatology
Journal of Environmental Dermatology
and Cutaneous Allegology
Journal of Gastroenterology
Journal of Infection and Chemotherapy
Journal of Medical Safety
Journal of Medical Ultrasonics
Journal of Natural Medicines
Journal of Nippon Medical School
Journal of Nutritional Science and Vitaminology
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research
Journal of Orthopaedic Science
Journal of Pharmacological Sciences
Journal of Rural Medicine
Journal of Smooth Muscle Research
The Journal of Toxicological Sciences
循環器科
循環制御
順天堂医学
化学療法の領域
鹿児島大学医学雑誌
核医学
神奈川医学会雑誌
環境感染
感染症学雑誌
感染と抗菌薬
肝胆膵
関東リウマチ
関東整形災害外科学会雑誌
緩和医療学
肝 臓
慶應医学
形成外科
結 核
血栓と循環
血 圧
血液・腫瘍科
近畿大学医学雑誌
The Kitakanto Medical Journal
呼 吸
呼吸と循環
骨粗鬆症治療
今日の移植
久留米医学会雑誌
胸部外科
京都府立医科大学雑誌

救急医学
九州リウマチ
九州神経精神医学
九州薬学会会報
Magnetic Resonance in Medical Sciences
慢性疼痛
麻 酔
麻酔と蘇生
Medicina
Microbiology and Immunology
三重医学
Modern Rheumatology
脈管学
内 科
Natural Medicines
熱 傷
Neurologia Medico-Chirurgica
Neuroscience Research
日大医学雑誌
日本鼻科学会誌
日本病院薬剤師会雑誌
日本唾液腺学会誌
日本大腸肛門病学会雑誌
日本エイズ学会誌
日本婦人科腫瘍学会雑誌
日本腹部救急医学会雑誌
日本眼科学会雑誌
日本外科学会雑誌
日本外科感染症学会雑誌
日本ハンセン病学会雑誌
日本平滑筋学会雑誌
日本皮膚科学会雑誌
日本泌尿器科学会雑誌
日本医科大学医学会雑誌
日本医師会雑誌
日本医真菌学会雑誌
日本耳鼻咽喉科学会会報
日本腎臓学会誌
日本褥瘡学会誌
日本受精着床学会雑誌
日本獣医医師会雑誌
日本化学療法学会雑誌
日本冠疾患学会雑誌
日本血栓止血学会誌
日本気管食道科学会会報
日本呼吸器学会雑誌
日本呼吸器外科学会雑誌
日本骨・関節感染症研究会雑誌
日本口腔外科学会雑誌
日本口腔科学会雑誌
日本口腔腫瘍学会誌
日本更年期医学会雑誌
日本公衆衛生雑誌
日本クリニカルパス学会誌
日本胸部臨床
日本救急医学会雑誌
日本未熟児新生児学会雑誌
日本内科学会雑誌
日本ペインクリニック学会誌

日本臨牀
日本臨床外科学会雑誌
日本臨床皮膚科医学会雑誌
日本臨床救急医学会雑誌
日本臨床麻酔学会誌
日本臨床免疫学会誌
日本臨床内科医学会誌
日本老年医学会雑誌
日本細菌学雑誌
日本産婦人科・新生児血液学会誌
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌
日本産科婦人科学会 関東連合地方部会会報
日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌
日本産科婦人科学会新潟地方部会誌
日本産科婦人科学会沖縄地方部会雑誌
日本産科婦人科学会埼玉地方部会誌
日本産科婦人科学会東京地方部会誌
日本産科婦人科学会鹿児島地方部会雑誌
日本性感感染症学会誌
日本性機能学会雑誌
日本生殖医学会雑誌
日本歯科医学会誌
日本歯科麻酔学会雑誌
日本神経救急学会雑誌
日本神経精神薬理学雑誌
日本心臓病学会誌
日本心臓血管外科学会雑誌
日本歯周病学会誌
日本消化器病学会雑誌
日本消化器外科学会雑誌
日本小児アレルギー学会誌
日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌
日本小児外科学会雑誌
日本小児皮膚科学会雑誌
日本小児腎臓病学会雑誌
日本小児循環器学会雑誌
日本小児科学会雑誌
日本小児血液学会雑誌
日本小児呼吸器疾患学会雑誌
日本小児臨床薬理学会雑誌
日本集中治療医学会雑誌
日本周産期・新生児医学会雑誌
日本組織移植学会雑誌
日本透析医学会雑誌
日本東洋医学雑誌
日本薬理学雑誌
日本薬剤師会雑誌
日本腰痛学会雑誌
日本輸血細胞治療学会誌
日本頭痛学会誌
新潟医学会雑誌
西日本皮膚科
西日本泌尿器科
脳循環代謝
脳神経外科
脳神経外科ジャーナル
脳卒中
脳と発達
尿路悪性腫瘍研究会記録

乳癌の臨床
Odontology
岡山医学会雑誌
大阪市医学会雑誌
大阪てんかん研究会雑誌
大阪透析研究会誌
Osteoporosis Japan
Otology Japan
応用薬理
ペインクリニック
Pain Research (日本疼痛学会誌)
Parasitology International
Pediatrics International
Pediatric Surgery International
Pharmacoaesthesiology (日本麻酔・薬理学会誌)
Pharma Medica
Practice: Journal of practical diabetes
Progress in Medicine
Psychiatry and Clinical Neurosciences
Radiation Medicine
Respirology
臨床病理
臨床婦人科産科
臨床眼科
臨床外科
臨床皮膚科
臨床泌尿器科
臨床放射線
臨床評価
臨床医薬
臨床血液
臨床麻酔
臨床免疫・アレルギー科
臨床脳波
臨床リウマチ
臨床整形外科
臨床精神医学
臨床精神薬理
臨床神経学
臨床神経生理学
臨床小児医学
臨床体液
臨床と微生物
臨床と研究
臨床とウイルス
臨床薬理
臨床薬理の進歩
リウマチ科
老年精神医学雑誌
再生医療
最新医学
産婦人科治療
産婦人科漢方研究のあゆみ
産婦人科の実際
産婦人科の進歩
産科と婦人科
サルコイドーシス／肉芽腫性疾患
成人病と生活習慣病
整形外科

整形外科と災害外科
精神医学
精神科治療学
精神神経学雑誌
精神薬療研究年報
歯科薬物療法
診断と治療
神経治療学
神経眼科
神経内科
診療と新薬
心身医学
信州医学雑誌
新薬と臨床
心臓
消化器科
消化器心身医学
消化と吸収
食品衛生研究
小児がん
小児外科
小児科
小児感染免疫
小児科臨床
小児科診療
小児内科
小児の脳神経
生薬学雑誌
昭和医学会雑誌
周産期医学
Skin Cancer
総合臨床
膵臓
Surgery Today
多摩消化器シンポジウム誌
蛋白質 核酸 酵素
TDM研究
帝京医学雑誌
通信医学
てんかん研究
Therapeutic Research
東北医学雑誌
The Tohoku Journal of Experimental Medicine
東邦医学会雑誌
東海産科婦人科学会雑誌
頭頸部癌（旧：頭頸部腫瘍）
東京慈恵会医科大学雑誌
東京女子医科大学雑誌
糖尿病
糖尿病と妊娠
Tropical Medicine and Health
痛風と核酸代謝
ウイルス
ビタミン
和漢医薬学雑誌
和歌山医学

薬局
YAKUGAKU ZASSHI
薬理と治療
薬理と臨床
薬剤疫学
薬剤学
山梨肺癌研究会誌

海外雑誌

Adverse Drug Reactions Bulletin
The Annals of Pharmacotherapy
Australian Adverse Drug Reactions Bulletin
British Journal of Clinical Pharmacology
BMJ(British Medical Journal)
Canadian Adverse Drug Reaction Newsletter
Clinical Pharmacology and Therapeutics
European Journal of Clinical Pharmacology
The Journal of the American Medical Association
The Journal of Clinical Pharmacology
The Lancet
The New England Journal of Medicine

凡 例

1. 収録範囲

2008年3月現在、JAPIC 附属図書館で所蔵する逐次刊行物(国内雑誌 635 種、外国雑誌 71 種の計 706 種)、WHO 刊行物、厚生労働省、FDA を中心とする各国の薬事規制資料、医薬品安全情報誌、世界の医薬品集、薬局方、治験薬、名称・同義語集等の一覧です。

2. 構成および配列、記載事項

- 雑誌は国内雑誌、外国雑誌に分け、国内の学会が出版している欧文誌は国内雑誌に収めた。外国雑誌は冠詞・前置詞・接続詞等を除いた語順、国内雑誌は原則としてヘボン式ローマ字綴りの読みとし、配列はアルファベット順とした。誌名に変更のあったものは1カ所に集め、新誌名の下に注記し、旧誌名からの参照を付けた。所蔵巻数、号数、出版年の順に記載し、出版年は受け入れ開始巻および最終所蔵巻に付けた。
- 医薬品安全性関連情報誌、薬事規制資料、世界の医薬品集、公定書等は国別に分け、原則として資料名のアルファベット順に配列し、所蔵表示の下に簡単な解説と3月1日現在確認できた参考となる URL を加えた。

3. 記号

- + 継続受け入れ
- ・ 購読中止
- // 廃刊および休刊
- / 合併号または出版年のまたがる場合
- 参照 (旧誌名から最新誌名への参照)

国内雑誌

*は JAPICQ / JAPICDOC 採択誌 (2008年3月現在)

A

Access

20(2005) +

あいみっく

26(2005) +

* Allergology International

54(2005) +

* アレルギー

54(2005) +

* アレルギー・免疫

12(2005) +

* アレルギーの臨床

25(2005) +

* Annals of Nuclear Medicine

19(2005) +

* Annals of Vascular Diseases

1(2008) +

Annual Report of Sankyo Research Laboratories

57(2005) +

Annual Report of Shionogi Research Laboratories

53 より Web 配信

<http://www.shionogi.co.jp/contents>

[/kaisha/kenkyu/nenpo-set.htm](http://www.shionogi.co.jp/contents/kaisha/kenkyu/nenpo-set.htm)

* 安全医学

2(2005) +

あさひ View

13(2005) +

* あたらしい眼科

22(2005) +

* Auris Nasus Larynx

— International Journal of ORL & HNS

32(2005) +

B

* BCG・BRM 療法研究会会誌

29(2005) +

Bio Clinica

20(2005) +

* Biological & Pharmaceutical Bulletin

28(2005) +

* Biotherapy

19(2005) +

* 防衛医科大学校雑誌

30(2005) +

防菌防黴

33(2005) +

The Bone

19(2005) +

* Brain & Development

27(2005) +

* BRAIN and NERVE

57(2005) +

57(2005) — 58(2006) : 脳と神経

59(2007) — : 標題誌名

- * Breast Cancer
12(2005) +
- *分娩と麻酔
86(2005) +
- 病理と臨床
23(2005) +

C

- * Cancer Science
96(2005) +
- Capsule
80(2007) +
- * Chemical & Pharmaceutical Bulletin
53(2005) +
- The Chemical Times
195(2005) +
- *千葉医学雑誌
81(2005) +
- *治療
87(2005) +
- *治療学
39(2005) +
- 超音波医学
32(2005) +
- 調剤と情報
11(2005) +
- *中部日本整形外科災害外科学会雑誌
48(2005) +
- *中部リウマチ
36(2005) +
- *中毒研究
18(2005) +
- * Circulation Journal
69(2005) +
- Clinic Magazine
34(2007) +
- クリニカ
32(2005) - 34(2007)//
- Clinical Calcium
15(2005) +
- * Clinical and Experimental Nephrology
9(2005) +
- * Clinical Parasitology
15(2005) +
- * Clinical Pediatric Endocrinology
15(2005) +
- クリニカルプラクティス
24(2005) - 26_s(2007)//
- クリニシアン (Clinician)
52(2005) +
- Current Concepts in Infectious Disease
24(2005) - 25(2006)//
- *カレントセラピー
23(2005) +

D

- * Dementia Japan
19(2005) +

- 電気通信
68(2005) +
- Dentistry in Japan
41(2005) +
- 伝統医学
8(2005) +
- Diabetes Journal (糖尿病と代謝)
33(2005) +
- * Digestive Surgery
22(2005) +
- ドクターサロン
49(2005) +
- Doctor's Magazine
75(2007) +
- Dokkyo Journal of Medical Sciences
32(2005) +
- * Drug Delivery System
20(2005) +
- Drug Magazine
50(2006) +
- * Drug Metabolism and Pharmacokinetics
20(2005) +
- DSpharma
1(2007) +
- DSU(Drug Safety Update)
1(1992) +

E

- * EBM ジャーナル
6(2005) +
- * Endocrine Journal
52(2005) +
- *エンドメトリオーシス研究会会誌
26(2005) +
- 炎症・再生
→ Inflammation and Regeneration
- Environmental Dermatology
→ Journal of Environmental Dermatology
- Environmental Health and Preventive Medicine
8(2005) +
- * Equilibrium Research
64(2005) +

F

- ファルマシア
41(2005) +
- Fine DI Weekly
11(1998) - 16(2003).
- * Forensic Toxicology
23(2005) +
- 23(2005) : 法中毒
- 24(2006) - : 標題誌名
- *福岡大学医学紀要
32(2005) +
- *福岡医学雑誌
96(2005) +
- 不整脈
→ Journal of Arrhythmia

G

- * 外来小児科
8(2005) +
- * がん分子標的治療
3(2005) +
- * 癌治療と宿主
17(2005) - 18₁(2006)//
- * 眼 科
47(2005) +
- 眼科手術
20(2007) +
- 眼科臨床医報
99(2005) - 101(2007)//
- * 眼科臨床紀要
1(2008) +
- * 癌の臨床
51(2005) +
- * 癌と化学療法
32(2005) +
- * 眼薬理
19(2005) +
- * Gastric Cancer
8(2005) +
- Gastroenterological Endoscopy
47(2005) +
- * 外 科
67(2005) +
- * 外科治療
92(2005) +
- * 外科と代謝・栄養
39(2005) +
- 月刊ジェネリック
26(2005) +
- * 月刊薬事
47(2005) +
- * 現代産婦人科
54(2005) +
- 54(2005) - 55(2006): 日本産科婦人科学会
 中国四国合同地方部会雑誌
- 56(2007) - : 標題誌名
- * General Thoracic and Cardiovascular Surgery
53(2005) +
- 53(2005) - 54(2006): The Japanese Journal of Thoracic and
 Cardiovascular Surgery
- 55(2007) - : 標題誌名
- * ジェネリック研究
1(2007) +
- * Geriatric Medicine
43(2005) +
- * Geriatrics and Gerontology International
5(2005) +
- 銀 海
189(2005) +

H

- * 肺 癌
45(2005) +
- * Heart and Vessels
20(2005) +

秦野研究所年報

- 28(2005) +
- * Helicobacter Research
9(2005) +
- * Hepatology Research
31(2005) +
- ヘルシスト
29(2005) +
- * 皮膚病診療
27(2005) +
- * 皮膚科の臨床
47(2005) +
- * 皮膚の科学
4(2005) +
- * 肥満研究
11(2005) +
- * 泌尿器外科
18(2005) +
- * 泌尿器科紀要
51(2005) +
- * 弘前医学
56(2005) +
- * 広島大学医学雑誌
53(2005) +
- * 広島医学
58(2005) +
- 北海道外科雑誌
52(2007) +
- * 北海道医学雑誌
80(2005) +
- * 北海道産科婦人科学会会誌
48(2005) +
- 北海道歯科医師会誌
60(2005) +
- * 北陸神経精神医学雑誌
19(2005) +
- * ホルモンと臨床
53(2005) +
- 法中毒
 → Forensic Toxicology
 ヒューマンサイエンス
16(2005) +
- * Hypertension Research
28(2005) +

I

- 茨城県臨床医学雑誌
41(2005) +
- * ICU と CCU
29(2005) +
- * 医学のあゆみ
212(2005) +
- * 医学と生物学
149(2005) +
- 医学図書館
52(2005) +
- * 医学と薬学
53(2005) +

I M

- 44(2005) +
- * **Inflammation and Regeneration**
25(2005) +
25(2005) - 26₁(2006) : 炎症・再生
26₂(2006) - : 標題誌名
 - Innover**
1(2007) +
 - Internal Medicine**
44(2005)//
45 より Web 配信
<http://www.naika.or.jp/imindex.htm>
 - * **International Heart Journal**
46(2005) +
 - * **International Journal of Clinical Oncology**
10(2005) +
 - * **International Journal of Hematology**
80(2005) +
 - * **International Journal of Urology**
12(2005) +
 - * **医療**
59(2005) +
医療—増刊— (国立病院療養所総合医学会講演抄録集)
58(2005) +
医療情報学
25(2005) +
医療経営情報
24(2007) +
 - * **医療薬学**
31(2005) +
Ischemic Heart Disease(IHD) Frontier
6(2005)//
 - * **移植**
40(2005) +
 - * **胃と腸**
40(2005) +
医薬品副作用情報
→ 医薬品等安全性情報
医薬品・医療用具等安全性情報
1(1973) +
1(1973) - 143(1997) : 医薬品副作用情報
144(1997) - 157(1999) : 医薬品等安全性情報
158(2000) - : 標題誌名
医薬品情報学
7(2005) +
 - * **医薬品研究**
36(2005) +
 - * **医薬品相互作用研究**
29(2005) +
医薬品等安全性情報
→ 医薬品・医療用具等安全性情報
医薬品等の副作用に関する調査研究報告書
1973 - 1975, 1978 +
 - * **医薬ジャーナル**
41(2005) +
医薬の門
45(2005) +
いずみ
52(2005)//

J

- JAMA (日本語版)**
26(2005)//
- Japanese Heart Journal**
→ International Heart Journal
- * **The Japanese Journal of Antibiotics**
58(2005) +
 - Japanese Journal of Cancer Research**
→ Cancer Science
 - * **Japanese Journal of Clinical Oncology**
35(2005) +
 - * **Japanese Journal of Infectious Diseases**
58(2005) +
 - * **Japanese Journal of Interventional Cardiology**
20(2005) +
 - * **Japanese Journal of Ophthalmology**
49(2005) +
 - The Japanese Journal of Pharmacology**
→ Journal of Pharmacological Sciences
 - The Japanese Journal of Thoracic and
Cardiovascular Surgery**
→ General Thoracic and Cardiovascular Surgery
 - * **耳鼻咽喉科免疫アレルギー**
23(2005) +
 - * **耳鼻咽喉科臨床**
98(2005) +
 - * **耳鼻咽喉科展望**
48(2005) +
 - * **耳鼻咽喉科・頭頸部外科**
77(2005) +
 - * **耳鼻と臨床**
51(2005) +
実中研・前臨床研究報
1(1975) - 20(1995/1996)//
 - Jikeikai Medical Journal**
52(2005) +
実験治療
677(2005) +
実験医学
23(2005) +
 - JIM : Journal of Integrated Medicine**
15(2005) +
 - * **人工血液**
13(2005) +
 - * **腎と骨代謝**
18(2005) +
 - * **腎と透析**
58(2005) +
 - * **腎臓**
28(2005) +
自律神経
42(2005) +
情報知識学会誌
15(2005) +
情報管理
48(2005) +
情報の科学と技術
55(2005) +
 - * **静脈学**
16(2005) +

- * 静脈経腸栄養
20(2005) +
- * Journal of Anesthesia
19(2005) +
- * The Journal of Antibiotics
58(2005) +
- * Journal of Arrhythmia
21(2005) +
21₁(2005) - 21₂(2005) : 不整脈
21₃(2005) - : 標題誌名
- * Journal of Atherosclerosis and Thrombosis
12(2005) +
The Journal of Biochemistry
137(2005) +
- * Journal of Bone and Mineral Metabolism
23(2005) +
- * Journal of Cardiology
45(2005) +
- * Journal of Clinical and Experimental
Hematopathology
45(2005) +
- * Journal of Controlled Release
101(2005) +
- * The Journal of Dermatological Science
37(2005) +
- * The Journal of Dermatology
32(2005) +
Journal of Environmental Dermatology
12(2005) - 13(2006)//
→ Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous
Allegology に統合
- * Journal of Environmental Dermatology
and Cutaneous Allegology
1(2007) +
- * Journal of Epidemiology
15(2005) +
- * Journal of Gastroenterology
40(2005) +
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery
12(2005) +
- * Journal of Infection and Chemotherapy
11(2005) +
- * Journal of Medical Safety
1(2005) +
- * Journal of Medical Ultrasonics
32(2005) +
- * Journal of Natural Medicines
60(2006) +
- * Journal of Nippon Medical School
72(2005) +
- * Journal of Nutritional Science and Vitaminology
51(2005) +
- * The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research
31(2005) +
Journal of Occupational Health
47(2005) +
- * Journal of Orthopaedic Science
10(2005) +
- * Journal of Pharmacological Sciences
97(2005) +

- * Journal of Rural Medicine
1(2005) +
- * Journal of Smooth Muscle Research
41(2005) +
Journal of Smooth Muscle Research
Japanese Section
→日本平滑筋学会雑誌
Journal of Stroke and Cerebrovascular Disease
14(2005) - 16(2007)//
- * The Journal of Toxicological Sciences
30(2005) +
- * 循環器科
57(2005) +
循環器専門医
13(2005) +
- * 循環制御
26(2005) +
- * 順天堂医学
51(2005) +
獣医学雑誌
9(2005) +

K

- 家畜衛生週報
2834(2005) +
- * 化学療法の領域
21(2005) +
化学と生物
45(2007) +
- * 鹿児島大学医学雑誌
57(2005) +
- * 核医学
42(2005) +
- * 神奈川医学会雑誌
32(2005) +
- * 環境感染
20(2005) +
漢方調剤研究
13(2005)//
漢方医学
29(2005) +
漢方医薬学雑誌
14(2006) +
漢方研究
397(2005) +
感染・炎症・免疫
35(2005) +
感染症
35(2005) +
- * 感染症学雑誌
79(2005) +
- * 感染と抗菌薬
8(2005) +
- * 肝胆膵
50(2005) +
- * 関東リウマチ
39(2005) +
- * 関東整形災害外科学会雑誌
36(2005) +

*緩和医療学
7(2005) +

*肝臓
46(2005) +
からだの科学
241(2005) +
からだの科学—増刊—
2005 +

*慶應医学
82(2005) — 85₁(2008)//

*形成外科
48(2005) +

*結核
80(2005) +

血管
28(2005) +

*血栓と循環
14(2005) +
研修センターニュース
152(2007) +

*血圧
14(2007) +
血液フロンティア
15(2005) +

*血液・腫瘍科
50(2005) +
気管支学
27(2005) +

*近畿大学医学雑誌
30(2005) +

*The Kitakanto Medical Journal
55(2005) +
北里医学
35(2005) +
The Kitasato Medical Journal
34(2005) +
国立医薬品食品衛生研究所報告
123(2005) +
国際医薬品情報
785(2005) +

*呼吸
24(2005) +

*呼吸と循環
53(2005) +

*骨粗鬆症治療
4(2005) +
骨と関節
2006年より Web 配信
19₁(2005)//

*今日の移植
18(2005) +
厚生労働
2007 +
厚生省医薬品情報
1(1975) — 11(1989)//
厚生省医薬品副作用情報
→医薬品・医療用具等安全性情報
公衆衛生
69(2005) +
興和医報
47(2005) +

*久留米医学会雑誌
68(2005) +
薬のチェックは命のチェック
2(2001) +
薬の知識
56(2005) — 57₃(2006)//

Kyo
142(2005) +

*胸部外科
58(2005) +

*京都府立医科大学雑誌
114(2005) +

*救急医学
29(2005) +

*九州リウマチ
24(2005) +

*九州神経精神医学
51(2005) +

*九州薬学会会報
30(1975) +

L

リーガルマインド
246(2005).
Library and Information Science
52(2005) +

M

*Magnetic Resonance in Medical Sciences
4(2005) +

*慢性疼痛
24(2005) +

*麻酔
54(2005) +

*麻酔と蘇生
41(2005) +
MediCafe
1(2006) +
Medchem News
17(2007).
Medianet
12(2005) +
Medic
40(2005)// (欠号あり)

メディカル朝日
36(2007) +
Medical Corner
116(2005)//
Medical Digest
54(2005) — 56₁(2007)//
Medical Forum Chugai
9(2005) +
Medical News
382 — 386(2005)//
Medical Pharmacy
39(2005) — 41₁(2007)//
Medical Postgraduates
43(2005) +

Medical Practice
 22(2005) +
Mediceo Journal
 2(2005) +
 * **Medicina**
 42(2005) +
Medico
 36(2005) +
明治製菓研究年報
 44(2005) +
 * **Microbiology and Immunology**
 49(2005) +
 * **三重医学**
 49(2005) +
Minophagen Medical Review
 50(2005) +
(月刊) ミクス : MIX
 35(2007) +
MMJ (The Mainichi Medical Journal)
 1(2005) +
Modern Media
 51(2005) +
 * **Modern Rheumatology**
 15(2005) +
Molecular Medicine
 42(2005)//
 * **脈管学**
 45(2005) +

N

* **内科**
 95(2005) +
 * **Natural Medicines**
 59(2005) +
 * **熱傷**
 31(2005) +
 * **Neurologia Medico - Chirurgica**
 45(2005) +
 * **Neuroscience Research**
 51(2005) +
New Current
 1(1990) +
 * **日大医学雑誌**
 64(2005) +
日獨医報
 50(2005) +
日本アルコール・薬物医学会雑誌
 40(2005) +
 * **日本鼻科学会誌**
 44(2005) +
日本病院会雑誌
 54(2007) +
 * **日本病院薬剤師会雑誌**
 41(2005) +
 * **日本唾液腺学会誌**
 46(2005) +
 * **日本大腸肛門病学会雑誌**
 58(2005) +
日本衛生学雑誌
 60(2005) +

* **日本エイズ学会誌**
 7(2005) +
 * **日本婦人科腫瘍学会雑誌**
 23(2005) +
 * **日本腹部救急医学会雑誌**
 25(2005) +
日本不妊学会雑誌
 →日本生殖医学会雑誌
 * **日本眼科学会雑誌**
 109(2005) +
日本眼科紀要
 56(2005) - 58(2007)//
 * **日本外科学会雑誌**
 106(2005) +
 * **日本外科感染症学会雑誌**
 2(2005) +
日本外科系連合学会誌
 30(2005) +
 * **日本ハンセン病学会雑誌**
 74(2005) +
 * **日本平滑筋学会雑誌**
 9(2005) +
 9(2005) : Journal of Smooth Muscle Research Japanese
 Section
 10(2006) - : 標題誌名
日本皮膚アレルギー学会雑誌
 13(2005) - 14(2006)//
 → Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous
 Allegology に統合
 * **日本皮膚科学会雑誌**
 115(2005) +
 * **日本泌尿器科学会雑誌**
 96(2005) +
日本放線菌学会誌
 19(2005) +
日本放射線技術学会雑誌
 63(2007) +
日本医学放射線学会雑誌
 65(2005)//
日本医事新報
 4241(2005) +
 * **日本医科大学医学会雑誌**
 1(2005) +
 * **日本医師会雑誌**
 133(2005) +
 * **日本医真菌学会雑誌**
 46(2005) +
 * **日本耳鼻咽喉科学会会報**
 108(2005) +
日本磁気共鳴医学会雑誌
 25(2005) +
 * **日本腎臓学会誌**
 47(2005) +
 * **日本褥瘡学会誌**
 7(2005) +
 * **日本受精着床学会雑誌**
 22(2005) +
 * **日本獣医師会雑誌**
 58(2005) +
 * **日本化学療法学会雑誌**
 53(2005) +

- *日本冠疾患学会雑誌
11(2005) +
- 日本血管外科学会雑誌
14(2005) +
- 日本化粧品技術者会誌
39(2005) +
- *日本血栓止血学会誌
16(2005) +
- *日本気管食道科学会会報
54(2005) +
- *日本呼吸器学会雑誌
43(2005) +
- *日本呼吸器外科学会雑誌
19(2005) +
- *日本骨・関節感染症研究会雑誌
19(2005) +
- *日本口腔外科学会雑誌
51(2005) +
- *日本口腔科学会雑誌
54(2005) +
- *日本口腔腫瘍学会誌
17(2005) +
- *日本更年期医学会雑誌
13(2005) +
- 日本化粧品学会誌
29(2005) +
- *日本公衆衛生雑誌
52(2005) +
- *日本クリニカルパス学会誌
7(2005) +
- *日本胸部臨床
64(2005) +
- 日本救急医学会関東地方会雑誌
26(2005) +
- *日本救急医学会雑誌
16(2005) +
- 日本マイコプラズマ学会雑誌
32(2005) +
- 日本免疫学会総会・学術集会記録
35(2005) +
- *日本未熟児新生児学会雑誌
17(2005) +
- 日本内分泌学会雑誌
81(2005) +
- *日本内科学会雑誌
94(2005) +
- 日本熱帯医学会雑誌
→ Tropical Medicine and Health
- 日本農村医学会雑誌
54(2005) +
- *日本ペインクリニック学会誌
12(2005) +
- *日本臨床
63(2005) +
- *日本臨床 増刊一
2005 +
- *日本臨床外科学会雑誌
66(2005) +
- *日本臨床皮膚科医会雑誌
22(2005) +
- *日本臨床救急医学会雑誌
8(2005) +
- *日本臨床麻酔学会誌
25(2005) +
- *日本臨床免疫学会会誌
28(2005) +
- *日本臨床内科医会会誌
20(2005) +
- 日本臨床細胞学会雑誌
44(2005) +
- 日本臨床生理学会雑誌
35(2005) +
- *日本老年医学会雑誌
42(2005) +
- *日本細菌学雑誌
60(2005) +
- *日本産婦人科・新生児血液学会誌
15(2005) +
- 日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会雑誌
→現代産婦人科
- 日本産科婦人科学会福岡地方部会雑誌
29(2005) +
- *日本産科婦人科学会鹿児島地方部会会誌
13(2005) +
- *日本産科婦人科学会神奈川地方部会会誌
42(2005) +
- *日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報
42(2005) +
- *日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌
49(2005) +
- *日本産科婦人科学会新潟地方部会会誌
93(2005) +
- *日本産科婦人科学会沖縄地方部会雑誌
27(2005) +
- *日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌
35(2005) +
- 日本産科婦人科学会東北連合地方部会誌
54(2005) +
- *日本産科婦人科学会東京地方部会会誌
54(2005) +
- 日本産科婦人科学会雑誌
57(2005) +
- 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌
21(2005) +
- 日本成人病学会会誌
32(2005) +
- 日本整形外科学会雑誌
79(2005) +
- *日本性感感染症学会誌
16(2005) +
- *日本性機能学会雑誌
20(2005) +
- 日本生理学雑誌
68(2005) +
- *日本生殖医学会雑誌
50(2005) +
- 50(2005)：日本不妊学会雑誌
- 51(2006)－：標題誌名
- *日本歯科医学会誌
24(2005) +

* 日本歯科麻酔学会雑誌
33(2005) +
 * 日本神経救急学会雑誌
18(2005) +
 * 日本神経精神薬理学雑誌
25(2005) +
 日本新生児学会雑誌
→日本周産期・新生児医学会雑誌
 * 日本心臓病学会誌
1(2008) +
 * 日本心臓血管外科学会雑誌
34(2005) +
 * 日本歯周病学会誌
47(2005) +
 * 日本消化器病学会雑誌
102(2005) +
 * 日本消化器外科学会雑誌
38(2005) +
 * 日本小児アレルギー学会誌
19(2005) +
 * 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌
19(2005) +
 * 日本小児外科学会雑誌
41(2005) +
 * 日本小児皮膚科学会雑誌
24(2005) +
 日本小児泌尿器科学会雑誌
15(2006) +
 日本小児放射線学会誌
21(2005) +
 * 日本小児腎臓病学会雑誌
18(2005) +
 * 日本小児循環器学会雑誌
21(2005) +
 * 日本小児科学会雑誌
109(2005) +
 * 日本小児血液学会雑誌
19(2005) +
 * 日本小児呼吸器疾患学会雑誌
16(2005) +
 * 日本小児臨床薬理学会雑誌
18(2005) +
 日本小児東洋医学会誌
21(2005) +
 * 日本集中治療医学会雑誌
12(2005) +
 * 日本周産期・新生児医学会雑誌
41(2005) +
 * 日本組織移植学会誌
4(2005) +
 日本体質医学会雑誌
67(2005) +
 * 日本透析医学会雑誌
38(2005) +
 * 日本東洋医学雑誌
56(2005) +
 日本薬局方フォーラム
1(1992) +
 * 日本薬理学雑誌
125(2005) +

* 日本薬剤師会雑誌
57(2005) +
 * 日本腰痛学会雑誌
11(2005) +
 * 日本輸血細胞治療学会誌
51(2005) +
 51(2005)：日本輸血学会雑誌
52₄(2006)－：標題誌名
 * 日本頭痛学会誌
32(2005) +
 * 新潟医学会雑誌
119(2005) +
 日経バイオテク
559(2005) +
 日経ドラッグインフォメーション
39(2001) + (欠号あり)
 日経メディカル
470(2007) +
 日経サイエンス
37(2007) +
 * 西日本皮膚科
67(2005) +
 * 西日本泌尿器科
67(2005) +
 日赤医学
57(2005) +
 * 脳循環代謝
17(2005) +
 * 脳神経外科
33(2005) +
 * 脳神経外科ジャーナル
14(2005) +
 * 脳卒中
27(2005) +
 * 脳と発達
37(2005) +
 脳と精神の医学
16(2005) +
 脳と神経
→ BRAIN and NERVE
 NPhA (日本保険薬局協会会報誌)
6(2006) +
 * 尿路悪性腫瘍研究会記録
31(2005) +
 * 乳癌の臨床
20(2005) +

O

お茶の水医学雑誌
53(2005) +
 * Odontology
93(2005) +
 * 岡山医学会雑誌
117(2005) +
 オンライン検索
26(2005) +
 Oral Science International
4(2007) +

卸薬業

- 31(2007) +
Osaka City Medical Journal
51(2005) +
大阪府薬雑誌
58(2007) +
大阪医薬品協会会報
651 より電子メール配信
<http://www.dy-net.or.jp/home/kaihouml/>
* **大阪市医学会雑誌**
54(2005) +
* **大阪てんかん研究会雑誌**
16(2005) +
* **大阪透析研究会会誌**
23(2005) +
* **Osteoporosis Japan**
13(2005) +
OTC 医薬品安全性情報
1(1992) +
1-100 : 日本輸血学会雑誌
101(2007) - : 標題誌名
* **Otology Japan**
15(2005) +
大塚薬報
603(2005) +
* **応用薬理**
68(2005) +

P

- * **ペインクリニック**
26(2005) +
* **Pain Research (日本疼痛学会誌)**
20(2005) +
* **Parasitology International**
54(2005) +
* **Pediatric Surgery International**
21(2005) +
* **Pediatrics International**
47(2005) +
* **Pharmacoaesthesiology (日本麻酔・薬理学会誌)**
17(2005) +
Pharm Tech Japan
21(2005) +
Pharmavision
11(2007) +
* **Pharma Medica**
23(2005) +
* **Practice : Journal of practical diabetes**
24(2007) +
phil 漢方
18(2007) +
* **Progress in Medicine**
25(2005) +
Progress of Digestive Endoscopy
65(2005) +
* **Psychiatry and Clinical Neurosciences**
59(2005) +

R

- RAD-AR News**
16(2005) +
* **Radiation Medicine**
23(2005) +
Reproductive Medicine and Biology
6(2007) +
* **Respirology**
12(2007) +
* **臨床病理**
53(2005) +
臨床病理レビュー
132(2005) +
臨床栄養
106(2005) +
* **臨床婦人科産科**
59(2005) +
* **臨床眼科**
59(2005) +
* **臨床外科**
60(2005) +
* **臨床皮膚科**
59(2005) +
* **臨床泌尿器科**
59(2005) +
* **臨床放射線**
50(2005) +
* **臨床評価**
32(2005) +
* **臨床医**
31(2005)//
* **臨床医薬**
21(2005) +
臨床看護
33(2007) +
臨床研究・生物統計研究会誌
25(2005) +
臨床検査
49(2005) +
* **臨床血液**
46(2005) +
* **臨床麻酔**
29(2005) +
* **臨床免疫・アレルギー科**
43(2005) +
43(2005) - 45(2006) : 臨床免疫
46(2006) - : 標題誌名
* **臨床脳波**
47(2005) +
* **臨床リウマチ**
17(2005) +
* **臨床整形外科**
40(2005) +
* **臨床精神医学**
34(2005) +
* **臨床精神薬理**
8(2005) +
* **臨床神経学**
45(2005) +

- * 臨床神経生理学
33(2005) +
- * 臨牀小児医学
53(2005) +
- * 臨床体液
34(2007) +
- * 臨床と微生物
32(2005) +
- * 臨牀と研究
82(2004) +
- * 臨床とウイルス
33(2005) +
- 臨床と薬物治療
→クリニカル プラクティス
- * 臨床薬理
36(2005) +
- * 臨床薬理の進歩
26(2005) +
- * リウマチ科
33(2005) +
- * 老年精神医学雑誌
16(2005) +

S

- Safe DI Weekly
1(2003) +
- 細胞工学
26(2007) +
- * 再生医療
4(2005) +
- * 最新医学
60(2005) +
- * 産婦人科治療
90(2005) +
- * 産婦人科漢方研究のあゆみ
22(2005) +
- * 産婦人科の実際
54(2005) +
- * 産婦人科の世界
57(2005) - 59(2007)//
- * 産婦人科の進歩
57(2005) +
- 産業衛生学雑誌
47(2005) +
- 産業医科大学雑誌
27(2005) +
- * 産科と婦人科
72(2005) +
- * サルコイドーシス／肉芽腫性疾患
25(2005) +
- 政府資料アブストラクト
37(2007) +
- 成人病
45(2005) +
- * 成人病と生活習慣病
35(2005) +
- 生化学
77(2005) +
- 生活衛生
49(2005) +

- * 整形外科
56(2005) +
- * 整形外科と災害外科
54(2005) +
- 整形・災害外科
48(2005) +
- 性差と医療
2(2005) - 3(2006)//
- * 精神医学
47(2005) +
- * 精神科治療学
20(2005) +
- * 精神神経学雑誌
107(2005) +
- * 精神薬療研究年報
37(2005) +
- 製薬協ニューズレター
61(1998) +
- 製剤機械技術研究会誌
15(2006) +
- 専門図書館
211(2005) +
- 社会薬学
24(2005) +
- 歯学 (SHIGAKU)
92(2005) +
- * 歯科薬物療法
24(2005) +
- * 診断と治療
93(2005) +
- 心電図
25(2005) +
- * 神経治療学
22(2005) +
- * 神経眼科
22(2005) +
- 神経研究の進歩
49(2005) - 50(2006)//
→ BRAIN and NERVE に統合
- * 神経内科
62(2005) +
- * 診療と新薬
42(2005) +
- * 心身医学
45(2005) +
- * 信州医学雑誌
53(2005) +
- 侵襲と免疫
14(2005) +
- * 新薬と臨牀
55(2005) +
- * 心臓
37(2005) +
- 思春期学
23(2005) +
- Shock
20(2005) +
- * 消化器科
40(2005) +
- * 消化器心身医学
12(2005) +

消化器と免疫

41(2005) +

* 消化と吸収

27(2005) +

* 食品衛生研究

55(2005) +

* 小児がん

42(2005) +

* 小児外科

37(2005) +

* 小児科

46(2005) +

* 小児感染免疫

17(2005) +

* 小児科臨床

58(2005) +

* 小児科診療

68(2005) +

* 小児内科

37(2005) +

* 小児の脳神経

30(2005) +

小児神経学の進歩

34(2005) +

* 生薬学雑誌

60(2006) +

* 昭和医学会雑誌

65(2005) +

The Showa University Journal of Medical Sciences

17(2005) +

手術

59(2005) +

* 周産期医学

35(2005) +

* Skin Cancer

20(2005) +

* 総合臨牀

54(2005) +

* 総合臨牀 増刊一

2005 +

蘇生

24(2005) +

* 腎臓

20(2005) +

住友化学

2005 +

* Surgery Today

35(2005) +

ストレスと臨床

27(2007) +

スズケンメディカル

8(2005) +

T

大衆薬安全性情報

→ OTC 医薬品安全性情報

正しい治療と薬の情報

1(1986) +

* 多摩消化器シンポジウム誌

19(2005) +

田辺製薬研究報文

2004(2005) +

* 蛋白質 核酸 酵素

50(2005) +

* TDM研究

22(2005) +

* 帝京医学雑誌

28(2005) +

* 通信医学

57(2005) +

* てんかん研究

23(2005) +

* Therapeutic Research

26(2005) +

* 東北医学雑誌

117(2005) +

* The Tohoku Journal of Experimental Medicine

208(2005) +

* 東邦医学会雑誌

52(2005) +

* 東海産科婦人科学会雑誌

42(2005) +

* 頭頸部癌

31(2005) +

* 東京慈恵会医科大学雑誌

120(2005) +

* 東京女子医科大学雑誌

75(2005) +

東京都病院薬剤師会雑誌

54(2005) +

* 糖尿病

48(2005) +

* 糖尿病と妊娠

5(2005) +

透析フロンティア

15(2005) +

図書館情報メディア研究

3(2005) +

都薬雑誌

28(2006) +

* Tropical Medicine and Health

33(2005) +

* 痛風と核酸代謝

29(2005) +

U

* ウイルス

55(2005) +

運動障害

15(2005) +

V

* ビタミン

79(2005) +

W

- * 和漢医薬学雑誌
22(2005) +
- * 和歌山医学
56(2005) +
Wakayama Medical Reports
45(2005) +
和光純薬時報
73(2005) +

Y

- * 薬 局
56(2005) +
薬害・医療被害情報センターニュース
30(1985) - 221(1998)//
薬学研究の進歩
21(2005) +
薬学図書館
1(1956) +
- * YAKUGAKU ZASSHI
125(2005) +
薬報
→ MediceoJournal
薬事工業生産動態統計月報
2006 +

薬事工業生産動態統計年報

- 1971 +
薬事新報
2350(2005) +
薬務公報
1644(1995) +
- * **薬理と治療**
33(2005) +
- * **薬理と臨床**
15(2005) +
薬史学雑誌
41(2006) +
- * **薬剤疫学**
10(2005) +
- * **薬剤学**
65(2005) +
- * **山梨肺癌研究会会誌**
18(2005) +
横浜医学
56(2005) +

Z

- 全日本鍼灸学会雑誌**
55(2005) +

外国雑誌

雑誌名 (出版社名) 所載年の順に表示しています。

*iyakuSearchの採択雑誌 / ・感染症関連誌 (2008年3月現在)

A

- * **Adverse Drug Reaction Bulletin**
(Chapman & Hall)
122(1987) + [207(2001) 欠]
- **The American Journal of Tropical Medicine & Hygiene**
(American Society of Tropical Medicine and Hygiene)
68(2003) +
- * **The Annals of Pharmacotherapy**
(Hervey Whitney Books Company)
33(1999) +
**Approved Drug Products with Therapeutic
Equivalence Evaluations**
(U.S. Depart. of Health and Human Service)
21(2001)-24₁₁(2004).
- Arznei-Telegramm**
(A.T.I.Arzneimittelinformation)
1986 + [12(1986),2(1991),2(1992),8(1994) 欠]
- Arzneiverordnung in der Praxis**
(Arzneimittelkommission der Deutschen Ärzteschaft)
1995 +
- * **Australian Adverse Drug Reactions Bulletin**
(Adverse Drug Reactions Advisory Committee)
1982 Nov. +

Australian Prescriber

(Australian Government Publishing Service)
11(1988) +

B

- * **British Journal of Clinical Pharmacology**
(Blackwell Science Ltd.)
47(1999) +
- * **BMJ(British Medical Journal)**
(BMJ Publishing Group)
6665(1989) + [7316(2001) 欠]
- Bulletin from SADRAC**
(Medical Products Agency)
48(1986 Dec.) - 67(1998). 以後未刊
- Bundesgesundheitsblatt**
(Springer-Verlag)
44 (2001) +

C

- * **Canadian Adverse Reaction Newsletter**
(Health Canada)
6(1996) — 12₁(2002):Canadian Adverse Drug Reaction
Newsletter
12₂(2002) — : 標題誌名
- Cancer Research**
(American Association for Cancer Research Inc.)
65(2005) +
- CFR Title 21**
(Code of Federal Regulations)
1985 +
- Clinical Cancer Research**
(American Association for cancer Research Inc.)
11(2005) +
- **Clinical Infectious Diseases**
(University of Chicago Press)
36(2003) +
- * **Clinical Pharmacology and Therapeutics**
(Mosby Inc.)
61(1997) +
- CSM Adverse Reaction Series**
(yellow sheet)
1(1964)-19(1985).
- CSM Current Problems in Pharmacovigilance**
(Medicines Control Agency)
1(1975)-299(2003). [13(1984) 欠]
- Current Problem**
→ CSM

D

- Drug and Therapeutic Bulletin**
(Consumers' Association)
24₂₀(1986) + [28₁₃(1990) 欠]
- Drug Facts and Comparisons**
(Facts and Comparisons)
1997 +
- Drug Facts and Comparisons News**
(Facts and Comparisons)
1999 Apr-2006 Apr.
- Drug Information Journal**
(Drug Information Association)
39(2005) +
- Drug Safety**
(ADIS International Ltd)
22(2001) +
- Drugs of the Future**
(Prous Science)
30(2005) +

E

- **Epidemiology & Infection**
(Cambridge University Press)
130(2003) +
- * **European Journal of Clinical Pharmacology**
(Springer Verlag)
54₁₁(1999) +

Evidence — Based Medicine

(EBM Publishing Group)
6(2001) +

F

- Facts & Comparison The Drug Advisor Comprehensive Analysis and Commentary**
(Facts and Comparisons)
3(2004)
- FDA Medical Bulletin**
1971-1999// [2,4(1977),1(1990) 欠]
1971-1990 : FDA Drug Bulletin
1992-1999 : 標題誌名
- FDA Summary Basis for Approval**
1980 — 1990.
- FDC Reports — Medical Devices, Diagnostics& Instrumentation ReportsThe Gray Sheet**
(F-D-C Reports Inc.)
31(2005) +
- FDC Reports — Prescription Pharmaceuticals and BiotechnologyThe Pink Sheet**
(F-D-C Reports Inc.)
67(2005) +
- FDC Reports — Toiletries, Fragrances and Skin Care The Rose Sheet**
(F-D-C Reports Inc.)
26(2005) +
- FDC Reports — Nonprescription Pharmaceuticals and NutritionalsThe Tan Sheet**
(F-D-C Reports Inc.)
13(2005) +
- Federal Register**
(Unites States Government Printing Office)
1年間保存

I

- Inpharma**
(Adis International Ltd.)
1419(2004) +
- International Journal of Pharmaceutical Medicine**
(Lippincott Williams & Wilkins)
19(2005) +

J

- * **The Journal of the American Medical Association**
(American Medical Association)
265(1991) + [275₁₄(1996) 欠]
- **Journal of Clinical Microbiology**
(American Society for Microbiology)
41(2003) +
- * **The Journal of Clinical Pharmacology**
(SAGE Publications Inc.)
37(1997) + [37₁₂(1997) 欠]
- **Journal of Clinical Virology**
(Elsevier)
26(2003) +

• **The Journal of Infectious Diseases**

(University of Chicago Press)

187(2003) +

L

* **The Lancet**

(Lancet Ltd)

8732(1991) +

• **The Lancet Infectious Diseases**

(Lancet Pub.Group)

3,(2003) +

LSA (List of CFR Sections Affected) Code of Federal Regulations

(United States Government Printing Office)

2004+

M

MAIL : Medicines Act Information Letter

(Medical Control Agency)

42(1985)-131(2002).

[52(1988),76(1993),92,93,97(1996) 欠]

Medicines Act Leaflet

1(1984)-71(1985).

MIMS : Monthly Index of Medical Specialities

(Haymarket Publishing Service Ltd.)

1997 +

MMWR(Morbidity and Mortality Weekly Report)

(United States Government Printing Office)

48(1999)-52(2003).

53 より Web 配信 <http://www.cdc.gov/mmwr/>

N

Nature

(Macmillan Magazines Ltd)

433(2005) +

Nature Medicine

(Nature Japan)

11(2005) +

* **The New England Journal of Medicine**

(Massachusetts Medical Society)

324(1991) +

P

Pharmaceutical Journal

(Pharmaceutical Press)

274(2005) +

Pharmacopeial Forum

(US Pharmacopeial Convention)

8(1982) +

Pharmacoepidemiology and Drug Safety

(Wiley)

14(2005) +

Pharmeuropa — The European Pharmacopeia Forum

(Council of Europe)

1987 +

Prescrire International

(Association Mieux Prescrire)

2₅(1993) +

La Presse Medicale

(Masson)

28(1999) +

R

Reactions

(Adis International Ltd.)

983(2004) +

S

Science

(American Association for the Advancement of Science)

307(2005) +

Scrip

(PJB Publications Ltd.)

2915(2004) +

Scrip Magazine

(PJB Publications Ltd.)

(2005)-(2006)//

Spezialitäten List

(Bundesamt für Sozialversicherung)

1990 +

T

Therapie

(John Libbey and Company Ltd)

60(2005) +

W

WHO Drug Information

1(1987) +

WHO 出版物

<http://www.who.int/publications/en/>

WHO Drug Information

1(1987) +

医薬品の使用と規制に関わるさまざまな最新のトピックスを収集し、簡潔に紹介している。年4回刊行。

proposed INN、recommended INN のリスト、Essential Medicines リスト、ATC/DDD 分類リストや出版情報などが掲載される。

P-drug マニュアル

(医学書院)

WHO の必須医薬品活動プログラム (Action Program-me on Essential Drugs) から 1995 年に発行された「Guide to Good Prescribing」の日本語版。

FDA 関係資料

現在 FDA の資料はほとんどがインターネットで公開されており容易に入手することができる。

<http://www.fda.gov/>

Federal Food, Drug, and Cosmetic Act (FDCA)

連邦食品医薬品化粧品法。1938 年に制定され通常 FDCA と略語で呼ばれている。米国内において州間取引される食品、医薬品、化粧品、医療用具、動物用医薬品などの製造、加工、流通、販売および輸入を規制するための基本となる法律である。United States Code (USC: title 1-50 に分かれる合衆国法典) の 21 番目に相当する。

Code of Federal Regulations (CFR)

連邦規範集 (連邦法規集) 各法律の運用基準が示されており、FDA に関わる医薬品、化粧品、食品に関しては、前述の FDCA の施行規則となる。タイトルは USC と同様に 1-50 に分かれており、人の健康に関わるものとしては、Title 16 が CPSC (Consumer Product Safety Commission: 消費者製品安全委員会。医薬品の特殊な容器に関する事項がある)、Title 21 が FDA 関係。Title 41 は農業の残留基準や有害物質規制法 (Toxic Substances Control Act: TSCA) 等の EPA (Environmental Protection Agency: 環境保護庁) に関わるものとなっている。

List of CFR Sections Affected (LSA)

CFR の補完のために毎月発行されている。Title ごとに変更のあった規則の箇所と変更の内容を示す FR のページが記されている。

Federal Register (FR)

日本の官報に相当するもので、すべての連邦政府の公示、通達事項を政府各機関ごとに分けて記載しているものであり、米国の規制情報を入手するためにはもっとも基本的かつ重要なものである。

Approved Drug Products with Therapeutic Equivalence Evaluations (The Orange Book)

24th edition (2004)

日本語訳「承認医薬品と治療同等性評価」で、通常「the list」とか「The Orange Book」(オレンジ色の表紙の資料)と呼ばれている。米国の医療保険の薬剤料を抑えようとする行政的な動きが活発化した 1970 年代後半、各州において一般名薬剤代替法 (処方箋に記載された薬剤に対して、特に医師の指示がない限り、同等薬剤のリストの中から最も安価な薬剤を選び、それに代えて調剤することを薬剤師に課すもの) が発展した。FDA はこの州法に対し、同等薬剤のリストの作成を行い、公表することにより州の行政に協力することになった。

SBA : Summary Basis for Approval

FDA では、1980 年 1 月から、新薬の承認に際してその概要 (用法用量、適応、安定性、製造方法、薬理、臨床試験成績、添付文書等) を発表している。

FDA の規制に関する民間の資料

FDC Reports

(F-D-C Reports, Inc.)

“FDC Reports” はアメリカの食品、医薬品、化粧品などに関する政府及び業界の動向を伝える週刊ニュース誌。この中で、FDA や業界の動きを取り上げている。ピンク用紙のため、別名 “The Pink Sheet”。

新薬開発・承認申請について

わが国の医薬品開発の国際化に伴い、最も関心の高い資料である。基本資料は前述の CFR Title 21, Part 300 番代である。米国では 1970 年代他国と比べ不当に長い NDA プロセスがあり、drug lag として議会でも問題にされた。1970 年代後半には有名な改善法案も出されたが、不成立に終わり、1980 年になってレーガン政権は規制緩和を打ち出し、その一つとして IND (Investigational New Drug: 治験薬申請)、NDA (New Drug Application: 新薬申請) の手続きの簡素化 (1985 年のいわゆる NDA Rewrite および 1987 年の IND Rewrite と呼ばれている) が行われ、この規則の運用に関するガイドラインが出されている。また、1991 年以来、日・米・欧三極において、新薬の承認に関わる規制の調和を目的とした活動 (ICH) が開始され、関連したガイドラインが三極において発表されてきている。大阪医薬品協会から「米国 NDA マニュアル」として翻訳解説資料が平成 9 年に「米国 IND マニュアル」が平成 13 年に発行されている。

FDA の新医薬品の重要度評価基準 (新医薬品の分類基準)

NDA の承認に関して、FDA では新薬の重要度を評価し、重要な新薬の審査促進をはかっている。新医薬品の分類基準には化学構造（例えば、新成分、新塩類等によりタイプ 1-7 に分類）、臨床的価値（1992 年 1 月から優先審査 (p) と標準審査 (s) の 2 つに分類されるようになった）および当該薬剤の特有な問題（AIDS 治験薬、Subpart E 該当薬剤、提出データの信頼性に関するもの、OTC 薬、Orphan Drug 指定薬）に基づく分類が行われている。この分類基準は CDER の SMG(Stuff Manual Guide) に規定されている。

Orphan Drugs について

希少疾病用医薬品あるいは希用薬と呼ばれているもので、難病など患者数の少ない疾患の治療に使用されるために大きな市場を持ち得ず、製薬企業が開発に関心を持たない医薬品の開発を容易にするために、1983 年 1 月 Orphan Drug Act として成立した法により、開発企業に優遇措置を与える方策がとられた。（日本でも 1993 年、希少疾病用医薬品及び医療用具の指定制度が発足し、優先審査や税制措置が明文化された）。

FDA に関する日本語資料

次の解説書等がある。

- CANDA ガイダンスマニュアル（日本製薬工業協会
医薬品評価委員会－日本製薬工業協会）1992
- FDA の知識（薬事日報社）1994
- FDA の事典 第 2 版（薬事日報社）2006
- FDA: 医薬品申請手続きと関連制度－FD&C 法、CFR、CGMP
に基づく運用と制度（ソフトサイエンス）2002
- FDA の医療機器行政（薬事日報社）1992
- FDA のリスクマネジメントプラン 製薬企業のためのガイダンス
（レーダー出版センター）2005
- FDA 巨大化と近代化への道（薬事日報社）1999
- 申請書類の書き方に関する FDA ガイドライン
－臨床と統計－（上下）
（製薬協 医薬品評価委員会－ライフサイエンス）1991

米国の医薬品添加物に関する資料

米国の医薬品に含まれる添加物については、J. Brown 医師が起こした訴訟により 1984 年 FDA が、NDA または ANDA 承認を受けた医薬品に含まれる添加物のリストを公開（1985 年一部追加リストあり）することにした。

（参考）米国医薬品添加物一覧
「情報」No.680（アルファベット順）1986
No.802（剤形別）1988,
No.1000（別冊）1992（JAPIC 発行）

Handbook of Pharmaceutical Excipients

(APhA)

2 版(1996)、5 版(2006)

アメリカ薬剤師会の編集になる医薬品添加物事典で、1986 初版では 145 品目の収載モノグラフ数であったが、5 版では 300 品目に至っている。第 3 版、第 5 版の翻訳版として「医薬品添加物ハンドブック」(2001)、「改訂 医薬品添加物ハンドブック」(2007) も所載。

米国の食品添加物に関する資料

1958 年の FDC Act の改正により、米国では新しく化学物質を食品成分として添加する場合には、あらかじめ FDA の認可が必要となった。しかし、1958 年以前に FDA から認可を与えられたものや、その時点で食品添加物として広く用いられていたものについては、この規制は適用されず GRAS 物質とされた。

生活関連化学物質の安全性評価

－ GRAS Review － I (1982) II (1983)

(化学工業日報社)

(財) 畜産生物科学安全研究所と当センターによる編集でアメリカの GRAS に所属する化学物質の文献学的研究総括とその評価レビューを和訳したもの。44 の化学物質についてまとめてある。

FDA Document

New Drug Approval Packages

新薬承認情報集

下記のサイトで公開しており検索できる。

<http://www.fda.gov/cder/foi/nda/>

厚生労働省関係資料

医薬品安全性情報

Drug Safety Update (DSU)

医薬品安全対策情報

—医療用医薬品使用上の注意改訂のご案内—

(日本製薬団体連合会)

No.1(1992) +

日本製薬団体連合会安全対策情報部会加盟の企業が製造販売または輸入している医療用医薬品について「使用上の注意」の改訂内容を、重要度順にグループ分けし、薬効分類番号順に医薬品一般名で記載している。改訂から1ヵ月以内に配布される。厚生労働省医薬食品局監修。全国の医療機関22万9千施設に配布している。通常年10回発行。参加企業は295社。

http://www.info.pmda.go.jp/dsu/dsu_index.html

医薬品副作用モニター報告の概要

(薬務局)

1993 - 1996//

1967年(昭和42年)に開始された副作用モニター制度によりモニター病院等から収集された副作用情報を毎年1回まとめ、「医薬品副作用モニター報告の概要」として公表し、1990年から「医薬品副作用情報」の別冊として、「新医薬品等の副作用発現頻度」と一緒に発行してきた。

医薬品・医療用具等安全性情報

Pharmaceuticals and

Medical Devices Safety Information

(医薬局安全対策課)

No.1(1973) +

厚生労働省において収集された副作用情報をもとに、医薬品等の安全な使用に役立つように、医療関係者に対して情報提供されるもの。約1ヵ月毎に発行される。

http://www.info.pmda.go.jp/iyaku_anzen/anzen_index.html

厚生省医薬品情報

(薬務局安全課)

No.1(1975) - No.11(1989)//

厚生省(現;厚生労働省医薬局安全対策課)が収集した副作用情報の中で、中央薬事審議会(現;薬事・食品衛生審議会分科会)で検討・評価した情報のうち、緊急性のある重要な情報を医療関係者に伝達したものである。

厚生省緊急安全性情報

(薬務局安全対策課)

No.1(1996) - No.2(1997)

緊急安全性情報は1996年(平成7年度)からスタート。医薬品の安全性について緊急に情報提供する必要のある重要な情報を、医療関係者にFax送信するもので、「緊急Fax」とも呼ばれる。元の医薬品適正使用推進室から発信された。

No.1 輸血用血液成分製剤と輸血後GVHD 1996.4

No.2 ヒト乾燥硬膜の使用中止について 1997.4

緊急安全性情報

(製薬企業)

1987-1993,1995-2004 +

http://www1.mhlw.go.jp/kinkyu/iyaku_j/iyaku_j.html

企業から自主的に1965年頃以降、アメリカのDoctor Letterに見習い随時提供されてきたが、1987年「緊急安全性情報(通称ドクターレター)」の薬安(現;医薬安)通知で作成基準が公表され、厚生(現;厚生労働)大臣に報告した副作用症例報告、研究報告、調査報告に関する厚生省の検討結果に基づく指示又は企業の自主判断(厚生労働省へも報告)で作成する黄色地に赤枠の見開き数ページのもの。

「医薬品医療機器情報提供ホームページ」で製薬企業から出された安全性情報として公開。

新医薬品等の副作用のまとめ

(医薬局安全対策課)

平成3年度(1992) - 平成10年度(1998)//

新医薬品の再審査終了医薬品について、各製薬企業から提出された副作用の集計を、原則としてそのまま掲載している。年度ごとにまとめているが、翌年または翌々年になった場合もある。

薬局モニター情報

(医薬安全局)

No.1(1978) - No.17(1994)//

厚生省(現;厚生労働省)が1978年(昭和53年度)から、医療用医薬品に対する医薬品副作用モニター制度の一般用医薬品版ともいべき薬局モニター制度を設け、全国約3,000弱のモニター薬局から収集した安全性に関する情報を収集、評価し、薬局にフィードバックするもので、年1回発行していた。

医薬品等承認情報

新薬の承認に関する情報は医薬品医療機器総合機構

http://www.info.pmda.go.jp/info/syounin_index.html

で公開されている。

新医薬品承認審査概要

(Summary Basis of Approval; SBA)

(医薬安全局審査管理課)

1995 - 1999

新医薬品の適正使用の推進とそれによる国民の福祉向上のため、効能・効果、用法・用量など薬事法に定める承認事項や、承認の根拠となった基礎及び臨床試験などのデータの概要、それらに対する評価や取り扱い、使用上の注意とその設定根拠等をまとめたもの。

No.1 塩酸イリノテカン 1995.11

No.2 ソブゾキサソ 1994.6

No.3 プロパゲルマニウム 1994.9

No.4 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 1995.1

No.5 カルペリチド(遺伝子組換え) 1995.3

No.6 ブランルカスト水和物 1995.7

No.7 ネダプラチン 1995.11

No.8 クエン酸タンドスピロン 1996.12

No.9 トログリタゾン 1997.4 (2000.3発売中止)

現在は、医薬品医療機器総合機構のホームページ

http://www.info.pmda.go.jp/info/syounin_index.html

上で「新薬の承認審査に関する情報」として公開され、実質的に従来の冊子から切り替わり、随時提供されている。

新薬承認情報集

(New Drug Approval Package ; NAP)
(日本薬剤師研修センター)

H13年 (No.31,38)
H14年 (No.2,4,5,11,13,18,22,27,28,33)
H15年 (No.4,5,14,17,18,23,26,27)
H16年 (No.2,7,8,14,18,19,20)
H17年 (No.31)
H18年 (No.3,24,45)
H19年 (No.5)

「新医薬品承認審査概要」をさらに充実させたもの。

全承認新薬について作成・公表されることになっているが、製薬企業の意向で必ずしも作成されておらず、欠番がある(番号は承認順番による)。

「医薬品医療機器情報提供ページ」のHPにも随時「新薬の承認に関する情報」として掲載される。

日本薬剤師研修センターのサイトにもPDFで公開されていたが、ここ数年更新されていない。

医薬品製造(輸入)承認品目一覧

(JAPIC)

1985 - 2006年+

医療機器承認便覧

(薬報広報社)

平成8 - 19年版

医療機器の承認品目の概要、医療機器の製造承認状況(器具器械、医療用品、歯科材料、衛生用品)、医療機器の輸入承認状況(器具器械、医療用品、歯科材料)、医療機器外国製造承認状況、医療機器の生産・輸出入、)医療施設(動態)調査・病院報告の概況、医療機器の安全性情報がまとめられている。平成17年版までは「医療用具承認便覧」

再評価・再審査情報

医療用医薬品品質情報集

(医薬品局審査管理課)

平成11年5月版-平成19年9月版+

医療用医薬品の内用固形製剤について、その品質を確保するため、平成10年度から溶出性が適切かどうかを確認し、適当と認められた医薬品には、溶出試験規格を承認事項として設定するという品質再評価を開始したことにより、溶出性に係る品質が適当であることを確認しているもの及び再評価中の品目を取りまとめたもの。

オレンジブック総合版

(薬事日報社)

'02、'03、'05、'06、'07年版

「医療用医薬品品質情報集」に記載されている品質再評価結果の品目に加え、再評価公示後に公的溶出試験規格を設定して承認された品目についてのデータや規格等の項目も収載。後発医

薬品に関する品質再評価の全情報を統合。CD-ROM付き。ほかに、「オレンジブック保険薬局版」もある。

<http://www.jp-orangebook.gr.jp/>

医療用医薬品再評価結果

(厚生労働省医薬食品局)

1973 - 1978、1984 +

医学薬学の進歩等に伴い医薬品の有効性と安全性の再確認を行うため、昭和46年から、その時点の学問水準に照らし、市販後医薬品の有効性及び安全性等を見直す作業を行っている。昭和54年の薬事法の改正でこれまでの薬務局長通知で行っていたものが、薬事法に基づくものに格上げされた。

新医薬品再審査概要(SBR)

(日本公定書協会)

1997(No.1) - 1999(No.5)

再審査は、新医薬品について、承認後一定期間(通常6年)経過後に市販後調査として実施した使用成績調査等の資料に基づき、承認された効能効果、用法用量の見直しをする薬事法上の制度である。

No.1 エポエチンアルファ(遺伝子組換え) 1997.7

No.2 エポエチンベータ(遺伝子組換え) 1997.7

No.3 塩酸ピルジカイニド 1999.12

No.4 コハク酸シベンゾリン 1999.12

No.5 塩酸プロパフェノン 1999.12

新医薬品等の再審査結果

(医薬品局)

1986 +

再審査制度は昭和54年の薬事法改正で法制化された。承認までの臨床試験症例等には限界があるので、承認後も引き続き新医薬品の使用成績等の調査を行わせ、原則として6年後にその安全性等の再確認を行うものとしていたが、8年に延長する方針で検討が行われている。

薬事法関連資料

International (国際)

The IFPMA Compendium on Regulation of Pharmaceuticals for Human Use

(IFPMA) 1994 ed.

IFPMA (国際製薬団体連合会) 発行の EU 等世界 70 カ国における薬事制度の要約で各国の制度を比較できるように作成されている。バインダーで 2 分冊。国名の下に行政機関データ、法体系と認可システム、臨床試験の規則、医薬品販売承認制度、製造管理、医薬品情報と販売促進活動、医薬品安全対策などの項目が記載されている。

National Pharmacovigilance Systems – Country Profile and Overview –

(The Uppsala Monitoring Center) 1997

WHO の国際医薬品モニタリングセンターが中心にまとめた資料。世界 46 カ国について医薬品安全性監視システムがどのように機能しているか各国別に概要が記述されている。

MedDRA (Medical Dictionary For Regulatory Activities) Terminology – ICH 国際医薬用語集 –

MedDRA (メドラ) は国際間で共通に利用できる医薬用語を定めたもので、当初は ICH 運営委員会により運営されていたが、現在は米国の MSSO (Maintenance and Support Service Organization) が実施している。

日本語版 MedDRA/J の提供及び収載用語の維持管理は (財) 公定書協会 JMO (Japanese Maintenance Organization) が行っている。

欧米主要国の薬事制度に関する調査研究

(昭和 61 年度厚生科学研究報告書)

(日本製薬工業協会国際委員会) 1988

日米英西独仏 5 カ国の薬事制度についてまとめられている。

欧米薬事制度調査報告書

(東京医薬品工業協会) 1995

EU、アメリカ、スウェーデンにおける新薬事制度の概要、医薬品承認審査システムの動向、コンピュータ支援申請、PL 法などについてまとめている。

アジア諸国における医薬品政策と薬事事情

(薬業時報社) 1995

アジア 14 カ国の薬事行政、保健統計などについて簡単にまとめられている。国際厚生事業団が実施した医薬品関係の研修に参加した、アジア諸国の医薬品行政機関等で働く人々のカントリレポートを基にしている。

先進諸国の薬剤給付制度・薬価制度 – 海外調査団報告書 –

(日本製薬団体連合会) 1995

先進 11 カ国の国別に医療制度 (診療報酬制度・民間保険)、薬剤給付制度・薬剤費抑制策・薬価算定方式・薬価の国際比較などを体系的にまとめている。

ICH 会議録

(Proceedings of the International Conference on Harmonization)

日本・米国・EU の三極医薬品規制ハーモナイゼーション国際会議の記録。規制当局と産業界が主催しオブザーバーとして WHO、欧州自由貿易連合が関わっている。

第 1 回 Brussels 1991 年 (ベルギー)

第 2 回 Orlando 1993 年 (アメリカ)

第 3 回 Yokohama 1995 年 (日本)

第 4 回 Brussels 1997 年 (ベルギー)

海外食品医薬品規制法規集

(化学工業日報社) 1999

日米欧三極別の食品医薬品関連の規制を翻訳。米国 FDC Act (連邦食品医薬品化粧品法) 1996 年改正法規、TSCA (有害物質規制法) 条令、内分泌攪乱物質選別プログラム、欧州連合 (EU) の医薬品・食品・関連法、日本の薬事法、食品衛生法が掲載されている。

欧米 OTC 薬安全性問題調査報告書

(日本大衆薬工業協会) 1998

日本大衆薬工業協会薬効委員会が平成 9 年に実施した欧米 4 カ国 (イギリス、ドイツ、スイス、アメリカ) における OTC 薬の安全性問題に関する実地調査報告書。各国における OTC 薬事情、警告表示、市販後監視、店頭調査、OTC 薬の販売状況、外箱容器 & 添付文書の表示事例が記されている。

海外における市販後医薬品副作用報告義務制度について

– 米・英・独・仏・伊・瑞 –

(日本製薬工業協会) 1992

日本製薬工業協会医薬品評価委員会の PMS 部会がまとめた資料。各国の PMS 制度の概要、薬事法などが掲載されている。

EU 関連資料

EC 薬事制度調査団報告書

(日本医薬情報センター) 1992

第 1 回 ICH の概要と EC (欧州共同体) 薬事制度の概要、資料としてヒト用医薬品の適性使用に関する理事会指令の翻訳などが盛り込まれている。

EU 薬事制度調査団報告書

(日本医薬情報センター) 1998

第 4 回 ICH の概要と訪問先の英国、ベルギー、イタリアの 3 カ国について治験、承認審査、安全性情報等、薬事規制の現状と動向をまとめている。

New Drug Approval in the European Union : The EMEA

(PAREXEL) 1998

EU (欧州連合) における新薬承認制度について簡単に記載されている。

The Rules Governing Medicinal Products in the European Union

(Office for Official Publication of the European Union)

EU 域内において医薬品の自由な流通をはかるため作成された指令 (加盟国を拘束する)、規則、勧告、ガイドラインを含む。

vol.1 :The Rules governing medicinal products for Human use in the European community 1989, 1991

vol.1 改訂版 :Pharmaceutical legislation medicinal products for human use 1995

vol.2 :Notice to applicants for marketing authorizations for medicinal products for human use in the member states of the European community 1989

vol.2A:Notice to applicants: Medicinal products for human use : Procedures for marketing authorization 1998

vol.2B:Notice to applicants: Medicinal products for human use: Presentation and content of the dossier 1998

vol.3:Guidelines on the quality, safety and efficacy of medicinal products for human use 1989

vol.3:Addendum: Guidelines on the quality,safety and efficacy of medicinal products for human use 1990

vol.3:AddendumNo.2: Guidelines on the quality,safety and efficacy of medicinal products for human use 1992

vol.3:AddendumNo.3: Guidelines on the quality,safety and efficacy of medicinal products for human use 1996

vol.3A:Guidelines medicinal products for human use :Quality and biotechnology 1998

vol.3B:Guidelines medicinal products for human use: Safety, environment and information 1998

vol.3C:Guidelines medicinal products for human use :Efficacy 1998

vol.4:Good manufacturing practice for medicinal products (1989), (1992)

vol.4 改訂版 :Pharmaceutical legislation medicinal products for human and veterinary use : Good manufacturing practices 1998

vol.5:Veterinary medicinal products 1989

vol.5A:Notice to applicants for marketing authorization for veterinary medicinal products in the member states of the European Community 1989

vol.5: 改訂版 :Pharmaceutical legislation: Veterinary medicinal products 1998

vol.6:Establishment by the European community of maximum residue limits (MRLs) for residues of veterinary medicinal products in foodstuffs of animal origin 1991

vol.6A:Notice to applicants veterinary medicinal products: Procedures for marketing authorization 1998

vol.6B:Notice to applicants veterinary medicinal products: Presentation and content of the dossier 1998

vol.7A:Guidelines:veterinary medicinal products General, efficacy, environmental risk assesment

vol.7B:Guidelines:veterinary medicinal products Immunologicals,quality

欧州連合における医薬品の販売承認指針

1998 年版

(大阪医薬品協会) 1998

医薬品の販売承認申請に対する手引き (The rules governing medicinal products in the European Union vol.2A Notice to applicants を翻訳したもの)

— その他・各国の薬事制度に関する書籍 —

Africa (アフリカ)

Drug Regulation in African Countries

(Interpharm Press) 1991

アフリカ主要国 16 カ国の薬事制度の概要が記載されている。

Brazil (ブラジル)

New Drug Approval in Brazil

(PAREXEL) 1995

Canada (カナダ)

New Drug Approval in Canada

(PARAXEL) 1999

China (中華人民共和国)

中薬新薬研制与申報 (中国中医薬出版社) 1995

中国の薬事制度について薬務行政との関連も含め 詳細に記してある。

France (フランス)

New Drug Approval in France

(PAREXEL) 1996

Germany (ドイツ)

New Drug Approval in Germany

(PAREXEL) 1995

西ドイツ薬事法

(畜産生物科学安全研究所) 1977

Italy (イタリア)

New Drug Approval in Italy

(PAREXEL) 1995

Korea <South> (韓国)

New Drug Approval in South Korea

(PAREXEL) 1995

Nepal (ネパール)

Standards for Pharmaceutical Regulation and Care

(Ministry of Health Department of Drug Administration ; DDA) 2000

Spain (スペイン)

New Drug Approval in Spain

(PALEXEL) 1997

United Kingdom (イギリス)

New Drug Approval in the United Kingdom

(PAREXEL) 1995

英国薬事法 1968

(畜産生物科学安全研究所) 1977

United States of America (アメリカ合衆国)

米国薬事制度調査団報告書 平成6年7月 米国薬事制度調査報告書 資料編 平成6年7月

(日本医薬情報センター) 1994

FDAの副作用報告システム、FDAの外国データの受け入れ、未承認医薬品の輸出等について翻訳している。

Biologics Development : A Regulatory Overview 3rd ed.

(PAREXEL) 2004

FDAの生物学的製剤について申請プロセスを解説している。

FDA : 医薬品申請手続と関連制度 2002年増補改訂版

(ソフトサイエンス社) 2002

FDAの法規制と手続についての基本的な情報をわかりやすく解説している。FDAの歴史と組織、FDAの関連法規と権限、治験薬申請の準備 (IND)、新薬承認申請手続 (NDA)、簡約新薬申請手続 (ANDA)、電子記録および電子署名に関する規則、FDAドラッグマスターファイル (DMF)、環境影響評価 (EA)、査察、バリデーション等。

FDAの医療機器行政

(薬事日報社) 1992

医療機器の規制の根拠となる法律、規則についての概要と市販前届出 (510K)、市販前承認 (PMA)、分類手続等が解説されている。

FDAの事典 第2版

(薬事日報社) 2006

FDA関連行政について組織の概要、関連法、用語の解説、法の変遷、略語等。

米国INDマニュアル

—米国における治験申請に係る薬事規制の手引き—

(大阪医薬品協会) 2001

大阪医薬品協会の薬事法規研究委員会海外薬事部会がまとめた資料。日本の企業が米国拠点またはCRO(開発受託機関)を通じて、米国での臨床開発を推進する際に活用できるようにとの意図でまとめられている。2000年4月1日付けの21CFRに基づき、治験申請、治験実施上の遵守事項、有害事象報告、輸出入規制にわたる新薬の治験届け出諸制度に関して概説している。

米国NDAマニュアル

—米国における新医薬品の販売許可に係る薬事規制の手引き—

(大阪医薬品協会) 1997

大薬協・薬事法規研究委員会海外薬事部会が翻訳・まとめた資料。日本企業が米国における新薬登録を行う際に必要と考え

られる許可申請、審査、変更申請、薬事監視制度、輸出入等についてまとめている。規制の詳細について関係施行規則及びFDA指針を参照できる米国薬事規制の手引書として役立つようにまとめている。

The NDA Book

(FOI Services, Inc.) 1996

1938年9月から1995年8月までにアメリカで承認された医薬品(回収品も含め)28,000品目以上について製造会社、商品名、一般名称、医薬品の承認日、中止日、回収日、投薬形態、NDAナンバー、を調べることができる。2分冊。このリストはFDAのcomputer tapeからのout putによって作成・編集されたもの。

New Drug Approval in the United States

(PAREXEL) 1998

New Drug Development : A Regulatory Overview Revised 5 ed.

(PAREXEL) 2000

FDAの新薬開発と新薬承認プロセスについての情報を知ることができる。

日 本

毒物及び劇物取締法令集 平成18年度

(薬務公報社) 2006

医療政策六法 平成17年版

(医療法制研究会監修—中央法規出版) 2005

医療関係法規例規集 - 加除式

(健康政策局—第一法規) 1992 +

化粧品・医薬部外品関係通知集

(薬事審査研究会監修—薬事日報社) 1999

基本医療六法平成20年版

(中央法規出版) 2007

和英対訳薬事法—平成17年施行版

(薬事日報社) 2004

日英対訳 薬事法、薬事法施行令、薬事法施行規則、 医薬品医療機器総合機構法 2005/2006

(じほう) 2006

製薬関係通知集 2001、追補 2003、追補 2004

(じほう)

薬事衛生六法 2006年版

(日本公定書協会 - 薬事日報社) 2006

薬事法 平成15年版・平成16年版・平成17年版

(薬事日報社) 2003

図解 2002年改正 薬事法・血液法の概要

(じほう) 2002

薬事法令ハンドブック 平成 17 年版

(薬事日報社) 2004

平成17年度薬事法令ハンドブック 承認許可要件省令 (製造設備規則、 GQP,GVP,GMP,GLP,GCP,GPSP,QMS)

(薬事日報社) 2005

薬事法・薬剤師法関係法令集平成 19 年版 別冊追補版

(薬務公報社) 2007

薬事法・薬剤師法・毒物及び劇物取締法解説 第 18 版

(薬事日報社) 2008

薬務政策実務情報ファイル (加除式)

(薬事情報研究会—第一法規) 2005 +

医薬品安全性関連情報資料

Australia (オーストラリア)

Australian Adverse Drug Reactions Bulletin

(Adverse Drug Reaction Advisory Committee) 1982 +
ADRAC (Adverse Drug Reaction Advisory Committee) に報告されたオーストラリアの副作用情報について概説してある。個々の文献も紹介されている (英語)

<http://www.tga.gov.au/adr/aadrb.htm>

Australian Prescriber

(National Prescribing Service) 1988 +
1975 年に創刊。医薬品と治療に関する情報を提供。医師、歯科医師、薬剤師、学生を支援するトピックをカバーしている。基礎的な薬理の解説から臨床的な問題までとりあげている。(英語)

<http://www.australianprescriber.com/index.php>

Medicines in Pregnancy

(Australian Drug Evaluation Committee)
1989, 2nd ed. (1992)
オーストラリア医薬品評価委員会がまとめた妊娠中の患者に投薬する際の評価基準をまとめたもの。日本語版として「妊娠中の投薬とそのリスク」が医薬品・治療研究会から 1990 年に出版されている。(英語)

<http://www.tga.gov.au/docs/html/medpreg.htm>

Report of Suspected Adverse Drug Reactions

(Australian Drug Evaluation Committee)
No.6 (1987)
オーストラリア医薬品評価委員会が 1983 年から 1986 年の 3 年間に受理した副作用報告 12,727 件についてまとめたもの。(英語)

Canada (カナダ)

Canadian Adverse Reaction Newsletter

(Health Canada) 1996 +
カナダ連邦保健省 Health Canada が治療用製品プログラムによりカナダ各地区の副作用情報センター、又は医薬品情報センターの協力で発行している医師向けニュース資料。ケースレポートも収録されている。医師からの副作用報告を求める表が添付されている。オンライン、インターネットでも公開されている。(英語)

http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/medeff/bulletin/index_e.html

France (フランス)

Prescrire International

(Association Mieux Prescrire) 1993 +
仏語版の < La revue prescrire 1981 年創刊 > がオリジナル本。これはその原本から論文を選択して英語で提供している国際版。(隔月)
内容は承認新薬の評価、有害作用、薬物療法、治療、薬以外の治療法、検査など。新薬の評価が厳しいことで定評がある。(英語)

<http://www.prescrire.org/signature/productions/international.php>

Germany (ドイツ)

Arznei-Telegramm

(A.T.I.Arzneimittelinformation) 1986 +
医薬品に関する論説、総論、治療批判、新薬紹介、短報、quality control、報告、警告などからなる。製薬企業から独立した月刊情報誌で 1 冊が 10 ページ程度の記事からなる。(ドイツ語)

<http://www.arznei-telegramm.de/>

Arzneiverordnung in der Praxis

(Arzneimittelkommission der Deutschen Ärztescha) 1995 +
ドイツ医師会薬剤委員会から医師向けに年 4 回刊行されている季刊情報誌で略称「AVP」。(ドイツ語)

<http://www.akdae.de/25/index.html>

Japan (日本)

Drug Safety Update 医薬品安全対策情報

—療用医薬品使用上の注意改訂のご案内—

(日本公定書協会、日本製薬団体連合会) No.1 (1992) +
医療用医薬品使用上の注意改訂の案内。年 10 回発行。

The Informed Prescriber (正しい治療と薬の情報)

(医薬品・治療研究会) 1986 +
中立的医薬品情報の提供をめざす月刊誌。
各国の雑誌に掲載された副作用情報を翻訳、解説している。またその時々問題となったニュースの背景、治療法、薬剤などについて解説がなされている。

医薬品副作用要覧

(エルゼビア・ジャパン)

第1集(1991) - 第3集(2004)

厚生労働省から発表された医薬品副作用とその対策についての情報がまとめて収録されている。

第1集：厚生省医薬品情報 No.1-No.11 / 医薬品副作用情報 No.1-No.100 / 副作用モニター報告の概要のまとめ (昭和42年3月～平成1年3月)

第2集：医薬品副作用情報 No.101～No.143 / 新医薬品等の副作用のまとめ (平成元年9月～平成8年3月) / 医薬品副作用モニター報告の概要のまとめ (平成元年4月～平成7年3月)

第3集：医薬品等安全性情報 No.144～No.157 / 医薬品・医療用具等安全性情報 No.158～No.190 / 新医薬品等の副作用のまとめ (平成8年12月～平成11年3月)

医薬品・医療用具等安全性情報

(厚生労働省医薬安全局安全対策課) No.1 (1973) +

厚生労働省が収集した医薬品・医療用具等による副作用情報を検討評価したもの。

緊急安全性情報集

(ドクターレター) 1987-1993

(日本医薬情報センター) 1993

JAPIC が入手した 1987 年から 1993 年 8 月までの約 6 年半の間に発行されたドクターレターと、これに該当する品目の添付文書を 1 冊にまとめたもの。

<1993 年 10 月から 2003 年 3 月までの情報は別ファイルとして保存している。>

OTC 医薬品安全性情報

(日本大衆薬工業協会) No.1 (1992) +

OTC 医薬品 (一般用医薬品) の安全性評価のために、日本大衆薬工業協会安全性委員会安全性情報部会が文献中の安全性情報報告部分を要約し作成したもの。2007 年 5 月以降「大衆薬」を「OTC 医薬品」と読み替えることとしたため、誌名変更。No.1 (1992) -No.100 (2007.5) までは「大衆薬安全性情報」。

Sweden (スウェーデン)

Bulletin from SADRAC

(Medical Products Agency) 1987-1998//

スウェーデン副作用委員会 (Swedish Adverse Drug Reactions Advisory Committee : SADRAC) 発行の資料。SADRAC が受理した副作用報告について解説しており、年 1 - 2 回の不定期発行であった。現在、WHO のニュース誌「WHO Pharmaceutical Newsletter」で取り上げられている。(英語)

http://www.lakemedelsverket.se/Tpl/StartPage_395.aspx

United Kingdom (イギリス)

Adverse Drug Reaction Bulletin

(Chapman & Hall) 1987 +

隔月発行。英国でその時々問題となった医薬品について副作用等も含め概説してある。また、文献も紹介されておりオリエントにたどれる。(英語)

CSM Current Problems in Pharmacovigilance

(Medicines Control Agency) 1975-1998//

医薬品安全性委員会 CSM (Committee on Safety of Medicines) と MHRA (Medicine and Healthcare products Regulatory Agency) によって作成された。副作用報告や注目を要する安全性問題、CSM からの案内など医療関係者向けにインターネットで提供している。(英語)

http://www.mhra.gov.uk/home/idcplg?IdcService=SS_GET_PAGE&nodeId=5

Drug and Therapeutics Bulletin

(BMJ Group) 1987 +

医薬品の使用法や治療法等に関する最新の Review、ケースレポートを掲載している。2007 年 4 月より BMJ Group の発行となった。(英語)

United States of America (アメリカ合衆国)

MedWatch Program

(FDA)

アメリカの医薬品安全性情報はインターネットによる情報提供が進んでおり、ネットワーク上から情報を取り出すことが容易になってきている。

FDA MedWatch (副作用報告プログラム) は医療関係者、消費者からの重大な副作用および医療用の製品に関する問題報告を受けそれをフィードバックするプログラム。その報告用紙が Web 上にあり FDA に報告できるようになっている。Web 上の MedWatch には次の医薬品安全性情報が掲載されており、適宜とらだすことができる。

<http://www.fda.gov/medwatch/safety.htm>

Dear Health Professional Letters

FDA Enforcement Report (取締りレポート)

FDA Medical Bulletin (医療専門家向けの FDA からの規制、措置、考え方を示したもの) 冊子体は 1999 年で廃刊。

Adverse Drug Reaction Reporting Data Files

(副作用報告データファイル)

Annual Adverse Drug Experience Report

(副作用経験年次報告)

Morbidity and Mortality

Weekly Report (MMWR)

(Center for Disease Control) 2000-2003//

連邦防疫・疾病対策センターが週刊で発行している死亡率と罹患率に関するレポート。非加熱血液製剤のエイズへの感染の可能性を指摘したことで有名。2004 年から下記のホームページで全文テキストが公開されている。

<http://www.cdc.gov/mmwr/>

その他

Meyler's Side Effects of Drugs

(Elsevier B.V.) 6 (1968) - 15 (2006)

医薬品の有害作用及び相互作用に関連する世界中の研究報告を総括したもので、故 Leo Meyler 教授によって 1957 年に第 1 版が刊行され現在 15 版と続いている。日本後版として「メイラー医薬品の副作用大事典」(西村書店) が第 9 版から第 12 版まで刊行されている。

Side Effects of Drugs Annual

(Elsevier B.V.) 1 (1977) - 29 (2007).

医薬品副作用の膨大な情報を up-date に提供するため 1977 年に Annual 版が刊行された。個々の症例報告を厳密・詳細に検討しまとめてある。前年度に収集され情報を毎年 1 月に発行している。

世界の医薬品集等

International (国際)

DEF :

Diccionario de Especialidades Farmaceuticas (CAD)

(PLM)

1998 (29 版)

1969 年創刊の CAD (中米・ドミニカ共和国) 版の年刊医薬品集。①中米各国 (コスタ・リカ、エル・サルバドル、グアテマラ、ホンデュラス、ニカラグア、パナマ、ドミニカ共和国、ベリーズの 8 カ国) 139 社の 1,600 以上の医薬品が網羅されている。②全てがアルファベット順に配列されている。③索引が充実していて、索引だけで調査目的が達せられる場合も多い。以上、コンピュータの利点を生かして、利用者に便利な本を作っている。(スペイン語)

European Drug Directory

(SEMP)

2 版 (1992)

1991 年創刊の IMS インターナショナルのデータバンクを中心に編集された医薬品集で、外国人の医師や患者への対応に役立つ医療用医薬品集。デンマークを除くヨーロッパ 12 カ国の 531 治療分類の 60,000 品目、INN 等の一般名では 3,500 成分の医薬品を網羅している。(フランス語と英語の併記)

Formulary of Tibetan Medicine

(Classics India Publications)

No.2 (1988)

チベット、ブータン、モンゴル、ロシアのブリヤート、ラダック等の北部インド、ネパール、中国等の国々で常用されているチベット薬の本。B5 判 453 ページ。数千のチベット処方中、よく使われる 164 処方がモノグラフになっている。内容は前文、処方リスト、略号、チベット語の読み替え、概論、本文、付録、索引で構成される。(チベット語交じり英語)

Martindale : The Complete Drug Reference

(Pharmaceutical Press)

25 版 (1967) - 35 版 (2007)

イギリス薬剤師会が世界中で使用される医薬品、薬物に関して評価された情報を編集したもの。一般薬、生薬、獣医薬、造影剤、診断薬、放射線薬、毒物、医薬品添加物も収載している。新たにチェコ、ハンガリー、ロシア、ベネズエラを含む 37 カ国の専売薬を収録した。モノグラフ、製剤の記述中にスポーツにおける禁止薬物の含有情報を収載し、仏語、ラテン語、スペイン語、ロシア語の国際一般名を収録。麻薬の俗称の収録数を拡大し、主な医薬品の構造式を初めて掲載した。2~3 年ごとに発行され、100 年以上の実績がある。(英語)

The Merck Index

(Merck & Co.)

9 版 (1976) - 14 版 (2006)

メルク社が 1889 年創刊以来、約 6 年ごとに発行される由緒ある薬学系参考書。サブタイトルに化学物質、医薬品、生物学的製剤のエンサイクロペディアとうたっているように、メルク社製品以外に広くこれら物質の配合剤を含み 12 版以降 5,000 以上のモノグラフの改訂があり、10,000 以上のモノグラフが収載されている。(英語)

Argentina (アルゼンチン)

P.R.Vademécum (Argentina)

(EC S.A.)

11 版 (2004)

広く南米をカバーしている「Vademécum」(便覧) アルゼンチン編で、目次、本書及びインターネットでの調べ方のフローチャートに続き、2 分冊で構成。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/>

Australia (オーストラリア)

MIMS Annual (Australian Edition)

(CMPMedica Australia)

1984, 1989 - 2007 +

1963 年「MIMS」としてスタート、1977 年から「MIMS Annual」として発行。オーストラリアの規制当局 TGA (Therapeutic Goods Administration) 承認の 2,000 品目以上の処方箋薬、非処方箋薬をまとめた年刊医薬品集。(英語)

<http://www.mims.com.au/>

MIMS OTC

(MIMS Australia)

2000 (3 版) //

「MIMS」の OTC 版。目次、薬効分類目次、記号一覧、妊婦の医療カテゴリー、生薬、外傷管理、咳とかぜ用製品、ビタミン剤、ミネラル剤のまとめがあり、更に各州の中毒情報センターや医薬情報センターのアドレス、医療略語一覧に続き、一般情報 (本文) が 19 の薬効分類順に記載される。(英語)

Austria (オーストリア)

Austria-Codex Fachinformation

(Österreichische Apotheker-Verlagsgesellschaft)

1983/84-1994/95 (隔年)

1995/1996-1998/1999

2004/2005 (59 版)

オーストリアの年刊医薬品集。A5 判 3 冊セット。Fachinformation は専門情報で、添付文書そのもの。3 巻で構成され、4 カ月ごとに追補 (Nachtrag) が発行される。(ドイツ語)

Bangladesh (バングラデシュ)

MIMS Bangladesh Index of Medical Specialities

(CMPMedica Asia)

Vol.3 No.1-2 (2001), Vol.5 No.2 (2003),

13 版 Jul-Dec (2005),

1st Issue 2007 (16th ed.), 2nd Issue 2007 (17th ed.)
1970年初版。年2回発行。各社の重要な製品情報を独自に編集しコンパクトにまとめている。内容は製品情報、索引(分類、会社名、一般名、製品名)、Pregnancy Safety Index等。(英語)

Belgium (ベルギー)

Compendium

(AGIM – MediMedia Belgium)
19版(2001)

ベルギー製薬協(AGIM)加盟会社の2000年11月1日付最新添付文書情報による年刊医薬品集で薬価付。前付、本文、企業録で構成される。(フランス語)

Formulaire Therapeutique

(CNIT)

9版(1982/83), 11版(1986/87)
12版(1987/88), 14版(1989/90)

ベルギー国家治療情報審議会 CNIT (Conseil National de l'Information Therapeutique) の同意のもとに作成された、A5判490ページのポケット判医薬品集。1978年医学会・薬剤師会・歯学会・獣医学会の協力で創刊された医療現場における適切な治療のための参考書。(フランス語)

Medex-Medasso

(MediMedia Belgium)
1/2004

年数回発行の一般医向け「Compendium」のポケット版。(フランス語)

Brazil (ブラジル)

DEF : Dicionário de Especialidades Farmacêuticas

(Editora de Publicações Científicas)
97/98,2004/05 (33版)

ブラジルの隔年発行の医薬品集で、Jornal Brasi-leiro de Medicina から、ブラジル製薬協、リオデジャネイロとサンパウロの製薬組合が協力して発行している。医療薬、一般薬、医療用具を含み、全てがアルファベット順に配列されている。(ポルトガル語)

P.R.Vademécum (Brazil)

(Soriak Comércio e Promoções S.A.)
9版(2003/2004)

ブラジルの医薬品便覧。成分名、薬効分類、疾病分類からの索引と会社住所録、参考文献等を掲載。(ポルトガル語)

http://www.prvademecum.com/prvademecum_bra/bra_default.asp

Canada (カナダ)

Canadian Drug Identification Code

(Canada Communication Group)
12版(1985), 14版(1987), 16版(1990)
18版(1992), 19版(1993)

カナダ保健省により1972年創刊されたが、その後民営に移管された。(英語・フランス語)

CNP : Compendium of Nonprescription Products

(Canadian Pharmacists Association)

2001 94 (1版), 97 - 99 (6版), 2001.

2002年から「CSCP : Compendium of Self-Care Products」へ名称変更。

CPS : Compendium of Pharmaceuticals and Specialties

(Canadian Pharmaceutical Assoc.)

1977 - 1978, 1980 - 1994, 1996 - 2007 (42版) +

1960年カナダ薬剤師会により医療従事者用に編集・発刊された。企業とカナダ保健省 Health Canada の治療製品プログラムの情報をベースにしている年刊の医療用医薬品集であるが、薬価は取り上げていない。(英語)

CSCP : Compendium of Self-Care Products

(Canadian Pharmacists Association)

2002-3

カナダ薬剤師会が従来の「CNP : Compendium of Nonprescription Products」を書名変更。専門家向け「CPS」の姉妹編として、The Canadian Reference on OTCs のサブタイトル通り、OTC薬の医薬品集を編集し、セルフケアを目指す医療関係者と患者用に年版で発刊。(英語)

The Canadian Medical Association Guide to Prescription and Over-the-counter Drugs

(The Reader's Digest Assoc.)

1990

カナダ医学会が一般の人を対象に、医薬品やその正しい使い方、家庭での救急処置等をまとめたもの。処方薬とOTC薬について一般名医薬品と製品3,000以上を網羅。(英語)

Understanding Canadian Prescription Drugs

(Key Porter Books)

2 ed. (1992)

1989年初版。A5判460ページの手軽な服薬指導書。カナダ薬剤師会推薦図書。医薬品を使用する上での注意事項を一般向けにやさしく親切に解説している。(英語)

Chile (チリ)

P.R. Vademécum (Chile)

(RL Editora Ltda.)

10版(2004)

チリの医薬品便覧。医薬品の解説、薬物間相互作用、ATC索引、参考文献の一覧等を掲載(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

China (中華人民共和国)

中華人民共和国薬典二部 臨床用薬須知

(中国医药科技出版社)

1989

中国薬局方第二部(1985年版)に記載されている医薬品と改訂版に記載予定品を加えた約500品目について収録されている。(中国語)

中国基本中成薬

(人民衛生出版社)
第一部 (1988), 第二部 (1991)
中国の全国中医理論整理研究会が編集した中国の処方薬集。
(中国語)

中国常用中成薬大全

(哈爾濱出版社)
1990
内科、外科、婦人科、小児科、五官科の科別を更に 24 の治療目的 (薬効) に合わせて 2,026 処方を紹介している。(中国語)

中国の薬がわかる本

(並木書房)
1998
中医学に基づく中成薬に約 50 種の物理療法器具を含む中国で常用されている約 500 種の医薬品等の説明書を翻訳して、解説を加えたもの。

中国薬物大辞典

(中国医药科技出版社)
1991
B5 判上下の 2 分冊。建国以来 1989 年までの国内製造医薬品について 12,000 余品目 (中成薬 7,615 品目、バルク約 1,800 品目を含む化学薬品約 5,000 品目) を収載。(中国語)

中薬大辞典

(上海科学技术出版社)
上下 附 (3 分冊) 1977
上海版 B5 判と 1 年遅れで縮刷判の香港版が出版された。オリジナルは上冊、下冊、附編の 3 分冊であるが、小学館から 5 分冊の日本語版「中薬大辞典」も出ている。(中国語)

MIMS Annual — 中国薬品手冊年刊 —

(CMPMedica Pacific)
2004/2005、2005/2006 (9 版)、2007/2008 (11 版)
1997 年初版の中国語による「MIMS Annual」で、年 2 回 6 月と 12 月に発行の「MIMS China」の統合版。製剤写真、薬理分類索引、詳細な製品情報、会社住所録、一般名・商品名索引、臨床情報など。(中国語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

MIMS Annual Hong Kong・HIMS

(CMPMedica Pacific)
97/98 (8 版)、2002/2003、2004/2005、2005/2006
18 版 2007/2008
「MIMS Annual」シリーズの香港版。会社別製剤写真、会社住所録、一般名・商品名索引、詳細な製品情報、臨床情報等。(英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

MIMS China — 中国薬品手冊 —

(CMPMedica Pacific Ltd)
Vol.3 No.2 (1997)、24 版 (2007 年第 1 冊)
6 月と 12 月の年 2 回発行される処方箋用医薬品集。MIMS 薬物分類索引、保険医薬品目録、Pregnancy Safety Index、新規収載品、簡潔な製品情報、会社住所録、一般名・商品名索引等で

構成される。(中国語、一部英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

MIMS Hong Kong・ HKIMS Hong Kong Index of Medical Specialities

(CMPMedica Pacific Ltd)
110th Ed (2nd Issue 2007) — 112th Ed (4th Issue 2007)
年 4 回発行。新規収載品、簡潔な製品情報、一般名・商品名索引等を掲載。製品の詳細情報は Annual 版を参照のこと。(英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

MIMS Medex Hong Kong

(Medi Media)
97 年版
香港の医療機関や研究所で使用する治療薬以外の診断薬、装置・用具、医薬部外品等のカタログ集でバイヤー向け。(英語、目次ほか一部中国語)

新編中成薬手冊

(中国医药科技出版社)
1991
伝統的中医薬理論と現代医薬学を取り入れた中成薬 (漢方製剤) の実用書。臨床的に常用される漢方処方 666 品目を収載している。(中国語)

Colombia (コロンビア)

P.R. Vademécum (Colombia)

(Licitelco S.A.)
3 版 (2004)
コロンビアの医薬品便覧。製品説明、規制医薬品一覧表、薬物間相互作用、成分、薬効分類、疾病分類索引と会社住所録等。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

Czech (チェコ)

Pharmaindex Breviř

(MediMedia Information)
2005 (14 版)
ハガキ大 1,134 ページのポケット版医薬品集。製品説明、ATC 分類、一般名索引、会社住所録等。(チェコ語)

Denmark (デンマーク)

Lægemiddel Kataloget

(Dansk Lægemiddel Information A/S)
2004 (29 版)
デンマーク製薬協 (Lif) 傘下の DLI で作成する年刊医薬品集で、国内で販売される全医薬品を網羅。(デンマーク語)

<http://www.lk-online.dk/default.html>

Egypt (エジプト)

Master on Therapeutic Drugs

(Dr. Henein Wli & Dr. Usama Tharwat)
2002 (8 版)
ドクター 2 名によってまとめられたはがきサイズ 191 ページ

のエジプトの薬価表。(英語、一部アラビア語)

Finland (フィンランド)

Pharmaca Fennica

(Lääketietokeskus)
2004 (29 版)

フィンランドの「PDR」ともいべき全3巻の薬価つき年刊医薬品集。(フィンランド語)

http://www.laaketietokeskus.fi/page.php?page_id=1

France (フランス)

ViDAL

(Vidal)

1975, 1977 - 1987, 1989-2007 (83 版) +
1976 年創刊のフランスの薬価付き年刊医薬品集。医薬品モノグラフ、医薬部外品の製品説明、一般名/商品名一覧、薬効分類一覧、会社住所録等を掲載。すべての製品ではないが薬価も掲載されている。(フランス語)

<http://www.vidal.fr/index.htm>

Germany (ドイツ)

Arzneistoff - Profile

(Govi-Verlag・Pharmazeutischer Verlag)
1982 (初版), 1997 (12 版)

ドイツ薬剤師会の医薬品情報事業共同 (API) の求めで作られた医薬品集。(ドイツ語)

Gelbe Liste Pharmindex

(Medi Media)

2001 - 第3期 2002 - 第4期, 2003 - 第1-3期
「MIMS」で有名な MediMedia 社から発行の添付文書を基にした医薬品集で、年4回の改訂。(ドイツ語)

Rote Liste

(ECV・Editio Cantor Verlag)
1969, 1974 - 2007 +

ドイツ製薬工業連合主導で Rote Liste Service が編集している年刊医薬品集。処方薬 (Rp)、OTC 薬 (Ap)、非 OTC 薬 (nAp) が含まれる。製品情報、薬価、服薬指導表、妊婦・授乳中の薬、企業住所録等。(ドイツ語)

<http://www.rote-liste.de/>

Hellenic Republic/Greece (ギリシャ)

Εθνικο Συνταγολογιο

(Greek National Formulary) (EOΦ)
2003

ギリシャの「National Formulary」。EOΦはギリシャ保健福祉省 National Organization for Medicines のことである。(ギリシャ語)

Reimbursed Medicinal Products List

(National Organization for Medicines)
2004 (第1 版)

ギリシャの保健・福祉省の下部機関発行の薬価基準収載医薬品集で日本の「薬価基準点数早見表」に該当。(英語)

Hungary (ハンガリー)

Gyógyszre Kompendium

(MediMedia Információs)
2000, 2004 (5 版)

1996 年版では「Vademecum」と表示されていたが、2000 年版 (1999 年発行) から現在の表示に変わった。(ハンガリー語)

<http://www.pharmindex.hu/index.shtml>

India (インド)

Indian Pharmaceutical Guide

1973, 1980, 1982, 1984, 1988, 1990, 2001 (39 版)
(Pamposh Publications)

1963 年創刊のインドの医薬品を含む薬事全般について分かる年刊の本。(英語)

MIMS India

(Monthly Index of Medical Specialties)

(MIMS India)
Vol.24 No.7-25 No.6 (2004.7-2005.6),
Vol.27 No6 (2007.6) +

MIMS のインド版。医師、薬剤師向けに 1980 年に創刊された。インドの処方箋用医薬品の簡単な解説と薬価がわかる。(英語)

<http://www.mims-india.com>

Indonesia (インドネシア)

DOI : data obat di Indonesia

(Grafidian Jaya)
3 版 (1981), 9 版 (1994)

通称「DOI」と呼ばれるインドネシアの市販医薬品の説明書。(インドネシア語)

MIMS Annual Indonesia・IIMS

(Medi Media)
97/98, 2002/2003-2003/2004 (15 版)

「MIMS Annual」シリーズのインドネシア版で、処方用医薬品 1,400 品目以上が収載されている。旧名「IIMS Annual」。(英語)

MIMS Indonesia・IIMS Indonesia Index of Medical Apecialities

(CMPMedica AsiaPte Ltd)
102nd Ed. (3rd Issue 2005),

107th Ed. (2nd Issue 2007) - 108th Ed. (3rd Issue 2007) +
1970 年初版。「MIMS」シリーズのインドネシア版。年3回発行される update 版。新規収載品、簡潔な製品情報、会社住所録、一般名・商品名索引等。詳細な製品情報は Annual 版を参照のこと。(英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

MIMS Medex Indonesia

(Medi Media)
97年版

インドネシアの医師、病院管理者、地区長及び保健衛生専門家向けの医療用具、器具、システム、診断キットのカタログ。(英語)

Iran (イラン)

Iran Drug List

(Department of Food & Drug,
Ministry of Health&Medical Education)
Winter 2004

イランの医薬品リスト。アラビア式で右から左にページが動く。(英語・ペルシャ語)

National Formulary of Iran

(Ministry of Health and Medical Education
Undersecretary for Food and Drug)
2004 (3版)

ペルシャ語を主に、右から左へページが進む。適宜、英語の見出し目次が付き、概要はわかりやすい。(ペルシャ語・一部英語)

Israel (イスラエル)

Medic

(Shirol Publications)
29巻 No.6 (2000)

イスラエルの「MIMS」に当たる資料で、29年の歴史があり、隔月発行の医薬品便覧である。内容は目次、薬効分類索引、アルファベット索引、一般名索引、新薬、本文、企業住所録から構成される。(英語)

Italy (イタリア)

L' Informatore Farmaceutico

(Elsevier Masson)

1978,1981-1991,1993-2007 (67版) +

イタリアの医薬品と製造会社の辞書ともいえる薬価付きの年刊の医薬品集。医薬品、医薬関連製品、ホメオパシー、製薬企業録、ポケット版の5分冊。追補版が年10回発行される。(イタリア語)

<http://www.informatorefarmaceutico.it/>

Repertorio Farmaceutico Italiano

(OEMF)

1986,1987/88,1989 - 1991,1993 (7版)

2000 - 2001 (11版) // 2002 (CD-ROM版)

イタリア保健衛生省の指導のもと製薬企業協会が編集する処方用医薬品集で「PDR」のイタリア版と考えてよい。(イタリア語)

Vademecum della Prescrizione

(Documento Editoriale)

1版 (1994-95)

イタリアの処方情報集。A5判 1,340ページの小型冊子。内容は前文、モノグラフ、インデックスで構成され、OTC薬を含む医療薬が取り上げられている。(イタリア語)

Japan (日本)

治療薬情報集 - 薬効別 要約と詳細 -

(じほう)

2004 (初版) - 2005 (2版)

添付文書を情報源とし、薬効別に18,200品目について編集したもの

治療薬マニュアル

(医学書院)

2004+

ハンドブック型で、添付文書を情報源とし、臨床医による解説や処方例を加えた1990年初版の年刊医療用医薬品集。

保険薬事典 (薬効別薬価基準)

(じほう)

昭和47年+

薬業研究会の編集。医薬品集ではないが、経過措置品を含む全薬価基準収載品を収載。

医薬品・医療衛生用品 価格表

(薬事日報社)

昭和62年度+

現在流通している医療用及び一般用医薬品、医療衛生用品を毎年発売元調査をして編集している。

医薬品要覧

(じほう)

総合新版1974, 1978, 1979, 全訂1983
4版 (1988), 5版 (1992), 6版 (2006)

大阪府病院薬剤師会の編集。医療用医薬品を薬効分類別に表形式でまとめている。

JAPIC 一般用医薬品集

(JAPIC)

1版 (1978) - 2007年版+

2006年8月にJAPIC編集・発行の一般用医薬品集として生まれ変わった。

1版 (1978) - 2004-05年版 (14版) (2003) までは一般薬日本医薬品集 (Drugs in Japan : OTC Drugs)、JAPIC編集 - じほう発行。

JAPIC 医療用医薬品集

(JAPIC)

1版 (1974) - 2007年版+

2005年9月、これまでJAPIC編集 - じほう発行の「医療薬日本医薬品集」からJAPIC編集・発行に改め、CD-ROM付「JAPIC医療用医薬品集」として生まれ変わった。

1版 (1974) - 2005年版 (28版) までは医療薬日本医薬品集 (Drugs in Japan : Ethical Drugs)。JAPIC編集 - じほう発行

JAPIC 日本医薬品名事典

Drug Index in Japan (医療薬・一般薬)

(JAPIC)

わが国の医療現場で使用される医療用医薬品と薬局・薬店で一般に販売される一般用医薬品 (OTC薬) のほぼすべてを網羅した医薬品名事典。掲載品目は約29,100製品。

Japan Pharmaceutical Reference

(日本医薬品輸出組合)

1 版 (1989/90), 2 版 (1991/92), 3 版 (1993)
4 版 (1996), 5 版 (1999) //

厚生省監修。WHO 医薬品証明制度に対応できる英文の医薬品添付文書情報集を中心に、日本の規制等が記載されている。現在は、日本製薬工業協会のホームページ

<http://www.e-search.ne.jp/~jpr/>

で英文添付文書が見られるようになっている。(英語)

JAPTA List : Japanese Drug Directory

(薬事日報社)

1973, 追補 1979, 1987//

1968 年創刊の医薬品辞典。日本薬業貿易協会が日本の主要製薬会社の医薬品を海外に紹介する目的で発行したもの。(英語)

常用新薬集

(日本新薬)

22 - 26 版 (1971-1979), 28 - 35 版 (1984-1998)
37 - 39 版 (2006) +

1910 年創刊の隔年版のポケット判薬価付き医薬品集。

今日の治療薬 解説と便覧

(南江堂)

2004 (26 版) +

ハンドブック型表形式の年刊医療用医薬品集。

New Drugs 承認医薬品集

(テクノミック)

1998-2003

治験薬情報誌「明日の新薬」から、1 年間の国内承認された医療用医薬品を抜粋・編集したもの。

日本医薬品総覧 (Japan Drugs)

(メディカルレビュー社)

1994, 2000 ~ 2001 (6 版), 2003 ~ 2004 年版

添付文書をもとに、これに準じた内容ではあるが、違いは、医療薬全製品を収載しているわけではなく、要約されている。

日本薬局方 医薬品情報 (JP DI)

(日本薬剤師研修センター編 - じほう)

1991, 1996, 2001, 2006

1991 年「日本薬局方 12 版」に合わせて創刊。「医薬品情報の供給等日本薬局方に係る情報伝達の整備」を進めるため、厚生省薬務局研究開発振興課が監修して作成したのがはじまり。

OTC Guide Book 大衆薬ガイドブック

(日本大衆薬工業協会 - じほう)

2002 (2 版)

日本大衆薬工業協会が大衆薬製品 533 品目について日英対訳のガイドブックを作成。(英語・日本語)

ポケット版 臨床医薬品集

(薬事日報)

2007 年版

使用頻度の高い薬を優先的に、各薬剤の規格や適応疾患、重

大な副作用や相互作用などについて網羅的に記載。標準的な治療法も記載している。

ポケット医薬品集

(白文社)

2004 年版, 2006 年版

鳥取大学の龍原 徹名誉教授による A6 判約 1,000 ページの軽くて、臨床医に繁用される便利な医薬品集。

臨床医薬品要覧

(The Essential Point of Medicines for Rational Use)

(じほう)

1999

大阪府病院薬剤師会が第 5 版まで発行した「医薬品要覧」を、臨床業務に必要な内容に見直しの上、新しく編集したもの。

最近の新薬

(薬事日報社)

1 集 (1950) - 2007 (2007 年度版) +

前年に製造 (輸入) 承認・発売された医療用及び一般用の新薬を薬効分類、製品別に配列紹介したもの。

知っておきたい医薬品選 400

(日本薬学会、じほう)

2005 +

薬学系大学生を対象に基礎薬学、臨床薬学から必要性の高い医薬品 400 成分を厳選して、医薬品集としたものである。

体外診断用医薬品集

(薬事日報社)

初版 1991 (追補 1993, '95), '97 版 (追補 '99, 2001)

(社) 日本臨床検査薬協会編集。現在日本で市販されている体外診断薬及び体外診断用放射性医薬品を目的別に分野されている。現在は CD-ROM 版で発行されているもよう。

大衆薬事典 一般用医薬品集

(じほう)

1 版 (1988), 追補 '89, 3 版 ('92 - '93), 追補 '93
4 版 ('94 - '95) - 10 版 (2006 - '07) +

日本大衆薬工業協会編集の一般用医薬品添付文書の要約で隔年発刊。

薬価基準 点数早見表

(じほう)

平成 10 年 4 月, 15 年 8 月, 16 年 4 月

17 年 4 月, 18 年 4 月, 18 年 8 月版

「保険薬事典」の姉妹編で、薬価基準に記載されている医療用医薬品が収載されている。

Korea (大韓民国)

Drug Information in Korea

(Korea Pharmaceutical Information Foundation)

2002, 2006

韓国の医薬品集。成分別医薬品情報、一般名のアルファベット順に簡単な説明、FDA Category、製剤カラー写真を掲載。一般名索引(英語)、商品名索引(ハングル)、薬剤識別コード索引(会社マーク、識別コード、商品名、規格単位等からの索引)(韓国語)

KIMS

(CMPMedica)
Vol.11 No.3 (1997), Vol.12 No.1 (1998)
Vol.21 No.4 (2007)

1987年初版。医療関係者向けに医療用医薬品についての情報を年4回2月、5月、8月、11月に提供している。KIMS分類順に配列し、製品情報を簡潔に記載。新規収載品、一般名索引(英語)、商品名索引には韓国語と英語がある。(韓国語)

<http://www.kimsonline.co.kr>

KIMS Annual

(MediMedia Korea)
2001、2004

前記「KIMS」の年刊詳細版。(韓国語、一部英語)

<http://www.kimsonline.co.kr/>

Medical Index

(Medical Index Co.)
5版(1988)、6版(1991)

サブタイトルにはPhysicians' Desk Reference Prescription Information for Pharmaceuticals and Biologicalsとついているように、韓国版の「PDR」ともいえる医家向けの処方情報集で、本文以外の概略説明には英文も併記している。(欧文交じり韓国語)

Malaysia (マレーシア)

MIMS Annual Malaysia

(CMPMedica Pacific Ltd)
97/98, 2002/2003, 2004, 17版(2005)
18版(2007/2008)

MIMSのマレーシア版。製剤識別写真、会社住所録と製品一覧、一般名・商品名索引、詳細な製品情報、臨床情報等を掲載。(英語)

<http://www.mimonline.com/index.aspx>

MIMS Medex Malaysia

(Medi Media)
98年版

病院等の医療機関や研究所で使用する治療薬以外の診断用薬、医療用具等のカタログ集でバイヤー向け。(英語)

Mexico (メキシコ)

PLM : México Diccionario de Especialidades Farmaceuticas

(Thomson PLM)
26版(1980), 28版, 30版, 35-36版, 38-39版, 42版
44-45版, 48-53版(2007)

1944年創刊。メキシコ、ラテンアメリカの医薬品を収載。商品名のアルファベット順に配列。会社名、剤形、薬効、禁忌、注意事項、副作用、相互作用、貯法、会社住所録などが詳しく記載されている。(スペイン語)

http://www.facmed.unam.mx/bmnd/dirijo.php?bib_vv=6

Mongolia (モンゴル)

Монгол Улсын УндЗсний Зайлшгуй Шаардлагатай Змийн Лавлах

(Л.Мягмар)
2001

モンゴルの必須医薬品集で、Essential Drug Action Programmeに基づき作成された。(モンゴル語)

Myanmar (ミャンマー)

MIMS Annual Myanmar

(CMPMedica Asia Pte Ltd)
1998, 2004, 9版(2005), 11版(2007)

「MIMS Annual」シリーズのミャンマー版で、ミャンマーで使われる医薬品を収載した年刊医薬品集。製剤識別写真、新規収載品、会社住所録、一般名・商品名索引、詳細な製品情報、臨床情報等を収載。(英語)

Myanmar National Formulary

(Ministry of Health Union of Myanmar)
1989

WHOのミャンマーエッセンシャルドラッグプロジェクトに基づいた医師、薬剤師を含む医療関係者向け医薬品集。(英語)

Nepal (ネパール)

National List of Essential Drugs Nepal

(Ministry of Health Department of Drug Administration Nepal)
2002(第3改訂版)

ネパールの必須医薬品リストで、1986年初版以降5年毎に発行されている。(英語)

Nepalese National Formulary

(Ministry of Health Department of Drug Administration)
1997(1版)

ネパールの必須医薬品を中心に医療専門家、病院、研究所その他で広く活用できるようにまとめたもの。(英語)

Nepalese Pharmaceutical Guide

(Associated Pharmatech Consultancy)
1993

7章に分れて記載されたネパールの医薬品及び医薬品貿易・産業についてのダイレクトリー。(英語)

Netherlands (オランダ)

Informatorium Medicamentorum

(KNMP)
1998, 追補(1998)

KNMP(王立オランダ薬学振興協会)の指示により、WINApの医薬品情報部門が中立の立場で作成した一般名を中心にした1971年初版の年刊医薬品集。(オランダ語)

Repertorium

(Pharma)
1987, Suppl.91/92, 92/93, 94/95, Suppl.94/95
96/97, Suppl.96/97, 98/99, 03/04, 05/06

オランダの製薬協とセルフケア用医薬品協会がつくった薬局・

薬店薬剤師用の処方用医薬品集。2年ごとに発刊。(オランダ語)

<http://www.geneesmiddelenrepertorium.nl>

———— NewZealand (ニュージーランド) ————

MIMS New Ethicals

(CMPMedica NZ Ltd)

(1) 2004- (7) 2007 +

ニュージーランドの全医療薬、OTC薬を掲載、年2回発行。薬効分類順、医薬品名のアルファベット順に配列。処方情報が簡潔にまとめられ、薬価も掲載されている。(英語)

———— Norway (ノルウェー) ————

Felleskatalogen

(Felleskatalogen AS)

46版 (2004)

ノルウェー国内で使用されている医薬品をまとめた歴史のあるポケットサイズの年刊医薬品集。(ノルウェー語)

<http://www.felleskatalogen.no>

———— Paraguay (パラグアイ) ————

P.R.Vademécum (Paraguay)

(Gamm S.A.)

7版 (2004)

パラグアイの医薬品便覧。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

———— Peru (ペルー) ————

DEF : Diccionario de Especialidades Farmaceuticas (Peru)

(PLM)

9版 (1997)

1983年創刊。ペルーの処方薬情報をまとめた医薬品集。(スペイン語)

P.R.Vademécum (Perú)

(Editorial Científica Propesa)

5版 (2004)

ペルーの医薬品便覧。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

———— Philippines (フィリピン) ————

Cross Reference Index

(Dep. of Health, Republic of Philippines)

Vol. III (1990)

フィリピンの「National Drug Formulary」の3巻。(英語)

MIMS Annual Philippines

(CMPMedica Asia)

1997, 2001, 2003, 17版 (2005)

1988年初版。「MIMS Annual」シリーズのフィリピン版。製剤写真、会社住所録、一般名・商品名索引、詳細な製品情報等を掲載。(英語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

MIMS Medex Philippines

(Medi Media)

98年版

病院等の医療機関や臨床検査機関で使用する治療薬以外の診断用薬、医療用具、機器等の製造/販売会社によるカタログ集。(英語)

MIMS PHILIPPINES PIMS Philippines Index of Medical Specialities

(CMPMedica Asia Pte Ltd)

112nd Ed. (2nd Issue 2007) - 114nd Ed. (4th Issue 2007) +

フィリピンの医薬品集、年4回発行される。MIMS分類別、商品名順に重要な医薬品情報を簡潔に記載。新規収載品、一般名・商品名索引、会社住所録、Pregnancy Safety Index等を掲載。詳しい情報/はannual版を参照すること。(英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

Philippine Drug Reference

(Philippine Medical Association)

3版 (1984)

フィリピンの医師会と製薬工業協会の医学委員会の共同編集で、愛称「PDR」、1972年創刊。(英語)

———— Poland (ポーランド) ————

Leki Współczesnej Terapii

(Split Trading Sp.)

14版 (1999), 16版 (2003)

40年以上の歴史を持つポーランドの医薬品集で、2003年発行の16版では、以前併記していた「Vademecum」の表示もなくなった。(ポーランド語)

———— Portugues (ポルトガル) ————

Simposium Terapêutico

(Edições Simposium,Lda)

45版 (2001), 48版 (2004)

1956年初版の伝統あるポルトガルの医薬品集で、医療薬、一般薬、ホメオパシー医薬品、外傷用剤など多岐にわたる製品を収載。(ポルトガル語)

———— Russian Federation (ロシア連邦) ————

Формулярный Справчник Лекарственных Средств

(Formulary Reference Book of Medicines)

(MMA)

1998

薬学部学生のための医薬品集で、モスクワ医学アカデミーの薬化学教授アレキサンダー・アルザマスツェフ編。目次、序、略号一覧の後に本文が続く。(ロシア語)

ViDAL : Справочник Видаль

(АстраФармСервис)

1999 (5版), 2004 (10版)

1993年初版のロシア版「ViDAL」ともいえる年刊の医薬品集。

(ロシア語)

<http://www.vidal.ru/>

Singapore (シンガポール)

MIMS Annual Singapore

(CMPMedica Asia Pte Ltd)

97/98, 2002/2003, 2003/2004,
17 版 (2005), 19 版 (2007)

1988 年初版。「MIMS Annual」シリーズのシンガポール版。処方用薬を掲載した年刊の医薬品集。製剤写真、会社住所録、一般名・商品名索引、詳細な製品情報、臨床情報等を掲載。(英語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

MIMS Medex Singapore

(Medi Media)

98 年版

シンガポールの医師、病院管理者、地区長及び保健衛生関係者向けの医療用具、器具、システム、診断キット等のカタログ索引。(英語)

South Africa (南アフリカ)

MIMS Desk Reference

(MIMS a Division of Johnnic Publishing)

2004 (39 版)

南アフリカの 44 年の歴史をもつ医薬品集で、製薬企業が協力し、原稿もチェックしている。「MDR」と略される。(英語)

Spain (スペイン)

Vademecum Internacional

(Medicom)

1979, 1982-1984, 1986, 1988-1989, 1997-98
2000, 45 版 (2004), 46 版 (2006)

スペイン政府と国内医薬品企業共同編集である年刊医薬品集。製剤識別、製品モノグラフ、企業住所録等。薬効分類、有効成分、適応症からの索引がある。(スペイン語)

<http://www.vademecum.es/>

Sri Lanka (スリランカ)

MIMS Annual

(CMPMedica Asia)

2002/2003, 7 版 (2005/2006)

他の国の「MIMS Annual」同様、処方医薬品情報を編集作成されている。(英語)

Sweden (スウェーデン)

FASS

(LIF)

1976, 1978 - 2006, 2008

LIF (スウェーデン製薬工業協会; Läkemedels industriföreningen) が編集した医療専門家向けの医薬品集。製品名と ATC 分類の相互参照。詳細な製品情報。相互作用、過量投与、注意事項等の解説を掲載。(スウェーデン語)

<http://www.fass.se/LIF/home/index.jsp>

Patient-FASS

(LINFO)

1983, 1992 - 2003

スウェーデン製薬工業協会 (LIF) の医薬情報部門 (LINFO) が前記「FASS」を一般向けに分りやすく編集したもの。1983 年初版。(スウェーデン語)

Switzerland (スイス)

Codex

(Documed)

1977, 1979, 1984, 1986, 1989, 1995

スイスの医薬品便覧で隔年発行。1977 年「Codex Galenica」として発刊。1995 年「Codex」に改名。(ドイツ語)

Compendium Suisse des Médicaments

(Documed SA)

1986, 1988* (ドイツ語版) - 1989, 1992-2007 (28 版) + 前記「Codex」と同会社によるスイスの医療用及び OTC 医薬品を取り上げた 1978 年初版の年刊医薬品集。(フランス語)

Spezialitätenliste

(Bundesamt für SozialversicherungBAG)

1990 - 2007 +

スイスの公用語であるドイツ語、フランス語、イタリア語の 3 カ国語で Liste des spécialités、Elenco delle specialità の表題になっている。スイスの健康保険組合から公表される医薬品、代替医療用薬 (ホメオパシー用を含む)、ジェネリック薬の価格表。(ドイツ語、フランス語、イタリア語)

<http://www.bsv.admin.ch/sl/liste/d/index.htm>

Taiwan (台湾)

MIMS 簡明処方薬典・台湾 (MIMS Chinese)

(CMPMedica)

2004 (初版), 2006

「MIMS Taiwan (薬品手冊)」の Annual 版。処方用医薬品集。製剤写真、妊婦等級分類 (US FDA)、新規収載品、詳細な製品情報 (MIMS 薬物分類順に配列)、成分名及商品名索引。(繁体中国語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

MIMS (Taiwan・TWIMS) 薬品手冊

(CMPMedica Pacific Ltd)

Vol.8 No.2 (1997)

35th Ed (2nd Issue 2007), 36th Ed (1st Issue 2008)

年 2 回発行の処方用医薬品集。MIMS 薬物分類順に配列。製品情報の簡潔な重要事項、妊娠等級分類 (US FDA) を記載。会社住所録、成分名及商品名索引等。詳細な情報は Annual 版で確認すること。(英語、繁体中国語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

新編 中薬大辞典

(新文豊出版公司)

1970

中薬 (漢方薬) の辞典で、上中下と附編の 4 分冊。(繁体中国語)

台湾醫療藥品彙編

(中華景康藥學基金會)
1996

台湾の「PDR」ともいべきもので、英名「Formosa Drug References」。(英文交じり繁体中国語)

Thailand (タイ)

MIMS Annual Thailand

(CMP United usiness MediaB)
1997, 2002, 2004, 17 版 (2005)

「MIMS Annual」シリーズのタイ版で、1988 年初版。処方用医薬品集。製剤識別写真、会社住所録、一般名・商品名索引、詳細な製品情報等を収載 (英語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

MIMS Thailand・TIMS

(CMPMedica)
Vol.32 No.1 (2003)

107th Ed (2nd Issue 2007), 108th Ed (3rd Issue 2007) + 年 3 回発行の「MIMS」タイ版、新規収載品、製品情報の重要事項を簡潔に記載 (MIMS 分類配列) し、US FDA Preg Cat を記載。会社住所録、一般名・商品名索引など。詳細な情報は Annual 版で確認すること。(英語)

http://www.mimsonline.com/mims_cd.aspx

MIMS Medex Thailand

(Medi Media)
97 年版

医師、病院管理者、地区長と保健衛生専門家用の医療用具、器具、システム、診断キット等のカタログ集。(英語、一部インドネシア語併記)

Turky (トルコ)

Vademecum Modern İlaç Rehberi

(Riza Ommaty - Matsa Basimevi)
2004

イタリア、スペインの「Vademecum」とはイメージの異なる 11cm × 24cm のレンガ型医薬品集。(トルコ語)

United Kingdom (イギリス)

ABPI: Compendium of Data Sheets and Summaries of Product Characteristics

1976, 1977, 1979/80, 1980/81-1981/82, 1983/84-1986/87, 1988/89-1991/92, 1993/94-1996/97, 1998/99
1999/2000, 2002

以後 → 『Medicines Compendium』

ABPI: Compendium of Patient Information Leaflets

(Datapharm Pub. Ltd.)
1999-2000 (1999 初版)

イギリス製薬協 (ABPI) が、加盟会社の責任で作った患者用添付文書集で、製品に添付されるリーフレット (Medicines Control Agency (MCA) : Guidance for the Pharmaceutical

Industry on the Labelling and Leaflet Regulations, August 1993) の最新版でもある。(英語)

BNF: British National Formulary

(The Pharmaceutical Press)

1 (1981) -29 (1995), 33 (1997) -54 (2007) + イギリス医学会と薬学会の共同編集の薬価付き医療用医薬品集。年 2 回 3 月、9 月に発刊される。(英語)

<http://bnf.org>

Medicines Compendium

(Datapharm Communications Ltd.)
2002 - 2007 +

旧名『ABPI: Compendium of Data Sheets and Summaries of Product Characteristics』から 2003 年に書名変更し、年刊となった。イギリスの製薬協が各社の責任で作成した医薬品集。詳細な製品情報、会社住所録、新規収載医薬品一覧等を収載。(英語)

<http://emc.medicines.org.uk/>

MIMS: Monthly Index of Medical Specialities

(Haymarket Publishing Service Ltd.)
1996 - 2007 +

一般臨床実務者向けに企業から提供される情報を独自に簡潔に編集したコンパクトな月刊の医薬品集。新製品の動向、変更情報、薬価がわかる。(英語)

<http://www.mims.co.uk>

OTC Directory

(PAGB)

98/99, 2005/2006 (2005)

イギリスにおける処方薬を除く入手可能な OTC 薬をカラー写真付きで紹介する、医療関係者のほか一般消費者のセルフメディケーション用にも対応できる小売値付きの本で、イギリス大衆薬工業協会 (PAGB) が編集発行。(英語)

United State of America (アメリカ合衆国)

AARP Prescription Drug Handbook

(HarperCollins Publishers)
2 版 (1992) //

AARP (American Association of Retired Persons) が専門家 20 余名の監修のもとまとめた 50 歳以上に繁用される医薬品ハンドブックで、中高齢患者用にわかりやすく書かれている。(英語)

AHFS Drug Information

(Am. Soc. of Health-System Pharmacists, Inc.)
1992 - 95, 1999 - 2004, 2006, 2007 +

AHFS (American Hospital Formulary Service) 編集、アメリカヘルスシステム薬剤師会 (旧アメリカ病院薬剤師会) 発行の年刊医薬品集。各薬効群のはじめに該当薬物群が一覧となっており、薬物群ごとに詳細な説明が記載されている (英語)

<http://www.ashp.org/ahfs/index.cfm>

AMA Drug Evaluations

(American Medical Association)

1-6 版 (1971, 1973, 1977, 1980, 1983, 1986)

Subscription 版 (シート差替 1990 - 1994)
Annual 版 1995// 以後 USP DI に引継ぎ廃刊
アメリカ医師会の編集で 1971 年創刊。「USP DI」に内容の反
映が引き継がれ、現在は発刊されていない。
(「USP DI」1996-1998 の Foreword 参照)。(英語)

The Complete German Commission E Monographs

(American Botanical Council)
1999
1978 年ドイツ政府が Commission E を設立、生薬・ハーブの
有効性・安全性を評価・公表した。(英語)

Complete Guide to Prescription & Non-prescription Drugs

(The Body Press / Perigee Books)
1995
1983 年創刊。1987 年以降年刊。アメリカとカナダの処方薬
及び非処方薬 5,000 商品 (700 一般名) 以上を掲載。(英語)

Drug Facts and Comparisons

(Facts and Comparisons)
2001-2007 +
1946 年創刊のアメリカの新薬医薬品集。10,000 品目以上の処
方薬、3,000 品目以上の OTC 薬が掲載され、一部カナダの医薬
品も含む。(英語)

Drug Information Handbook

(Lexi-Comp)
11 版 (2003)
アメリカ、カナダの医薬品を掲載した辞書型の医薬品集。(英
語)

The Essential Guide to Nonprescription Drugs

(HarperCollins Publishers)
1 版 (1983)
次記「The Essential Guide to Prescription Drugs」の非処方薬版。
(英語)

The Essential Guide to Prescription Drugs

(HarperCollins Publishers)
13 版 (1995)
アメリカ、カナダで使用される主要処方薬 300 余と 20 の慢性
疾患における薬物使用の必須な情報を盛り込んだ医薬品集。(英
語)

First Data Bank Blue Book

(The Hearst Corp.)
1973, 1985/86, 1987/88, 1992/93, 1994, 1995
アメリカの 1,200 以上の製薬会社が提供した資料に基づいて
作成された約 200,000 品目の価格表。表紙が青色で略称「Blue
Book」。A~L まで 12 章に分かれて記載。(英語)

Handbook of Clinical Drug Data

(Appleton & Lange)
1997-1998
処方用医薬品ハンドブック。(英語)

Index of Prescription Drugs

(Williams & Wilkins)
1998
処方用医薬品ハンドブック。(英語)

PDR Generics

(Medical Economics)
1 版 (1995), 3 版 (1997), 4 版 (1998) //
「PDR (Physicians' Desk Reference)」の一般名版。32,000 品
目余の処方薬を掲載。

PDR for Herbal Medicines

(Medical Economics → Thomson PDR)
1 版 (1998), 2 版 (2000)
「PDR」シリーズの薬用植物 (生薬) 編。民間で急速に普及し
ているハーブの適正使用のために、700 品目以上の生薬を取り
上げ、解説した。(英語)

ASHP's Pharmacist's Drug Handbook

(Springhouse)
2001 年版
「AHFS Drug Information」同様にアメリカヘルスシステム薬
剤師会と Springhouse の共同出版物。一般名で 780 以上、商品
名で 2,000 以上を 39 薬効の他、一般名のアルファベット順に記
載。(英語)

Physicians' Desk Reference (PDR)

(Thomson Healthcare)
1970 - 62 版 (2008) +
半世紀以上の歴史を持つアメリカの代表的な医薬品で略称
「PDR」。250 以上の製薬企業から供される添付文書集で、4,000
以上の医療用医薬品が収められている。企業名ごとに製品情報を
掲載。販売会社名と住所、改訂 (作成) 年月なども記載されている。
(英語)

Physicians' Desk Reference Companion Guide

(Medical Economics → Thomson PDR)
1994 - 2001 (55 版)
旧名「PDR GUIDE」、52 版から現在名になった「PDR」を有効
に使うための資料。(英語)

Physicians' Desk Reference for Nonprescription Drugs, Dietary Supplements, and Herbs

(Thomson PDR)
1 版 (1980) - 28 版 (2007) +
「PDR」の一般薬編でスタートしたが、1999 年版からサブ
リメント、ビタミン剤、ハーブ療法も取り上げ、2006 年から
は上記書名に変更された。旧名: Physicians' Desk Reference for
Nonprescription Drugs and Dietary Supplements (英語)

Physicians' Desk Reference for Ophthalmic Medicines

(Thomson PDR)
14 版 (1986) - 30 版 (2002) (1990, 2000 欠)
「PDR」の眼科編で、2001 年版で旧名「Physicians' Desk Refer
ence for Ophthalmology」から改称。眼科用医薬品、器具の情報
を取り上げ、全 9 章と各州の中毒センターのページで構成さ
れる。(英語)

Prescription & Over-the Counter Drugs

(Reader's Digest)

1 版 (1998)

アメリカの市販医薬品 (処方薬、OTC) を一般消費者にも分かりやすくまとめた医薬品集。(英語)

Red Book Pharmacy's Fundamental Reference

(Thomson healthcare)

1974 - 2007 +

赤い表紙で1世紀以上発刊を続けているアメリカの医薬品 (処方箋用薬・OTC) と医薬部外品・医療用具等 160,000 以上を取り上げた年刊価格表 (平均卸価格・直販価格、OTC 薬は推定小売価格)。(英語)

処方医薬品情報事典 (PDR 日本語編纂版)

(産業調査会)

1 版 (1999)

「Physicians' Desk Reference (PDR)」の1995年版から日本で繁用されている主な医薬品を抜粋し、1998年版追補Bの情報を追加した251品目を翻訳している。

「PDR」と大きく異なる点は、①薬効分類番号順記載、②一般名和名表題で、欧文一般名、PDRの商品名・会社名と代表的日本の商品名を付記などで、本文内容はそのままである。

USP DI

(Thomson Micromedex)

11 版 (1991) - 27 版 (2007) //

1980年 USP Convention の主導で、アメリカ薬局方「USP」収載医薬品や製剤について、薬剤師等が活用できる調剤情報を「USP Dispensing Information」の名称で発行されたが、2005年版から Vol. I 及び II は Thomson Micromedex 独自の編集になった3分冊の医薬品情報集となった。USP 収載医薬品を中心に、アメリカ及びカナダで調剤される医薬品を記載。27版で冊子体の発行は中止となった。(英語)

Uruguay (ウルグアイ)

P.R. Vademécum (Uruguay)

(Noritel S.A.)

4 版 (2001)

ウルグアイの医薬品便覧。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

Venezuela (ベネズエラ)

P.R. Vademécum (Venezuela)

(G.E.I. S.A.)

4 版 (2002)

ベネズエラの医薬品便覧。(スペイン語)

<http://www.prvademecum.com/default.asp>

Vietnam (ベトナム)

MIMS Annual Vietnam

(Medi Media)

97/98 年版 (5 版)

「MIMS」シリーズのベトナム版で、処方用医薬品 1,800 以上

を収載する年刊医薬品集。(英語、一部ベトナム語)

MIMS Vietnam

(CMPMedica Asia Pte Ltd)

23rd Ed (1st Issue 2005), 25th Ed (3rd Issue 2005)

31st Ed (3rd Issue 2007) +

「MIMS」シリーズのベトナム版、1970年初版。3月、7月、12月の年3回発行の医療用医薬品集。新規収載品、MIMS分類順に重要事項を簡潔にまとめた製品情報、会社別製品一覧、一般名・商品名索引等を収載。詳細な情報は VIDAL VIET NUM を参照すること。(ベトナム語、一部英語)

<http://www.mims.com/index.aspx>

ViDAL VIETNAM

(CMPMedica)

2007

製剤識別写真 (コード)、会社別製品一覧、一般名・商品名索引、詳細な製品情報、一般名別モノグラフ (適応、用量、禁忌、注意、副作用、相互作用)、臨床情報、会社別製品一覧等を掲載。(ベトナム語、一部英語)

Vietnam Essential Drug List

(Ministry of Health - Medical Publishing House)

4 版 (1999)

前半はベトナム語、後半を英語で記述されたベトナム版「必須医薬品リスト」。(ベトナム語、英語)

世界の公定書 (薬局方・薬局方外規格等)

International (国際)

Asian Crude Drugs, Their Preparations and Specifications Asian Pharmacopoeia

(FAPA)

1 版 (1978)

アジア薬学会 (FAPA; Federation of Asian Pharmaceutical Associations) のメンバー国間の医薬品商取引に用いられる標準書为目标に作成された。メンバー国で常用している170の生薬とその単味製剤を取り上げている。初版以後発行されていない。(英語)

European Pharmacopoeia

(Council of Europe)

1 版 (1969), 2 版 (1980)

3 版 (1997), 追補 (1998-2001)

4 版 (2002), 追補 (4.1-4.8) (2003)

5 版 (2005), 追補 (5.1-5.8)

6 版 (2007), 追補 (6.1) +

6 版は2007年7月16日発行で2008年1月発効。追補は2007年から発行され2009年までに6.7まで発行される予定。(英語)

The International Pharmacopoeia

(WHO)

2 版 (1967), 追補 (1971), 3 版 Vol.1 (1979)
Vol.2 (1981), Vol.3 (1988), Vol.4 (1994)
Vol.5 (2003), 4 版 (2006)

WHO が国際的健康プログラムの一環として医薬品の品質基準や分析法をまとめた薬局方。一般的な薬局方とは異なり、法的な拘束力はない。(英語)

[http://www.who.int/medicines/publications/
pharmacopoeia/en/](http://www.who.int/medicines/publications/pharmacopoeia/en/)

Pharmacopoea Nordica

(NYT Nordisk Forlag Arnold busck)

1963 (2 版) Vol.1-4, - 1975Addendum//
スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドの 4
カ国が共同で作った 1948 年初版の「北欧薬局方」。(デンマーク
語)

Pharmeuropa

The European Pharmacopoeia Forum

(Council of Europe)

1989 - 2007 +

ヨーロッパ薬局方全般に関する季刊ニュース誌で、モノグラ
フ案、関連 ICH の動き、ヨーロッパ薬局方医薬品モノグラフの
同一確認等、が取り上げられる。(英語)

Austria (オーストリア)

Österreichisches Arzneibuch

(Österreichischen Staatsdruckerei)

10 版 (1981)

オーストリア薬局方。B5 判ルーズリーフ式 2 分冊。(ドイツ語)

Belgium (ベルギー)

Pharmacopée Belge

(OIL)

5 版 (1962) vol. I ~ III, Addendam (1966, 1974)
ベルギー薬局方。(フランス語)

Brazil (ブラジル)

Farmacopéia Brasileira

(Atheneu Editora, Organização Andrei Editora)

3 版 (Andrei 版 1977)

4 版 (Atheneu 版 1 部 1988, 2 部 1996)

ブラジル薬局方。(ポルトガル語)

Farmacopéia Homeopática Brasileira

(Atheneu Editora)

2 版 (1 部 1997)

ブラジルホメオパチー薬局方。(ポルトガル語)

China (中華人民共和国)

中華人民共和国薬典

(廣東科技出版社 / 化学工業出版社)

1 届 (1953), 2 届 (1963), 3 届 (1977)

4 届 (1985) - 2005 年版 (2005)

中華人民共和国衛生部薬典委員会編集の薬局方で 4 届以降 5
年ごとに発行。(中国語)

Pharmacopoeia of the People's Republic of China

(Guangdong Science and Technology Press)

1992

「中華人民共和国薬典」の英文版。(英語)

France (フランス)

Pharmacopée Française

(Maisonneuve)

8 版 (1965), Suppl. (1968), 9 版 (1972)

10 版 (1982), Suppl. (1985 - 1996)

フランス薬局方。「EP」とも整合を図り、EP 収載品には☆環
印をつけている。(フランス語)

Germany (ドイツ)

Deutscher Arzneimittel-Codex

(GOVI-Verlag・Pharmazeutischer Verlag GmbH)

→ 「Deutscher Arzneimittel-Codex/ Neues Rezeptur-Formularium」
2004

Deutscher Arzneimittel-Codex・ eues Rezeptur-Formularium

(GOVI-Verlag・Pharmazeutischer Verlag GmbH)

1986 +

ドイツの医薬品の基準書。「ドイツ薬局方外規格 (DAC)」と「新
処方フォーミュラリ (NRF)」。加除式。ドイツ薬剤師会編集。(ド
イツ語)

[http://www.pharmazeutische-zeitung.de/
index.php?id=dacn](http://www.pharmazeutische-zeitung.de/index.php?id=dacn)

Deutsches Arzneibuch

(Deutscher Apotheker Verlag)

7 版 (1968) - 9 版 (1986) 追補 (1989), 1991 +

ドイツ薬局方。「ホメオパチー医薬品規格」とともに「薬局方」
の一部として政府から発行される。加除式。(ドイツ語)

DAB - Kommentar

(Wissenschaftliche Verlag)

8 版 (1978), 9 版 (1986) 3vol.

「ドイツ薬局方」の解説書。(ドイツ語)

Homöopathisches Arzneibuch

(Deutscher Apotheker Verlag)

1 版 (1978), 追補 1 (1978) - 5 (1991)

「ドイツホメオパチー医薬品規格」で、「ドイツ薬局方」(略称:
DAB) とセットでドイツの「薬局方」となる。(ドイツ語)

Neues Rezeptur-Formularium

(GOVI-Verlag・Pharmazeutischer Verlag GmbH)

→ 「Deutscher Arzneimittel-Codex/ Neues Rezeptur-Formularium」
2003

Hungary (ハンガリー)

Hungarian Pharmacopoeia

(Akadémiai Kiadó)
6 版 (1970)

ハンガリー薬局方。(英語)

India (インド)

Pharmacopoeia of India

(The Manager of Publication)
1966 (2 版)

1946 年統治国イギリスの「BP Supplement」として発行されているが、「インド薬局方」としては 1955 年初版。(英語)

Italy (イタリア)

Farmacopea Ufficiale della Repubblica Italiana

(Istituto Poligrafico e Zecca dello Stato)
9 版 (1985)

イタリア薬局方。「EP」とも整合を図っている。(イタリア語)

Japan (日本)

放射性医薬品基準ハンドブック

(日本アイソトープ協会)
4 版 (1992)、5 版 (1997)

昭和 34 年厚生省から告示、以後回数改訂されている「放射性医薬品基準」をまとめたハンドブック。

法定色素ハンドブック

(日本化粧品工業連合会 - 薬事日報社)
改訂版 (2004)

平成 15 年に「医薬品等に使用できるタール色素を定める省令の一部改正」が公布され、これを反映したもの。

医薬部外品原料規格

(薬事日報社)

1 版 (1991)、追補 (I ;1993, II ;1998)、2006

医薬品と化粧品の間位置付けられる医薬部外品の製造基準に含まれる成分で、公定書(化粧品原料基準、日本薬局方、食品添加物公定書及び日本工業規格)に記載されていない成分についての規格を定めたもので、公定書協会編集・厚生省監修である。

医薬品添加物規格

(薬事日報社)

1993 - 2003、追補

医薬品添加物について、その本質、性状、品質及び貯法等に関する基準を定めたもので、医薬品添加物の適否は通則、一般試験法、各条の規定により判定される。性状中において、味他は参考情報で、判定基準にはならない。1993 年、「日本薬局方外成分規格」の第二部(添加物)を分離独立させたもので、以後、5 年毎に発行。

The Japanese Pharmaceutical Codex

(じほう)

1991 (1 版)、1993、1997 (3 版)

「日本薬局方外医薬品規格」の英文版。当初、「The Japanese

Standards of Pharmaceutical Ingredients」として発刊されたが、添加物については「医薬品添加物規格」に分離した。(英語)

Japanese Pharmaceutical Excipients

(薬事日報社)

1993、追補 (1994、1996、1998)、2004

「医薬品添加物規格」の英文版。旧名「Japanese Standards of Pharmaceutical Ingredients」。日本医薬品添加剤協会編集。まえがき、通則、一般試験法、医薬品添加物各条の解説。前版に 44 品目追加、31 品目改訂、1 品目削除で、総 479 品目収載。和文 2003 年版に対応。

The Japanese Pharmacopoeia

(厚生労働省)

8th ed. (1971) ~ 11th ed. (1986)

Supplement (1988)

12th ed. (1991), Supplement 1-2 (1993-1995)

13th ed. (1996), Supplement 1-2 (1998-2000)

14th ed. (2002), Supplement 1-2 (2003-2006)

15th ed. (2006)

「日本薬局方」の英文版。

<http://www.nihs.go.jp/DCBI/kyokuhou.html>

The Japanese Standards for Herbal Medicine —日本の生薬規格—

(薬事日報社)

1993

「日本生薬規格」ともいふべきもので、「日本薬局方」収載生薬 165 品目及び「日本薬局方外生薬規格」の 83 品目の合計 248 品目の生薬を対象にしたもの。(英語)

The Japanese Standards of Cosmetic Ingredients

(薬事日報社)

2 版 (1985)、追補 (1986) //

「化粧品原料基準」の英文版。

The Japanese Standards of Food Additives

(日本食品添加物協会)

5 版 (1986)

「食品添加物公定書」の英文版。

Japan's Specifications and Standards for Food Additives <The Ministry of Health and Welfare>

(日本食品添加物協会)

7 版 (2000)

「食品添加物公定書」7 版の英文版。

JIS ハンドブック 試薬

(日本規格協会)

1998、2003

日本工業規格 (JIS) は工業標準化法に基づいて制定される国家規格として生産におけるコスト低減、取り引きの単純公正化、使用・消費の合理化に重要な役割を果たしている。5 年以内ごとに見直しが行われる。このハンドブックは JIS の中にある試薬に関するものを、2002 年 11 月末現在でまとめたもの。

JP Hb 日本薬局方ハンドブック

(じほう)
1995, 1996

日本薬局方研究会編集。「第13改正日本薬局方」の作成上の基本方針の一つ「医薬品情報の供給等日本薬局方に係る情報伝達方策の整備」を進めるため、「JP TI」の姉妹編として作成された。

JP TI 日本薬局方技術情報

(じほう)
1995 (1版), 1996, 1998, 2001, 2006

「日本薬局方」に記載されている規格と試験法に関する技術的な留意事項をまとめたもので、日本公定書協会が編集。

化粧品原料基準

(薬事日報社)

2版追補(1985), 追補II(1991), 新訂版(1999) // 次記「化粧品原料基準注解」の基準部分だけ。592品目収載。欧文版は「The Japanese Standards of Cosmetic Ingredients」として別出。

平成13年3月31日で廃止され、「化粧品種別配合成分規格」と共に通則及び一般試験法等も含め、「医薬部外品原料規格」に収載。

化粧品原料基準注解

(薬事日報社)

1版(1968), 追補(1970), 追補II(1973)
2版I・II(1984) //

薬事法の規定に基づいた化粧品の品質確保のための原料基準で、厚生省が監修。

化粧品種別配合成分規格

(薬事日報社)

1997, 追補I(1998) //

平成5年10月1日厚生省薬務局審査課通知として出され、4回改正されている。内容は一般試験法、化粧品原料各条(追補Iを含め1,951)、付録、索引で構成される。旧名「化粧品原料基準外成分規格」。

化粧品種別許可基準

(薬事日報社)

1986, 1998, 1999

厚生省医薬安全局審査研究会監修。昭和61年から6年間で化粧品種別許可基準が制定され、毎年追加・見直しを実施されている。平成11年の第11次までに追加見直しされた、この基準に該当する成分は化粧品原料基準581成分、化粧品種別配合成分規格2,000成分、日本薬局方84成分、食品添加物公定書116成分、政府所定変性アルコール10成分、法定色素規格89成分、香料1成分の合計2,881成分である。

(The Minimum) Requirements for Antibiotic Products of Japan

(じほう)
1986, 1993//

「日本抗生物質医薬品基準」の英文版。「日本抗生物質医薬品基準」が平成14年12月31日限りで廃止されたため、廃止。

Minimum Requirements for Biological Products

(細菌製剤協会)
1982, 1986

「生物学的製剤基準」の英文版。

日本抗生物質医薬品基準解説

(じほう)

1982(2版), 1986, 1990, 1993, 1998(4版) // 「日本抗生物質医薬品基準」が平成14年12月31日限りで廃止されたため、廃止。

日本薬局方

(厚生労働省)

第7改正(1961) - 第14改正(2001)

第14改正追補(第一2003, 第二2004)

第15改正(2006), 第15改正第一追補(2007)

厚生省告示により発表される公式薬局方。

<http://www.nihs.go.jp/DCBI/kyokuhou.html>

日本薬局方フォーラム

(日本公定書協会)

1992 - 2007 +

平成4年1月、薬局方の改定に係る中央薬事審議会・日本薬局方部会の委員会活動計画と主要な改正予定の内容などを広く内外に提供し、薬局方の科学的妥当性と合理性を高めるために、広く意見を求めることを目的としている。年4回発行。

日本薬局方外医薬品規格

(じほう)

1993(追補1994), 1997, 2002年版

第1部(医薬品有効成分)

第2部(医薬品製剤)

第3部(医薬品製剤の溶出性)

第4部(抗生物質医薬品)

「日本薬局方」に収載されていない医薬品有効成分、医薬品添加物の品質確保及び審査業務の簡素化、明確化を図ることを目的に当初「日本薬局方外成分規格」として作成されたが、1993年版から「日本薬局方外医薬品規格」と「医薬品添加物規格」に分割されて名称変更された。

日本薬局方外生薬規格

(薬事日報社)

1978(1版), 1989, 1989追補

厚生省監修。局方に収載されていないが繁用されている生薬について品質規格を見直し、承認業務の簡略化を図ったもの。

日本薬局方解説書

(廣川書店)

第8改正(1971), 第9改正(1976)

第10改正(1981), 第12改正(1991)

第13改正(1996), 追補: 第1(1998), 第2(1999)

第14改正(2001) <4分冊>, 第一追補(2003)

第15改正(2006) <5分冊>

8版では「注解」、9版から「解説書」になった。第一部関連が3冊、第二部関連が1冊の4分冊。

3 極薬局方の一般試験法の比較

—日本薬局方を中心として—

(大阪医薬品協会、東京医薬品工業協会)
1998

「第十三改正日本薬局方」第一追補までの一般試験法を中心に、「USP23」第5追補まで、「EP 3ed.」の比較を行ったもの。1992年の「世界三大薬局方と日本薬局方との比較研究—主要な一般試験法の要旨比較—」の改訂版。ICH（日米欧医薬品規制調和国際会議）やPDG（薬局方調和会議）で医薬品の品質に関する国際調和作業が進められており、この成果が改正薬局方に盛り込まれている。現行の日本薬局方を中心とした主要な一般試験法の各薬局方との比較表である。

生物学的製剤基準

(細菌製剤協会)

1968,1971,1973,1979,1985,1985 追補

1986 (解説編),1989,1993, 解説編 2007 年版 (2007)

ワクチン類、血液製剤、インターフェロン等の生物学的製剤について、基本的製造法、品質試験の細部にわたる薬事法の規定に基づいて作成されている。内容は、前文、通則・血液製剤総則、医薬品各条、一般試験法、付録で構成される。欧文版は「Minimum Requirements for Biological Products」別出。

生物関連製剤ハンドブック

(じほう)

2004

平成15年の薬事法の改正によって「生物由来製品」という新しい定義ができ、その製品指定と関連基準が制定された「生物学的製剤基準」である。従来の基準が10年ぶりに改定され、「生物由来原料基準」に統合された原材料の選択基準に係る部分が削られ、製品各条に係る基準に再整理された。細菌製剤協会、血液製剤協会、日本赤十字社の3社の監修による。

食品添加物公定書

(日本食品衛生協会)

2版(1966), 3版(1974), 4版(1978), 7版(1999)
8版(2007)

食品添加物に関する公定書として昭和35年(1960年)に1版を公示以来、製造・品質管理技術の進展や分析技術の進歩に対応し改訂されている。8版では第7版以降の新規指定添加物30規格を新規収載。添加物の充実、科学技術の進歩を反映した新試験法を加え、また、国際的整合化が図られている。

食品添加物公定書解説書

(廣川書店)

3版(1973), 4版(1979), 5版(1987), 6版(1992)

前記「食品添加物公定書」の解説書で、全項目に「注」と「解説」がついている。「注」では、改正の要点または設定理由等が説明され、「解説」では、来歴、製法、用途、製剤中の分析、代謝、毒性に関するデータも示されている。

新食品添加物マニュアル

(日本食品添加物協会 2004)

2003年5月に制定された食品安全基本法を収載し、同時に改正された食品衛生法を反映した大幅な改訂を行ったことにより「新食品添加物マニュアル」となった。

体外診断用医薬品原料規格

(じほう)

1997

1977年「臨床診断用医薬品原料規格(診原規)」として出版され、厚生省から都道府県に通知されたものの復刻版。内容は、通則、一般試験法、薬品各条、酵素各条、参照赤外線吸収スペクトル、付録(原子量表、周期率表)、英名索引からなる。

Korea (大韓民国)

The Korea Pharmacopoeia

(大韓公定書協会)

7版(1997), 8版(2002)

1958年の初版以降、ほぼ5年ごとに改正版を出している「大韓薬典」、大韓民国保健福祉部作成。医薬品名に添えられた英文名以外すべてハングル。(ハングル)

Korean Pharmaceutical Codex

(薬業新聞社)

2版(1998)

1983年初版で、略称:KPCとして食品医薬品安全庁から公示。USP23、BP、日局13を参考にしている。(ハングル)

Netherlands (オランダ)

Nederlandse Farmacopee

(Staatsuitgeverij)

8th ed. (1978) — 9th ed. (1983), 追補 1992

「オランダ薬局方」であるが「EP」を受け入れている。B5判ルーズリーフ式5分冊。(英語、一部オランダ語)

Philippines (フィリピン)

Philippine Pharmacopoeia

(Republic of the Philippines, Department of Health, Bureau of Food and Drugs)

1版(2004)

日本のJICAを通して日本政府の協力を得てできたフィリピン薬局方。(英語)

Russian Federation (ロシア連邦)

Государственная Фармакопея ССР

(Издательство Медицина)

11版1部(1987), 2部(1990)

旧「ソ連邦薬局方」。(ロシア語)

Switzerland (スイス)

Pharmacopoea Helvetica

(Swissmedic)

6版(1971), 7版(1987)・追補, 9版(2003)・追補 9.3 1865年初版の「スイス薬局方」。ドイツ同様に「EP」以外のものだけを収載しているため、「EP」もみる必要がある。(ドイツ語)

Taiwan (台湾)

中華藥典

(台北行政院衛生署)

2版(1959), 3版(1980)

1930年初版の台湾薬局方。(中国語)

Thailand (タイ)

Thai Herbal Pharmacopoeia

(タイ保健省医科学局)
Vol. I (1998)

タイの植物を中心とした本草薬局方。66種の生薬を対象に Vol. I には11のモノグラフを含むが、Vol. II については作業中である。タイの生薬の品質確保により商取引や国際的認知を得ることを目的にしている。(英語)

Thai Pharmacopoeia

(タイ保健省医科学局)
Vol. I (1987), Vol. I part 2 (1993), 追補 (1996)
Vol. II Part 1 (1997)

タイの薬局方。いわゆる医薬品の規格基準の他に適応、安全性(禁忌、警告・使用上の注意等)の臨床情報もあり、医学/薬学/コメディカルに使用されている。(英語)

United Kingdom (イギリス)

British Pharmacopoeia

(The Stationary Office)
1968 (11版) — Addendum ('69;'71)
1973 (12版) — Addendum (1975;'77;'78)
1980 (13版) vol. I II
— Addendum ('81;'82;'83;'86)
1988 (14版) vol. I II
— Addendum ('89;'90;'91;'92)
1993 (15版) vol. I, II
— Addendum ('94;'95;'96)
1998 (16版) — 1999 (17版) vol. I, II, Vet. CD
— Amendments No.1-2 ('99-2000)
2005 (vol. I ~IV, CD) (2005)
British Pharmacopoeia Veterinary
1977, 1985,- Addendum ('95;'96)
Amendments3 1998, 1999

イギリス薬局。1998年版から年刊になった。政府に属する BP Commission が拘わり、MHRA に代わって TSO (The stationary Office) から発行。1867年初版。(英語)

The Pharmaceutical Codex

(The Pharmaceutical Press)
1968, Suppl ('71), 1973, Suppl ('76)
11版 (1979), 12版 (1994)

1907年イギリス薬局方収載医薬品の作用や用法の情報を補完するために「The British Pharmaceutical Codex」として作成され、1979年版(11版)でイギリス薬局方から独立し、現在の書名に変更された。1980年「Principles and Practice of Pharmaceutics」のサブタイトルつきで、調剤の原則と実践のための書籍となった。イギリス薬剤師会編集。(英語)

United States of America (アメリカ合衆国)

Food Chemicals Codex

(National Academy Press)
3版 (1981), 4版 (1996), Suppl.2 (2000), Suppl.3 (2001)
National Academy of Science の医薬品研究所食品栄養局で編集した食品添加化学物質(食品添加物、GRAS物質;一般に安全と認められる物質、その他)についての準公定書。(英語)

Pharmacopoeial Forum

(US Pharmacopoeial Convention)
1982 - 2007 +

「USP」と「NF」についての公開論評、コメント、新提案を US Convention で審議後、改正案として隔月に冊子として公表するもの。(英語)

USP — NF

United States Pharmacopoeia / National Formulary

(USP Convention)
1970 - 2007 (USP:18 - 31/ NF: 13-26) +
「アメリカ薬局方 (USP)」はアメリカ公定書協会 (USP Convention) により1820年創刊、1900年から USP Convention は公益法人組織化された。追補情報については既刊情報に累積更新される。(英語)

<http://www.usp.org/>

Yugoslavia (ユーゴスラビア)

Pharmacopoeja SFRJ

(Izdanje Savezoda za Zdravstvenu Zastitu)
6版 (1984)

「ユーゴスラビア薬局方」で別に「Pharmacopoea Jugoslavica」とも表記される。1933年、旧ユーゴスラビア時代に「セルビア薬局方」と「クロアチアスラボニア薬局方」を統合してできた。(セルビア語)

治験薬情報

治験医歯薬情報

(医事出版社)
No.1 (1970年版) 1971 - No.37 (2006年版) +
過去1年間に国内雑誌約180誌に発表された新薬の文献を収録している。臨床治験以前の基礎段階、研究段階のものまでも含めている。年刊。

Drugs of the Future

(Prous Science)
29 (2004) +
世界各国で研究開発中の Phase I から上市までの新薬についての情報を提供している月刊誌。

New Current

(シーマ・サイエンスジャーナル)
1 (1990) +
新薬研究開発の速報誌。月2~3回発行。国内外の450以上の雑誌、新聞、学会は研究会、シンポジウムも含めた150種などをデータソースに現在開発中の新薬に関する情報を雑誌発行・学会報告から3カ月以内に掲載している。

トライアルドラッグス最新治験薬集

(エルゼビア・ジャパン)
1991 - 2004/2005
日本国内で発行される学術雑誌および学会抄録集を情報源と

して、国内における Phase I から申請までの治験薬を収録しまとめたもの。年刊。

医薬品等の一般的名称に関する資料

BAN : British Approved Names

(British Pharmacopoeia Commission)

1981,1986 (Suppl.1-8), 1990 (Suppl.1-8)

1994 (Suppl.1-4), 1997 (Suppl.1-4)

英国薬局方委員会から出版される英国医薬品の一般的名称集。2,743 の名称が記載されている。

International Nonproprietary Names (INN) for Pharmaceutical Substances

(WHO)

No.6 (1982), No.7 (1988), No.8 (1992), No.9 (1996)

< No.10 (2002) CDROM 版 >

International Nonproprietary Names(INN) の Cumulative List。INN は医療の安全上、また情報の伝達からも医薬品の名称は世界的に統一されていることが望ましいという主旨で、世界保健機関 (WHO) によって制定された登録商標などの所有権を持たない世界的に共通して使用できる国際一般 (的) 名称のことである。

<http://www.who.int/medicines/services/inn/en/>

医薬品一般名称辞典— JAN Japanese Accepted Names for Pharmaceuticals

(薬事日報社)

1992,1996

医薬品名称調査会が定めた日本の一般名 (JAN) を中心に、公的な名称を含む医薬品の一般的名称集。

<http://moldb.nihs.go.jp/jan/>

15107 の化学商品

(化学工業日報社)

2007

経済産業省が化審法「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく化学物質名簿を中心に 15,107 品目を収載。年刊ではあるが、毎年増える品目数をタイトルにしている。

日本化粧品成分表示名称事典 Japanese Cosmetic Labelling Name Dictionary

(薬事日報社)

初版 (2001) — 2 版 (2005)

日本化粧品工業連合会が約 2,800 の化粧品原料について、成分表示名称、種別名称、成分の定義・機能、INCI 名 (国際化粧品成分命名法; International Nomenclature of Cosmetic Ingredient による名称) を 50 音順に整理した本編と、付録 (表示名称リスト、INCI 名—表示名称対応一覧、種別名称—表示名称対応一覧、化粧品基準と関連する欧米の規制原料比較表、INCI 名索引) の 2 分冊。

USP Dictionary of USAN and International Drug Names

(USP Convention, Inc.)

1995-2007 (43 版) +

USAN (United States Adopted Names) は米国の医薬品の一般的名称。

USAN のプログラムが開始された 1961 年 6 月 15 日から 2007 年 1 月 31 日までを累積しており、医薬品の一般名 10,193 がリストされている。この中には 3,584 の商品名、399 の NSC No. を含むコード名 4,697、11,103 の CAS 登録番号、8,059 の構造式、4,228 の USAN が含まれている。また WHO が INN をスタートした 1953 年から 2006 年までの INN や BAN、JAN ついて、USP や NF 収載名と異なる場合に記載されている。本書中の名称は引き続き統一化が強化される。1999 年は発行されていない。(英語)

商品名・同義語集

American Drug Index

(Facts and Comparisons)

1970-2008 +

年刊の医薬品名事典で、医薬品の一般名、商品名、化学名等をアルファベット順に配列し一般名、化学名から商品名へ相互参照できるようにまとめられている。(英語)

European Drug Index

(Deutscher Apotheker Verlag)

2 版 (1992), 4 版 (1997)

ヨーロッパ 23 カ国の市場で入手できる製品およびその有効成分をまとめた資料。商品名のアルファベット順に配列し、剤形(会社名、国名)、力価、用量、商品名、有効成分、ATC 分類、起原国コードを簡単に記載している。

Index Nominum — International Drug Directory

(Medpharm Scientific Publishers)

1992/1993 (1992), 16 版 (1995), 17 版 (2000), 18 版 (2004)

スイス薬学会編集の医薬品化合物の同義語集。世界 102 カ国の医薬品をカバーし、部分的収載を含めると 141 カ国の誘導体をも含めた 4,500 の薬物を収載。(英語)

Organic — Chemical Drugs and their Synonyms

(Akademie-Verlag)

7 版 (1994)

12,000 を超える化学的にユニークな薬品とその同義語 105,000 を収載している同義語集。

市販医薬品名総覧

(薬業時報社)

1975

JAPIC と日本製薬団体連合会の共編。昭和 49 年末現在の市販品約 37,000 品目を販売名の 50 音順に配列したもの。商品名、34 分類番号 (旧薬効分類番号)、会社名、医薬品コード (JAPIC 独自の 5 桁順番コード) がついている。

医薬関連分類・コード

日本標準商品分類

Standard Commodity Classification for Japan

(総務庁)

昭和 50 年 3 月改正、平成 2 年 6 月

昭和 25 年 (1950 年)、各種統計調査の基本となる商品の分類として設定。平成 2 年版は 5 回目の改訂で、主要な国際的商品分類「商品の名称及び分類に関する統一システム (HS)」を併記するなど、粗原料できなものから最終製造品的な商品の順に配列されている。

ATC : Anatomical Therapeutic Chemical Classification

(WHO Collaborating Centre)
1993

WHO が主導し、医薬品を解剖学的・治療の面から・化学的視野から分類したもので、現在、ノルウェーのコラボレーションセンターで統計を目的に分類し、コード付与している。大分類は A から V までであるが、E, I, K, O, Q, T, U 分類はない。(フランス語)

ATC Index With DDDs

(WHO Collaborating Centre)
2001, 追補 2002.11, 2003.11, 2004.11

前記『ATC』の DDDs (1 日規定投与量) 付き索引。次の二つのリストからなる。(英語)

<http://www.whocc.no/atcddd/>

Guidelines for ATC Classification and DDD Assignment

(WHO Collaborating Centre)
2001

前記『ATC』のガイドラインと『DDD』の指定について説明。2005 年 3 月現在、2005 年 1 月現在の最新 ATC、DDD、ATC/DDD が公表されている。(英語)

<http://www.whocc.no/>

☆医薬品コードについて

医薬品コードには次のコードが主に使われる。

1. 薬価基準収載医薬品コード (12 桁) : 「薬価コード」や「厚生省コード」と称されることがある。薬効分類 4 桁 (87 分類の 87 を除いた 4 桁) + 投与経路 3 桁 (内 / 注 / 外 / 歯科用の区分) + 剤形区分 1 桁 (アルファベット 1 文字) + 規格単位番号 1 桁 + 同一規格単位内の銘柄番号 2 桁 + チェックキャラクター数字 1 桁。
(例 ; ウインタミン錠 25mg の場合 1171001F2010)
2. YJ コード (12 桁) : 薬価基準薬価基準収載医薬品コードで表示されない、一般名収載医薬品についても商品名に関してもコード (10 桁、11 桁にユニークなコードを付与) を付加したものの。
(例 ; ウインタミン錠 25mg の場合 1171001F2037)
3. レセプト電算処理システム用厚生省コード (9 桁) : 略称「レ

セプトコード」。医療機関が医療保険の請求に際し、磁気媒体に記録することを目的にした 9 桁コード。

(例 ; ウインタミン錠 25mg の場合 611170714)

4. 医薬品標準マスターの基準番号 (13 桁) : 「HOT 番号」。「HOT 7 コード」は HOT 番号の先頭 7 桁部分 (処方用で薬価基準収載医薬品と対応)、HOT9 コードは HOT 番号の先頭 9 桁部分 (YJ コードと対応)、HOT13 コードは HOT 番号全 13 桁 (JAN コードと対応)。
HOT7 1012484 (塩酸クロルプロマジン錠全て)
HOT9 101248407 (ウインタミン錠 25mg)
HOT13 101248407101 (ウインタミン錠 25mg バラ)
5. 医薬品統一商品コード (9 桁) : 略称「統一商品コード」。医療機関向け受発注用。メーカーコード 3 桁 + 各企業独自の商品アイテムコード 5 桁 + チェックデジット 1 桁。次記の JAN コードの先頭 4 桁をとったもの。
(例 ; ウインタミン錠 25mg バラ 1000 錠の場合 8700528)
6. JAN コード (13 桁) : 4987 [国識別コード 2 桁 (日本「49」) + 医薬品業界特別付加コード 2 桁 (87)] + 統一商品コード 9 桁。
(例 ; ウインタミン錠 25mg バラ 1000 錠の場合 4987087000528)
7. 一般用医薬品コード (12 桁) : 先頭 3 桁 (87 分類の 87 を除いた 3 桁) + 剤形 1 桁 (アルファベット 1 文字) + 重複を避けるため 2 桁 (製造 00 ~ 69、輸入 70 ~ 89、輸出 90、外国承認 99) + 用途区分 1 桁 (A ~ D) + 承認番号 7 桁 (年ごと一連番号)。
(例 ; イブ A 錠の場合 114C00A00835)
8. 体外診断用医薬品コード (7 桁) : 先頭 3 桁 (検査項目が属する大分類コード) + 中分類 1 桁 (英文字) + 検査項目コード 2 桁 + R (放射性医薬品) または T (非放射性医薬品)。
(例 ; アルブミン検査用試薬の場合 742B03)
一部で「JAPIC コード」と呼ばれているコードは、正式には存在しません。「医薬品情報データベース」(JAMES ; MEDIS-DC と JAPIC の共同事業による医療用医薬品添付文書情報データベース) の管理番号 (7 桁数字) を過去の経緯から「JAPIC コード」と呼んでいるようです。
JAMES サポート情報 (www2.medis.or.jp/james/) には「管理番号検索」があり、商品名から検索できます。

医薬品コードに関する資料

医薬品コードブック

(薬事経済研究会—中和印刷)

1991, 1995, 2001, 2005, 2007

薬価基準収載医薬品について、薬価基準収載医薬品コードと包装単位、統一商品コードを対比させた医薬品コード一覧表。50 音順の会社別の表で、品名 (内 / 外 / 注、商品名)、会社名 (製造—販売)、規格・単位、薬価、包装単位、JAN コード、薬価コード。

IT に対応する 基準医薬品コードブック

(医療情報システム開発センター—じほう)

2001

サブタイトル「IT に対応する」と厚生労働省委託事業で設置された「用語・コード標準化委員会」の下部組織である「医薬品コード検討委員会」の成果物 (HOT 番号) を中心に他のコードとの対比を図った一覧表。

全体は内用薬、注射薬、外用薬、歯科用薬剤に大別して、そ

れぞれ販売名 / 規格単位 / 販売会社 / HOT9 / レセプトコード / 厚生省コード / YJ コードが一覧表示されている。

医療 IT 化と医薬品コード

(医療情報システム開発センター)
2000

他に、統一商品コード (9 桁)、JAN コード (13 桁) を紹介している。

一般用医薬品コード表

(中和印刷)
1999,2005

一般用医薬品コード表と銘柄品 (商品名) の五十音索引からなる。

コード表: 日本標準商品分類に準拠した薬効分類番号順に配列。コード / 品名 / (社名)。

品目索引: 五十音順の商品名 / (記載ページ)。

疾病分類・コードに関する資料

International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems ; ICD-10

(WHO)

1994,2004 (2 版 update 版)

WHO が国際的な疾病統計のために作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」で、3 巻。次記「疾病、傷害および死因統計分類提要」の原著ともいべきもの。2 版 update 版は、1998 ~ 2003 年間の訂正・追加されたもの。(英語)

疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 準拠

(厚生大臣官房統計情報部 - 厚生統計協会)

平成 7 年 4 月, 平成 17 年 10 月改正

第 1 巻 (総論): 前記「ICD-10 (2003 年版)」を日本で使用する「疾病、傷害及び死因分類」の解説書として作成された。導入の経緯、解説、ICD の使用法、コード付与ルールとガイドライン、統計的表、ICD の歴史、日本における死亡診断書等の様式、ICD-10 の 3 桁分類・特定製表用リスト、日本で使用する分類。

第 2 巻 (内容例示表): 使用上の注意として、凡例・使い方の説明。次いで分類番号順に太字で、疾病名、一段下げ細字で日本で必要と思われる傷病名が付記されている。平成 17 年 10 月改正分は「第 2 巻 内容表示例の新旧対照表」(35 ページ) のみ。

第 3 巻 (索引表): 解説 (内容、構成、コード番号、記号等) に続き、索引表として、第 1 編: 疾病及び傷害の性質の索引表、第 2 編: 外因の索引表、第 3 編: 薬物及び化学物質の索引表。

MEDIS 病名コード表 (五十音順)

(医療情報システム開発センター)

1993 年 11 月 (3 版)

ICD 9 改正に医療機関で使用している一般病名、医療用医薬品の承認・効果の用語を中心としたもの。医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) では以前、「SHIS 病名コード台帳」として SHIS (共同利用型病院情報システム) 入力用に病名コードを作成している。

<参考>

冊子以外の代表的な疾病・副作用等の用語集

1. Medical Dictionary for Regulatory Activities Terminology (MedDRA ; ICH 国際医薬用語集): 医薬品に関連する国際間の情報交換を迅速・的確に行うための共通用語集。SOC (器官別大分類)、HLGT (高位グループ用語)、HLT (高位語)、PT (基本語)、LLT (下層語) の 5 階層構造になっている。(例; 白色皮膚描記症の場合)

| | |
|------|-------------|
| SOC | 皮膚および皮下組織障害 |
| HLGT | 血管浮腫および蕁麻疹 |
| HLT | 蕁麻疹 (すべて) |
| PT | 皮膚描記症 |
| LLT | 白色皮膚描記症 |

2. Systematized Nomenclature of Medicine-Clinical Terms (SNOMED-CT): で、概念数 34 万。米国臨床病理医協会が作成した医療用語集の一つで、用語を複数の分類軸で表現している。軸は 12 ある。NLM (米国医学図書館) が作成している UMLS に含まれる予定。

(例; 結核製の肺肉芽腫で発熱している場合)

T-28000 (肺)、M-44060 (肉芽腫)、E-2001 (結核菌)、F-03003 (発熱)

| | |
|--|-----|
| 医薬品の安全性情報・感染症情報提供サービス | 98 |
| (1) JAPIC-Q (医薬文献・学会情報速報サービス) | |
| (2) JAPIC-Q Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス) | |
| (3) JAPIC-QX (JAPIC-Q エクストラサービス) | |
| (4) JAPIC-Q 遡及検索 (Q サービス登録検索式による遡及検索) | |
| (5) スポット Q (Q サービス登録検索式以外の検索) | |
| (6) JAPIC Daily Mail (JPM) (外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性措置情報) | |
| (7) JAPIC Daily Mail Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス) | |
| (8) JAPIC Weekly News (医療機関向け海外規制措置情報) | |
| (9) PubMed 代行検索 (生物由来製品の感染症情報に関する代行検索) | |
| (10) Regulations View Web 版 (海外規制情報米国編) | |
| 電子データ (添付文書／文献情報) | 101 |
| (1) 医療用医薬品添付文書情報データ | |
| (2) 一般用医薬品添付文書情報 | |
| (3) 添付文書記載病名データ | |
| (4) 医薬品名称データ | |
| (5) 剤形写真データ | |
| (6) JAPIC PIA (院内採用医薬品集作成システム) | |
| (7) JAPIC 辞書データ | |
| (8) 医療用医薬品添付文書 SGML データ「医薬品医療機器総合機構」 | |
| (9) 「JAPICDOC」CD-ROM データ (医薬文献情報データベース) | |
| JAPIC 作成の医薬品情報データベース | 102 |
| (1) iyakuSearch (医薬品情報データベース) | |
| (2) 医薬品類似名称検索サービス | |
| (3) 外部機関から提供している JAPIC データベース (JIP / JST) | |
| JAPIC 出版物・CD-ROM | 103 |
| 調査・医薬品相談 | 104 |
| JAPIC 附属図書館 文献複写 | 104 |

医薬品の安全性情報・感染症情報提供サービス

(1) JAPIC-Q (医薬文献・学会情報速報サービス)

(税込)

| 区 分 | 会 員 | | | 非 会 員 |
|-----------------------|------------------------|-----------|------------------------|------------------------|
| 基 本 料 金 | 525,000 円/年 | | | 1,050,000 円/年 |
| 登 録 手 数 料 (1 成分) | 10,500 円/年 | | | 21,000 円/年 |
| 検 索 料 金 (1 成分) | 525 円/回 | | | 1,050 円/回 |
| 提 供 方 法 | 紙媒体 | CD-ROM | 書誌・キーワード テキストCD-ROM | 紙媒体 |
| CD-ROM 作成料金 | ———— | 4,200 円/回 | 4,200 円/回 | ———— |
| 提 供 料 金 | 1,575 円/件 | 2,100 円/件 | 1,050 円/件 | 2,100 円/件 |
| 送料 (毎回) (+ 配達時間指定) | 420 円/回 (+ 300 円/回) | | | 420 円/回 (+ 300 円/回) |

*上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。提供件数が0件の場合であっても、検索料金はご請求させていただきます。
登録手数料・検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。
また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、登録手数料・検索料金が変わります。
配達時間指定は発送日翌朝の10時までに配達となります。

(2) JAPIC-Q Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス)

※「JAPIC-Q」サービス利用ユーザのみ、ご利用になれます。

(税込)

| 区 分 | 会 員 | | | 非 会 員 |
|---------------------------|------------------------|-----------|------------------------|------------------------|
| 基 本 料 金 | 105,000 円/年 | | | 210,000 円/年 |
| 登 録 手 数 料 (1 動物種または1式) | 10,500 円/年 | | | 21,000 円/年 |
| 検 索 料 金 (1 動物種または1式) | 2,100 円/月 | | | 4,200 円/月 |
| 提 供 方 法 | 紙媒体 | CD-ROM | 書誌・キーワード テキストCD-ROM | 紙媒体 |
| CD-ROM 作成料金 | ———— | 4,200 円/回 | 4,200 円/回 | ———— |
| 提 供 料 金 | 1,575 円/件 | 2,100 円/件 | 1,050 円/件 | 2,100 円/件 |
| 送料 (毎回) (+ 配達時間指定) | 420 円/回 (+ 300 円/回) | | | 420 円/回 (+ 300 円/回) |

*上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。提供件数が0件の場合であっても、検索料金はご請求させていただきます。
同一動物種でも条件により検索式が複数になる場合は、登録手数料・検索料金が変わります。配達時間指定は発送日翌朝の10時までに配達となります。

(3) JAPIC-QX (JAPICエクストラサービス)

JAPIC-QXはJAPIC-Qサービス検索結果をさらに個々のユーザのご要望に応じて加工・提供するサービスです。

受託内容により料金は異なります。(詳細はお問い合わせください。)

(医薬文献情報担当 TEL 03-5466-1821)

(4) 遡及検索 (Qサービスに登録している検索式での検索サービス)

① 書誌・キーワード及び原著

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|-----------|-------------|-------------|
| 基本料金* | ———— | ———— |
| 登録手数料* | ———— | ———— |
| 検索料金(1成分) | 2,100円/1ヵ月分 | 4,200円/1ヵ月分 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 |
| 送 料 | 420円/回 | 420円/回 |

② 書誌・キーワード一覧のみ

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|-----------|----------|----------|
| 基本料金* | ———— | ———— |
| 登録手数料* | ———— | ———— |
| 検索料金(1成分) | 2,100円/回 | 4,200円/回 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| 提供料金 | 26円/件 | 26円/件 |
| 送 料 | 420円/回 | 420円/回 |

*基本料金・登録手数料はQサービスで既に頂いておりますので、不要です。検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、検索料金が変わります。

検索範囲はお申し込み時点から過去3年の範囲内に限らせていただきます。

(5) スポットQ (Qサービスに登録している検索式以外での検索)

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|------------|-------------|-------------|
| 基本料金 | 31,500円/回 | 52,500円/回 |
| 手数料(1成分)* | 10,500円 | 21,000円 |
| 検索料金(1成分)* | 2,100円/1ヵ月分 | 4,200円/1ヵ月分 |
| 提供方法 | 紙媒体 | 紙媒体 |
| 提供料金 | 1,575円/件 | 2,100円/件 |
| 送 料 | 420円/回 | 420円/回 |

*手数料・検索料金は1式に含まれる成分数によって変わります。また、同一成分でも条件により検索式が複数になる場合は、手数料・検索料金が変わります。検索範囲はお申し込み時点から過去3年の範囲内に限らせていただきます。

(6) JAPIC Daily Mail (JDM) (外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する措置情報)

(税込)

| 区 分 | | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|------------|-------------|---------------|
| 基 本 料 金 | | 525,000 円/年 | 1,050,000 円/年 |
| 社 内 転 送 | 30 名まで | 315,000 円/年 | 630,000 円/年 |
| | 30 名～100 名 | 525,000 円/年 | 1,050,000 円/年 |

*上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。上記基本料金で3アドレスまでご登録いただけます。
3アドレスを超える場合の追加料金は、1アドレス追加につき年間/会員：105,000円、非会員：210,000円。
JDM利用者はiyakuSearchからJDMデータベースを無料でご利用になれます。

(7) JAPIC Daily Mail Plus (生物由来製品に関する感染症情報サービス)

「JAPIC Daily Mail」サービス利用ユーザのみ、ご利用になれます。

(税込)

| 区 分 | | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|------------|-------------|-------------|
| 基 本 料 金 | | 105,000 円/年 | 210,000 円/年 |
| 社 内 転 送 | 30 名まで | 63,000 円/年 | 126,000 円/年 |
| | 30 名～100 名 | 105,000 円/年 | 210,000 円/年 |

*上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。上記基本料金で3アドレスまでご登録いただけます。
3アドレスを超える場合の追加料金は、1アドレス追加につき年間/会員：21,000円、非会員：42,000円。

(8) JAPIC Weekly News

JDMの記事の中から主として医療機関向けに選択したものを抜粋し無料で提供しております。

(9) PubMed 代行検索 (生物由来製品の感染症情報に関する代行検索)

海外雑誌に掲載された感染症情報を医学文献データベース PubMed で検索し提供します。

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|------------|-------------|
| 基 本 料 金 | 52,500 円/年 | 105,000 円/年 |

(10) Regulations View Web版 [海外規制情報 (米国編) Web配信 (月1回提供)]

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|-------------|-------------|
| 基 本 料 金 | 105,000 円/年 | 126,000 円/年 |

1 機関 3 アドレスまで

電子データ（添付文書／文献情報）

添付文書に記載されている情報をすべてデータ化し、ご要望に沿った形でご提供します。

- (1) 医療用医薬品添付文書情報データ・同PDF
- (2) 一般用（OTC）医薬品添付文書情報データ・同PDF
- (3) JAPIC添付文書記載病名データ
- (4) 医薬品名称データ
- (5) 剤形写真データ

上記(1)～(5)の利用料金は、利用機関の種類、規模、施設数などにより異なります。詳細はお問合せください。（事務局業務・渉外担当 TEL：0120-181-276）

- (6) JAPIC PIA（院内採用医薬品集作成システム）

(税込)

| 区 分 | | |
|-----------|-------------|---------------|
| 初年度利用料金 | 210,000円 | |
| 2年目以降利用料金 | サーバー利用料金 | JAPIC データ利用料金 |
| | 10,500円（年間） | 21,000円（年間） |

- (7) JAPIC辞書

(税込)

| 区 分 | 初年度料金 | メンテナンス料金 |
|---------|------------|--------------|
| 医薬品名辞書 | 2,100,000円 | 420,000円（年間） |
| 副作用用語辞書 | 1,050,000円 | 420,000円（年間） |
| 疾病名辞書 | 1,050,000円 | 420,000円（年間） |

- (8) 医療用医薬品添付文書・SGMLデータ「医薬品医療機器総合機構」

(税込)

| 区 分 | | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|-------------|----------|----------|
| テキストデータ | 基本料金 | 5,250円 | 10,500円 |
| | メンテナンス料金（年） | 63,000円 | 126,000円 |
| PDFデータ | 基本料金 | 26,250円 | 52,500円 |
| | メンテナンス料金（年） | 315,000円 | 472,500円 |

* CD-ROMでご提供します。上記「年」とは4月より翌年3月までの1年間です。

- (9) 「JAPIC DOC」CD-ROMデータ 3,150,000円／年

JAPIC作成の医薬品情報データベース

(1) iyakuSearch (医薬品情報データベース) <http://database.japic.or.jp>

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|----------|-----|-------|
| 検索・閲覧 | 無 料 | 無 料 |
| 詳細(抄録)表示 | 無 料 | 1万円/年 |

(提供情報: free ファイル) ①医薬文献情報 ②学会演題情報 ③医療用・一般用医薬品添付文書情報
④臨床試験情報 ⑤日本の新薬 ⑥学会開催情報

(Plus サービス) ①医薬文献情報の付加情報プラス ②学会演題情報の付加情報プラス
③ JAPIC Daily Mail DB ④ Regulation View

(2) 医薬品類似名称検索サービス

- 1) 既存医薬品名称検索 (Web) インターネット上で無料で検索できます。
- 2) 新規医薬品名称検索 (Web) 5日間有効のパスワードで自由に検索できます。

(税込)

| 区 分 | 会 員 | 非 会 員 |
|---------|---------------|----------------|
| 基 本 料 金 | 52,500円/パスワード | 105,000円/パスワード |

ご利用は国内法人を持つ組織が対象です。

代行検索 新規医薬品名称検索 (JAPICで検索し結果一覧をお送りします。)

原則として新規医薬品名検索については、首記(2)のシステムを利用させていただきます。なお、当面の間は従来の代行検索も受け付けます。

(税込)

| | | |
|-------|-------|-----------|
| 会 員 | A会員 | 10,500円/件 |
| | B・C会員 | 31,500円/件 |
| 非 会 員 | | 52,500円/件 |

(3) 外部機関から提供している JAPIC データベース (JIP/JST)

- 日本電子計算株式会社 JIP (e-InfoStream) から 7 ファイル提供。
① JAPICDOC ② JAPICDOC 速報版 ③ ADVISE ④ SOCIE ⑤ NewPINS ⑥ SHOUNIN ⑦ MMPLAN
(利用料金は JIP・HP 参照) <https://e-infostream.com/info/price.htm>
- 日本科学技術振興機構 JST (JDream II) から JAPIC DOC を提供
(利用料金は JST・HP 参照) <http://pr.jst.go.jp/pricelist/jdream2/>

JAPIC 出版物・CD-ROM等

(税・送料込)

| 出 版 物 名 | 価 格 |
|---|----------------------------------|
| JAPIC 医療用医薬品集 2008 (検索用 CD-ROM 付) | 13,650 円/冊 |
| JAPIC 医療用医薬品集 更新情報 | 3,600 円/10 回 |
| JAPIC 医療用医薬品集 普及新版 2008 | 7,875 円/冊 |
| JAPIC 一般用医薬品集 2008 | 9,450 円/冊 |
| JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版 (CD・DVD-ROM) (1, 4, 7, 10 月版) | 15,000 円/単品 25,000 円/年 4 回セット |
| 添付文書記載病名集 Ver.2.0 (2008 年 2 月版) | 7,800 円/冊 |
| 日本の新薬—新薬承認審査報告書集—全 25 巻 | 288,750 円/セット 23,100 円/冊 |
| 医薬品製造 (輸入) 承認品目一覧 | 10,500 円/冊 |
| 日本の医薬品 構造式集 (検索用 CD-ROM 付) 2008 | 2,940 円/冊 |
| 重篤副作用疾患別対応マニュアル 第 1 集 | 1,680 円/冊 |
| JAPIC 日本医薬品名事典— Drug Index in Japan (医薬品・一般薬) | 3,990 円/冊 |
| 医薬関連情報 (月刊) (速報 FAX サービスも実施/会員限定) | 105,000 円/年 (会員有償分) |
| JAPIC J (ジャピックジャーナル) | (無 料) |
| JAPIC NEWS | (無 料) |
| JAPIC Guide | (無 料) |

- * (JAPIC 医療用医薬品集と JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版) のセット割引があります。
- * (JAPIC 医療用医薬品集普及新版と JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版) のセット割引があります。

調査・医薬品相談

1) 各種データベースおよび各国医薬品集等の調査

| | |
|-------|------------------------------------|
| 会 員 | 基 本 料 (31,500 円/件) 実 費 郵 送 料 |
| 非 会 員 | 基 本 料 (52,500 円/件) 実 費 郵 送 料 |

添付文書情報の調査サービスは「NewPINS」を利用します。(会員限定)

医薬品の承認年月日、再審査年月日および再評価年月日の調査は 1 回につき各 10 品目まで。(会員限定) 実費とはオンラインおよびインターネット使用料金、複写料金を示しています。

2) マニュアル調査 (会員限定)

料金は、別途お見積させていただきます。

JAPIC 附属図書館文献複写料金

1) 複写申込書による方法 (申込書は JAPIC ホームページの MS Word ファイルをご利用ください。)

| 区 分 | 複 写 料 金 | | 備 考 |
|------------|--------------------|------------------------|------------------------------------|
| JAPIC 所蔵資料 | 会 員 基本料* 複写料 | 630 円/論文 52 円/ページ | (宅配便を希望の場合) 1 郵送分につき 525 円加算 |
| | 非会員 基本料 複写料 | 1,260 円/論文 84 円/ページ | |
| 他機関からの取り寄せ | 会 員 基本料 複写料 | 1,575 円/論文 実 費 | |
| | 非会員 基本料 複写料 | 3,150 円/論文 実 費 | |
| 謝絶料金*) | 会 員 基本料 非会員 基本料 | 367 円/論文 525 円/論文 | ——— |

*基本料は手数料と送料を含みます。

*謝絶料金とは、他機関へ問い合わせをしてもコピーを入手できなかった場合の手数料。

2) データベース (iyakuSearch、e-InfoStream) を経由する場合 (JAPIC 会員のみ)

| | |
|----------|----------|
| 基 本 料 金 | 複 写 料 金 |
| 367 円/論文 | 52 円/ページ |